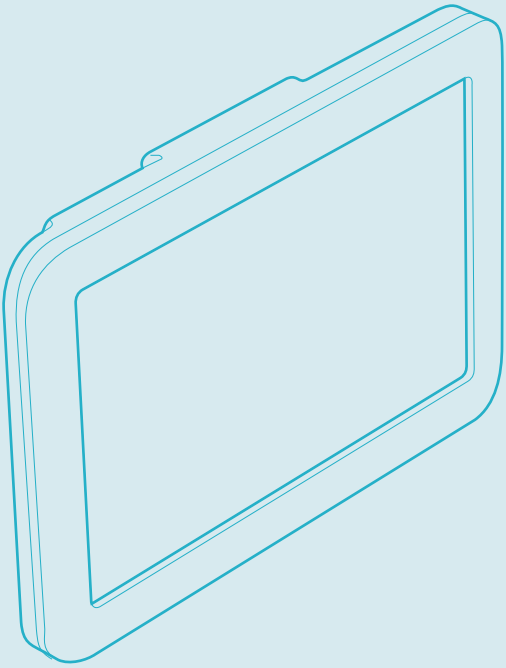
if brand

トライウインスマート
TrywinSmart

DTN-7700

取扱説明書



この取扱説明書はWEB版です。
製品付属の取扱説明書はモノクロで作成されています。

地上DIGITAL 1SEG ワンセグ

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows MediaおよびWindowsのロゴは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
MAPPLE、マップル、まっぷる、まっぷるコード、MGコード、マップルナビは株式会社昭文社の商標または登録商標です。
マップコード、MAPCODEは株式会社デンソーの登録商標です。
microSD、microSDHCは、SD-3C, LLCの商標です。
本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

目　次

免責事項について

〈使用許諾契約書〉 v

安全上のご注意

絵表示について vi
安全上のご注意［本体］ vii
タッチスクリーンについて xiii
内蔵GPSアンテナについて xiii
本機の電源について xiv
取り付けキットについて xiv
microSDカードについて xiv
miniB-CASカードについて xv
アンテナについて xv
タッチスクリーン保護シートについて xv

1.　はじめに

ナビゲーションの特徴 1
操作説明について 2
その他の特徴 2
パッケージ内容の確認 3
取付キットの使い方 4
吸盤付きステーからの取り外し方 7
基本の操作 8
電源の入れ方・切り方 8
タッチスクリーンの操作方法 9
各部の名称 10
各部の動作 11
表示について 13
メインメニューについて 13

2.　ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの起動 18
GPS衛星の測位について 20
現在地画面 21
地図スクロール画面 23
ドラッグスクロール 24
連続スクロール 24
地図リスト画面 25
文字入力画面 27
入力モード画面 28
地図のスケールを変える 29
地図画面の表示について 30
地図表示の向きについて 30
地図画面の配色について 30
地図画面の文字サイズについて 31
地図中心位置の情報について 31
登録地・自宅のアイコンについて 32
走行軌跡について 32
ぬけみち道路について 33
道路・鉄道の表示について 33
ルート案内時のアイコンについて 33
地図記号一覧 34
地図・メニュー画面の基本操作 35
メニュー 35
［MENU］ 37
地図表示の切替 37
［自宅］ 37
［現在地］ 37
［＋］［－］ 38
各設定画面の基本操作 38
文字の入力 38
リスト表示の画面操作 39
［現在地］ 40
［BACK］ 40
さまざまなお知らせ機能 40
観光地エリア進入メッセージ 40
お土産ガイド 41
エリアおすすめスライドショー 42

3.　場所（行き先）を探す

地図画面で探す 43
フリーワードで探す 44
「フリーワード」検索をよりうまく使う 47
複数ワードで検索する 47
1ワードと複数ワード検索の違いについて 48
ひらがな検索に対応 48
通称名での検索に対応 48
「場所（駅・住所）」は1つの名称（1ワード）のみ入力する 48
「住所」や「名称」はなるべく全て入力する 48
「変換」が必要な文字は短い単位で入力、変換する 48

50音で探す 49
施設で探す 51
周辺の施設を探す 53
住所で探す 55
電話番号で探す 58
マップコードで探す 59
登録した場所（登録地・自宅）から探す 60
検索履歴から探す 61
　検索履歴を消去する 62
自宅に帰る 63

4. MAPPLEメニューを使う

MAPPLEメニュー 64
　観光地メニュー 65
　観光地エリアについて 65
観光地から探す 66
今いる観光地エリアで探す 69
ベストドライブで探す 70
まっぷるコードで探す 71

5. ルート探索

ルートを探索する 73
ルートを編集する 75
　経由地を追加する 75
　経由地の順番を変更、削除する 76
　経由地の探索条件を変更する 77
ルート案内を開始する 79
　設定したルート案内を開始する 79
ルート探索の失敗 80
ルートをデモ走行する 81
　出発地点を変更してルートデモ走行を
　する 83
ルートを削除する 86
ルート案内中の案内について 87
　一般道路案内表示 87
　高速道路案内表示 88
　その他の高速道路案内 89
　施設リストの見方 90
　ハイウェイモード 91
　音声による誘導 93
オートリルートについて 93

6. 経由地／登録地／現在地修正

経由地を設定する 94
地点を登録する（登録地・自宅） 94
登録地を編集する 96
登録地を削除する 97

7. ナビ設定

ナビ設定について 98
地図の配色を変更する 98
地図表示の向きを変更する 99
地図の文字サイズを変更する 99
地図のアイコン表示を変更する 100
3Dランドマーク表示を設定する 100
ぬけみち表示を設定する 101
走行軌跡表示を設定する 101
交差点拡大図表示を設定する 102
複数施設案内表示を変更する 102
都市高速入口イラスト表示を設定する 103
ジャンクションイラスト表示を設定する 103
サービスエリア・パーキングエリア
イラスト表示を設定する 104
ETCレーンイラスト表示を設定する 104
現在地表示を設定する 105
ぬけみち考慮探索を設定する 105
ETC機器を設定する 106
踏切注意案内を設定する 106
合流注意案内を設定する 107
誘導時縮尺を設定する 107
お土産ガイドの設定を変更する 108
エリアおすすめのスライドショーの設定を
変更する 108
観光地エリア進入メッセージの設定を
変更する 109
現在位置を設定する 109
GPS受信動作設定を変更する 110
操作音を設定する 111
システム情報表示を設定する 112
設定を初期化する 112

8. ナビゲーションについて

ナビゲーションのしくみ 113
　GPSによる測位について 113
　マップマッチングについて 113
　誤差について 114

収録されている地図情報について 115
電話番号検索のデータについて 115
地図記号について 115
ルートに関する注意事項 115
承認 116
地図データについて 117
おことわり 118

9. テレビを視聴する

緊急警報放送について 119
緊急警報放送とは 119
緊急警報放送受信時の動作 119
視聴するための準備 120
テレビ操作メニューについて 122
初めてテレビを視聴する 125
テレビを視聴する 126
テレビの終了方法 127
ナビゲーション画面への切り替え方法 127
音量を設定する 127
テレビ放送を見るには 128
テレビ視聴について 128
受信できなくなったときに自動で中継局を探す 128
番組の情報を表示する 129
番組表を表示する 129
テレビ操作メニューを切り替える 130
受信モードを切り替える 130
字幕の表示／非表示を切り替える 131
音声を切り替える 131
テレビの応用操作 132
本機の設定を行う 132
再スキャンを行う 132
移動先を設定する 133
アンテナ受信レベルを表示する 134
チャンネル一覧を表示する 134
文字スーパーの表示／非表示、言語設定をする 135
中継局サーチの設定をする 135
テレビのバージョンを表示する 136
miniB-CASカードの情報を表示する 136
テレビの設定内容を初期化する 137
アンテナ取り付け時点の注意事項 138
設置型アンテナの取り付け 139
設置型アンテナの取り付けの準備 139
設置型アンテナの取り付け 140
アンテナ基台と設置型アンテナの取り付け 140
フィルムアンテナの取り付け 141
フロントガラスの内側の汚れを取り除く 142
フィルムアンテナの構成 142
貼り付け許容範囲について 143
フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付ける 144
アンテナケーブルの配線 145
ケーブル配線のご注意 145
アンテナ端子の取り付け・取り外し 147
miniB-CASカードの取り付け 148
miniB-CASカード取扱上のご注意 148
miniB-CASカードの取り付けについて .. 148

10. データ再生と設定

データの再生と本機の設定 150
マルチメディアメニューを表示する 151
microSDカードの取り扱い 151
microSDカードの取り付け 152
microSDカードの取り外し 152
再生するデータのダウンロードについて 153
音楽を聴く 154
再生する音楽を選ぶ 155
曲の再生・停止 156
音楽再生時に音量を調整する 156
曲の早送り・早戻し・選曲 156
色々な再生方法 157
再生方法の変更 157
写真を再生する 158
再生する写真を選ぶ 159
写真の再生 160
スライドショーの表示 161
設定を変更する 162
画面の明るさを変更する 163
音量を変更する 163
タッチパネル補正 164
本機のシステムをアップデートする 165
本機のシステムを初期化する 166
ユーザーモードを設定する 167
バックモニターを設定する 168
本機のシステム情報を確認する 169

目次

11. その他

バックカメラと接続する.....170
本機のリセット方法.....171
こんなメッセージが表示されたときは.....172
故障かなと思ったら.....173
サポートセンターへのお問い合わせ方法....175
　サポートに必要な情報.....175
　お問い合わせ先：トライウインサポートセンター.....175
　無償修理規定.....175
使用許諾契約書.....176
　定義.....176
仕様.....178

免責事項について

- 台風、地震、水害、落雷、火山等の自然災害および火災、塩害、火山性ガス、暴動や騒乱その他第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機は電子機器のため、本機から微弱ながら電磁波ノイズが発生することがあります。この微弱な電磁波ノイズが車両または車両に搭載されている機器に影響を与えないように十分にご検討いただき、本機の取り付けを行ってください。
  なお、本機のご使用にあたり、車両および搭載機器への影響による直接的および間接的な損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
  また、車両に搭載される電子機器から発生する微弱な電磁波により、GPS信号を受信できないなど本機の機能が阻害される可能性もありますのでご注意ください。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化や消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本商品の取り扱いについて、記載されている取り付け方法や使用上の注意事項などから逸脱して使用された場合においては一切の責任を負いかねます。
  正しい取り扱い方法については本取扱説明書を必ずお読みください。
  - 本機の落下による故障や破損および車内部品の故障や破損。
  - 本機の取り付けや取り外しにおいて本機やダッシュボード、その他の箇所に変形や破損。
- お客様または第三者が本機の誤使用や、静電気・電磁波・電気的なノイズの影響を受けたとき、本機内や付随する記憶装置の基本プログラム、地図データ、その他お客様が保存されたデータなどが全部または一部消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機内や付随する記憶装置に登録されていた情報（登録地点など）やデータが全部または一部変化・消失した場合、その内容の補償や復元はできません。
- 業務用車両（トラック・バス・タクシー・商用車・社用車など）への本機の搭載や本機を業務上使用（配送業のためのバイクや自転車への取り付けなど）した場合や本機を目的外に使用された場合、添付の保証書（クイックガイド内に記載）は、保証の適用対象になりません。
- 本機を廃棄される場合または貸与、転売、譲渡される場合、本機や本機に付随する記憶装置にある自宅や登録地点の個人名、住所や電話番号など個人情報の取り扱いについては、必ずお客様の責任において管理や消去してください。また個人情報が流失した場合におきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。

〈使用許諾契約書〉

本使用許諾契約書は、トライウインスマートDTN-7700の使用をお買い上げいただいたお客様との間に締結される法的な契約書です。
本製品を使用する事によって、お客様は本契約書の条項に拘束される事に同意されたものとします。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意 [本体]

⚠警 告　電源について

- 付属のシガー電源アダプターは、必ずDC 12 V車で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。
  本機はDC 12 V車以外には使用できません。

⚠警 告　設置について

- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。

⚠警 告　走行中について

- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
  ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
- 運転中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車してから画面を見てください。

⚠警 告　異常があった場合

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにシガー電源アダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まずシガー電源アダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まずシガー電源アダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警 告　使用について

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターをご使用の際は、必ずアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

- 濡れた手でシガー電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

濡れ手接触禁止

- シガー電源アダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器および付属のシガー電源アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 指定以外のシガー電源アダプターを使用すると、火災や感電、故障、発熱・発火・破裂の原因になります。必ず本機指定のものを使用してください。
- シガー電源アダプターのヒューズは、必ず規定容量品を使用してください。
交換は専門の技術者に依頼してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

- 真夏の締め切った車内の様に、非常に高温になる状態で放置しないでください。本体や性能に著しい障害が発生する可能性があります。
このような場合には本体を取り外して車外に持ち出すか、あまり高温にならない日陰に置くようにしてください。

⚠ 警 告　破損した場合について

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、シガー電源アダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、シガー電源アダプターの電源コードが傷ついた場合は、シガー電源アダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告　水・異物が入った場合について

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

⚠注 意　電源について

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガープラグに直接接続してください。シガープラグを分岐させたアダプターには、接続しないでください。火災や故障の原因になることがあります。

- 本機をご使用にならないときは、シガー電源アダプターはシガーライターソケットから抜いてください。
  一部車種では、エンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。また、ACCにした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。
  その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗し、バッテリーが上がる恐れがあります。

⚠注 意　設置について

- 本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 付属のシガー電源アダプターを熱器具に近づけないでください。
  コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは定期的にほこりや汚れを取り除いてください。
  また、シガーソケットは奥まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因になることがあります。
- シガー電源アダプターを取り外す際、ケーブルを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
- 禁煙車でシガープラグが装備されていない車の場合には、付属のシガー電源アダプターを使用する事が出来ませんので、お車のご購入先に相談ください。

⚠注 意　設置について

- 車に取り付ける際には、必ず付属の取り付けキットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
- ETCのアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- 車に取り付けられている電装品などの影響で本機が正しく動作しない事がまれにあります。
  その場合は、本体の位置を変えるなどで最適な場所を選んで取り付けてください。

⚠注 意　使用について

- 病院や航空機内では電源を切ってください。電子機器や医用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
  また、電車内など混雑した場所では電源を切ってください。付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいると影響を与える場合があります。
- 低温時には映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きが遅い、画質が悪くなることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面が曇ったり、露で正しく動作しないことがあります。1時間位、その温度で放置してからご使用ください。

- シガー電源アダプターを取り付けた状態で、エンジンのセルスターターを動作させた場合、保証電圧範囲を超えた電圧変動が起きる可能性があります。そのためシガー電源アダプターや本体の故障の原因となることも予測されます。エンジンを始動させる際にはシガー電源アダプターをソケットから取り外してから行うようにしてください。

- 地デジ・ワンセグの受信状態が悪い場合はしばらくそのままお待ちください。地デジ・ワンセグは一般の家庭用に比べ受信エリアは狭くなります。
  また、車の場所、方向、速度などにより受信状態が変化します。

⚠注 意　音量について

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 運転中は、イヤフォンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量を最適なレベルに調節してください。
  突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- イヤフォンやスピーカーなどを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

⚠注 意　各部位や付属品について

- タッチスクリーンは市販のスタイラスペンまたは指先を使って操作してください。ボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったものなどでタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。
- タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。
- 変形したり、傷ついたmicroSDカードやminiB-CASカードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。
- microSDカードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。本機に正しく入れられなかったり、取り出せなくなることがあります。
- 万一、microSDカードやminiB-CASカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。
- 地デジ用設置型アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。
  アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。
- シガーライターソケットやソケット周りの形状によっては、付属のシガー電源アダプターが入らない事があります。

⚠注 意　お子様の安全ついて

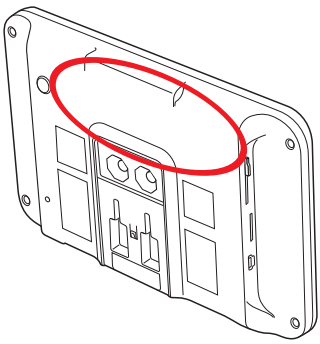
- お子様だけでの操作は行わないでください。特に、走行中の操作は危険ですので行わないでください。
- 取り外したmicroSDカードややminiB-CASカードや市販のスタイラスペン等、お子様が誤って飲み込まないように注意してください。誤って飲み込んでしまった場合は、すぐに医療機関にご相談ください。
- 本機を保存するときは、お子様の手の届かない所に保存してください。
- 本機や付属品の入っていた袋は、お子様の手の届かないところで保管してください。袋を誤って口に入れたり、かぶったりしますと窒息する原因となるこがあります。

タッチスクリーンについて

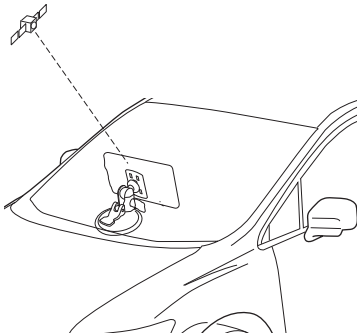
- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは液晶を使用しています。この液晶は高い品質管理の元に製造されておりますが、液晶のドット抜けおよび液晶の色むらが出ることがあります。これは液晶を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、液晶のドット抜けにより赤（または緑、青）色の点が表示されることがありますが、これも液晶パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと液晶の劣化や液晶の故障の原因となります。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。液晶の劣化や液晶パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。
- ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。
  保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない場合があります。

内蔵GPSアンテナについて

- 本機の上部にGPSアンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を十分に発揮することができません。



- 初めてお使いになるとき、または長期間お使いになっていないときは、見晴らしの良い場所で内蔵GPSアンテナが上になるようにして、GPS衛星から信号を受けて、測位しやすくしてください。詳しくは本取扱説明書の（→P20）「GPS衛星の測位について」を参照してください。



本機の電源について

- ご使用前には、必ず電源アダプターが確実に接続されているかを確認してください。また、走行中に電源アダプターが外れる可能性があります。定期的に確認してください。
- 本機はバッテリーを内蔵しておりませんので、電源を供給していない状態でのご使用はできません。
- ナビゲーションを起動中に突然、電源が落ちてしまうなどナビアプリケーションが不正に終了しますと以下の情報が正しく保存されない場合があります。
  - 地図画面の自車位置
  - 走行軌跡
  - スケール表示
  - 登録地点
  - 案内ルート
  - テレビモードのスキャン中のデータ
  - その他、ナビ各種設定データ

取り付けキットについて

- 取り付けキットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が十分にあるかをご確認ください。
- 取り付けキットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
- 取り付けキットを自動車以外には使用しないでください。
- 吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。
- 吸盤はフロントガラスのような平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されていますので、フロントガラスには取り付けないでください。
- 取り付けキットは、しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。

microSDカードについて

- 本機は、音楽、写真をmicroSDカードに入れて使用します。
- 本機の電源が入っているときに、microSDカードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、microSDカード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
- 本機で再生できるファイルを記憶するフォルダの制限はありません。
- ごくまれに、正常にお使いになっていてもmicroSDカード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSDカード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。
- microSDカードは付属されていません。市販のmicroSDカードをご購入ください。
- microSDカードには、シールやテープなどを貼りつけないでください。

miniB-CASカードについて

- 付属のminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
- 破損等によりminiB-CASカードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先はB-CASカードにも記載されております。）
- miniB-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

メモ

miniB-CASを正しく装着していないと、本機で地デジテレビは見られません。ワンセグテレビのみの表示となります。

本機は、安全上の配慮から本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。走行中に助手席の方がテレビを視聴される際には、システム設定の（→P167）「ユーザーモードを設定する」をご覧になりユーザーモードを「助手席」に設定してください。

アンテナについて

- 走行中に安定してテレビを受信するために、付属のフィルムアンテナをお使いになることをお勧めします。

タッチスクリーン保護シートについて

- 市販の保護シートは貼らないでください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。

1. はじめに

ナビゲーションの特徴

高性能！ルート探索＆誘導！

- 8GBメモリに10mスケールまでの多彩な地図表現を実現
- 株式会社昭文社の道路地図「マップル」の表現をベースに「でっか字」、「もっとでっか字」の表示など豊富な各種位置情報コンテンツを融合した新しいナビゲーションです。
  ぬけみちに関しては、2010年秋版の31都道府県、ぬけみちデータ収録。ぬけみちを考慮したルート探索誘導にも対応。
- 有料道路は専用のハイウェイモード、入口・分岐イラストでわかりやすくご案内！
- おすすめ、有料優先、一般道優先などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 交差点拡大、レーン情報や方面看板などでドライバーをアシストします。
  ※一般道の方面看板については対応しておりません。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国号までの住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、フリーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は、住所検索が約3,600万件、電話番号検索が約740万件、フリーワード検索が約1,200万件！
- 昭文社発行の地図やガイドブックに掲載されている「まっぷるコード」を入力して観光施設やお店を検索。

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 株式会社昭文社の道路地図「マップル」をベースにしたデジタル地図を採用!
- 日本全国を10m ～ 200kmスケールの14段階でフルカバー！
- 25mスケール以下で市街地図を表示※！
  （※表示する場所により、市街図が表示されない場所があります。）

その他の主な機能

- 経由地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- ルート登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップの地図表示方向切替え
- デモ走行
- 到着予想時刻、残距離表示
- 走行軌跡表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示

操作説明について

ナビゲーション・ソフトは、タッチスクリーンの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タッチする」と表現しています。

その他の特徴

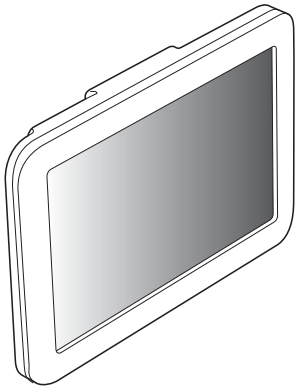
- マルチメディアアイコンを地図画面に搭載！
- 地デジ（フルセグ）・ワンセグTVの受信が可能：EPG（電子番組表）、字幕対応
- 地デジ（フルセグ）とワンセグTVの自動切り替え
- 音楽、写真再生が可能
- 音楽リストからMP3ファイルの再生が可能
- 写真リストからJPGファイルの再生が可能
- 音楽、写真ファイルは、便利なリスト表示
- 内蔵スピーカー、イヤフォンの自動切り替え
- 本体の寸法は（突起物を含まず）（mm）：188（W）×117.5（H）×22（D）
- 質量（重量）：約430g

パッケージ内容の確認

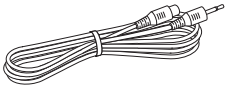
重要

お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

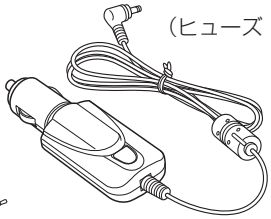
- DTN-7700 トライウインスマート本体



- 映像ケーブル

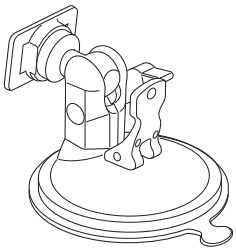


- シガー電源アダプター

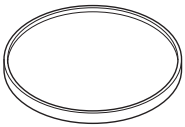


- miniB-CASカード　1枚

- 取り付けキット（吸盤付きステー、吸盤ベース）

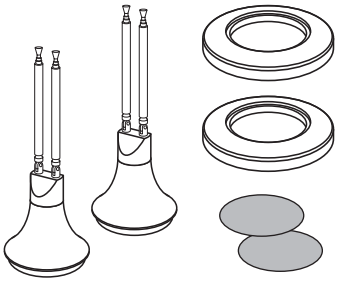


吸盤付きステー

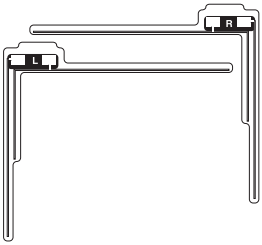


吸盤ベース
（両面テープ付き）

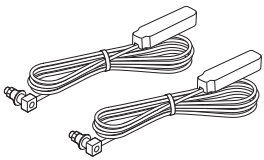
- 設置型アンテナ
（アンテナ、アンテナ基台、粘着シート　各2セット）



- フィルムアンテナ　2枚

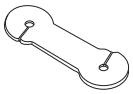


- アンテナケーブル　2本

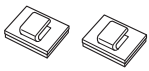


- 取扱説明書（本書）
- クイックガイド（保証書付き）

- コードリール



- クランパー　8個



取付キットの使い方

付属の取り付けキット（吸盤付きステー、吸盤ベース）を使って、自動車に本機を取り付けます。

警告

本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくダッシュボードにお取り付けください。

吸盤はフロントガラスの様な平らな場所には強力につきますが、道路交通法によりフロントガラスへの取り付けは禁止されてますので、フロントガラスには取り付けないでください。

取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

一度取り外した吸盤ベースは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。
本機が落下して、故障やけがの原因となります。

注意

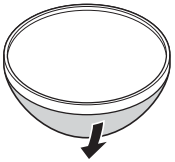
吸盤ベースはテープにより固定されます。したがって、一度吸盤ベースを貼り付けると取り外しが困難になりますので、貼り付ける位置は慎重に選んでください。

取り付けキットは、ダッシュボードの形状や素材によって取り付けできない場合があります。

ダッシュボードに取り付ける際に「しっかりと固定できないところ」や「振動の多いところ」などの場所は避けて取り付けてください。

1 吸盤ベースを取り付けられる平らな場所を選び、その場所のホコリや油などをきれいに取り除く

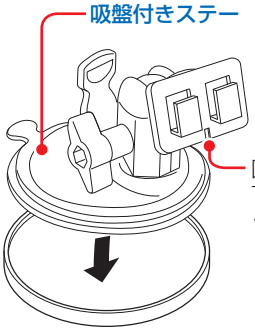
2 吸盤ベースの底に付いているテープを剥がし固定する



注意

吸盤ベースの取り付け直後は粘着力が弱く剥がれやすい為、接着面が確実に貼りついてから吸盤付きステーを取り付けてください。

3 吸盤ベースの上に、吸盤付きステーを置く

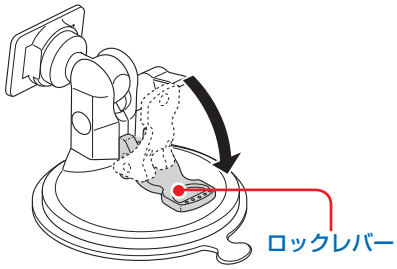


注意

本機の取付部に接続する際、しっかりと固定されるまでスライドさせてください。
また、取り付けの際に手を滑らせて、手や指をけがしないように注意してください。

吸盤付きステーの取付部には向きがあります。向きをよく確かめて取り付けてください。

4 吸盤付きステーの吸盤部を押さえるようにして、ロックレバーを押し下げる

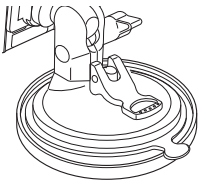
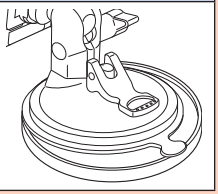


注意

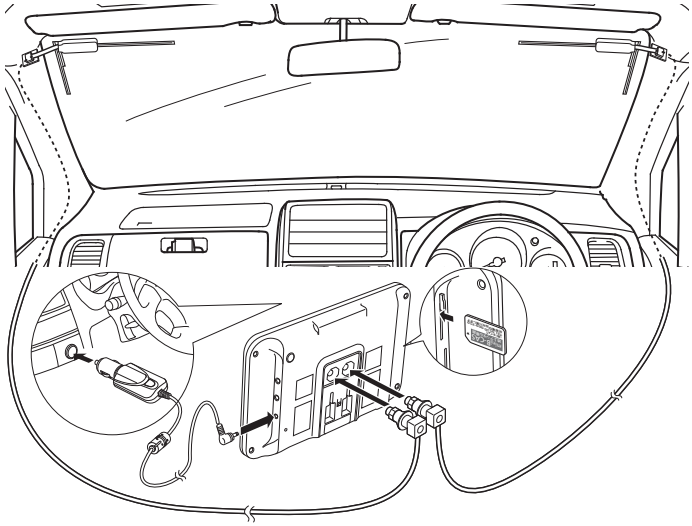
吸盤部分が吸盤ベースに確実に入る事を確認してください。

ロックレバーを押し下げる際には、吸盤部と吸盤ベース部分に隙間の無いようにして取り付けをおこなってください。

吸盤部が吸盤ベースの縁に乗った状態でロックされると、しばらくして本機が落下する恐れがあります。吸盤部が吸盤ベースに正しく乗っていることを確かめてからロックしてください。

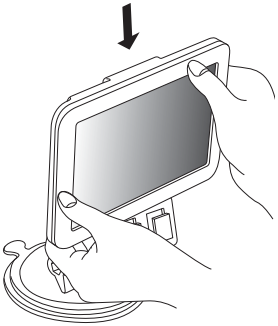
OK	NG
	

5 本機に各カードやアンテナを取り付ける



- シガー電源アダプターの取り付け方法については、「電源の入れ方・切り方」(→P8)をご覧ください。
- 付属アンテナの取り付け方法については、「設置型アンテナの取り付け」(→P139)または「フィルムアンテナの取り付け」(→P141)をご覧ください。
- miniB-CASカードの取り付け方法については、「miniB-CASカードの取り付け」(→P148)をご覧ください。

6 本機のステー取付部の溝に合わせて吸盤付きステーを取り付ける



注意

取り付ける際には、コード等を挟み込まないよう、十分にご注意ください。

7 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

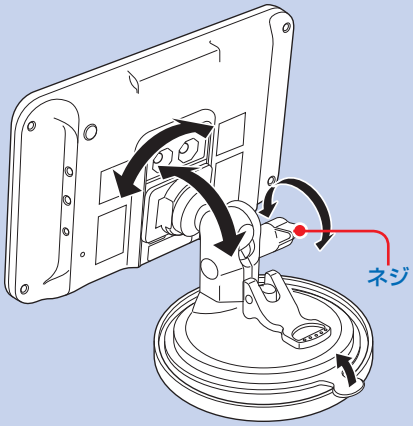
取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

取り付けキットは自動車以外に使用しないでください。

低温時などは吸盤の吸着力が弱くなり、落下の原因になります。車内が適温になってからご使用ください。

メモ

ねじを緩めてお好みの角度と向きになるように調整してください。調整後はねじをしっかり固定してください。



本機を取り付ける際には、十分に安定した状態でご使用ください。

吸盤付きステーからの取り外し方

本機を吸盤付きステーから取り外す、更に吸盤付きステーを取り外す場合は、吸盤の破損及びダッシュボードの変形・破損を防ぐため、以下の手順で行ってください。

重要

ダッシュボード上は非常に温度が高くなる場合があります。
その場合、精密機器のため本機が正しく動作しなくなったり変形や故障が発生する可能性があります。
取り付ける場所の温度には十分にご注意ください。
また、ご使用にならない時は本機を取り外して日の当たらない涼しい場所に保管してください。

本機の取り付けや取り外しにおいて、本機およびダッシュボードやその他の箇所に変形や破損が生じましても、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

注意

吸盤付きステーを外す時は、無理に引っ張ったりしないでください。吸盤ベースごと剥がれるなどによりダッシュボードを破損する原因となる事があります。本書をよくお読みになり、取り付け・取り外しには十分にご注意ください。

お客様の使用環境にもよりますが、できるだけ使用後は、本機および吸盤付きステーを吸盤ベースからはずしてください。
ダッシュボードに取り付けた状態で長期間放置すると、吸着力が低下して落下する原因となります。また、取り付ける際に汚れや埃などが付着しているようでしたら、毛羽立たない布などを使い、水に濡らして固く絞ってから拭き取ってください。

ソフトフィール仕上げまたはクッション性のある生地（スポンジが中に入っている）のダッシュボード部分に取り付けた際には、特に変形・破損にご注意ください。

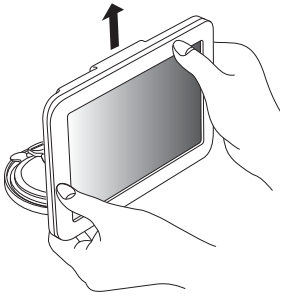
ロックレバーを解除した後に、取り外す際にはタブ（吸盤部分の後方のつまみ部分）を利用し、注意深くゆっくりと取り外し作業を行ってください。

注意

吸盤ベースはテープで固定されていますので、無理に取り外すとダッシュボードに跡が残ったり、変形・破損がおきる可能性がありますので、取り付けや取り外しの際には十分注意してください。

1 本機の電源端子からシガー電源アダプターを外す

2 本機の下側を持ち、本機を吸盤付きステーから持ち上げるように外す

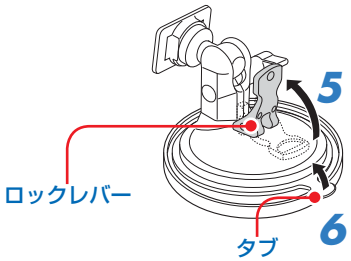


3 TVアンテナを外す

4 ロックレバーを押し上げる

5 吸盤部分のタブを持ち、徐々に吸盤内に空気を入れる

6 ゆっくりと吸盤をはがすように外す
- 吸盤をはがす際には、両手で作業を行って取り外してください。

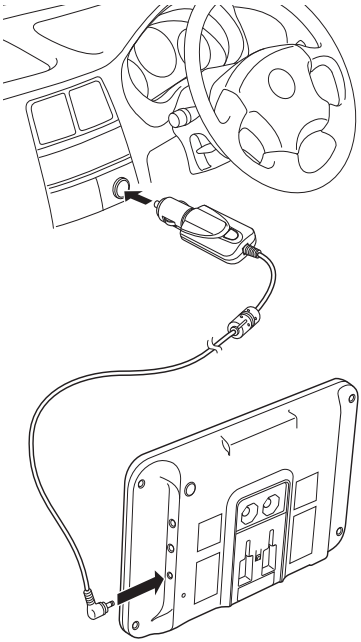


基本の操作

電源の入れ方・切り方

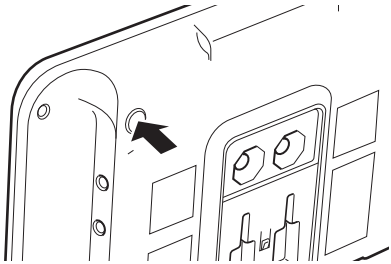
1 車のエンジンをかける

2 本機の電源端子と付属のシガー電源アダプターを接続する



3 付属のシガー電源アダプターを、車のシガーライターソケットに挿入する

4 電源を切るには、本機後面の電源スイッチを長押しする



注意

一部車種でエンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。
また、ACCにした場合エンジンを切っても電源が切れない場合があります。
その場合、本機の電源も切れず車のバッテリーを消耗しますので、必ずシガー電源アダプターをシガーライターソケットから抜いてください。

電源の切り方について

車のエンジンを切る前に必ず、本機後面の電源スイッチを長押しして正常終了させてからエンジンを切ってください。

タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されている
アイコンや表示を軽くタッチする

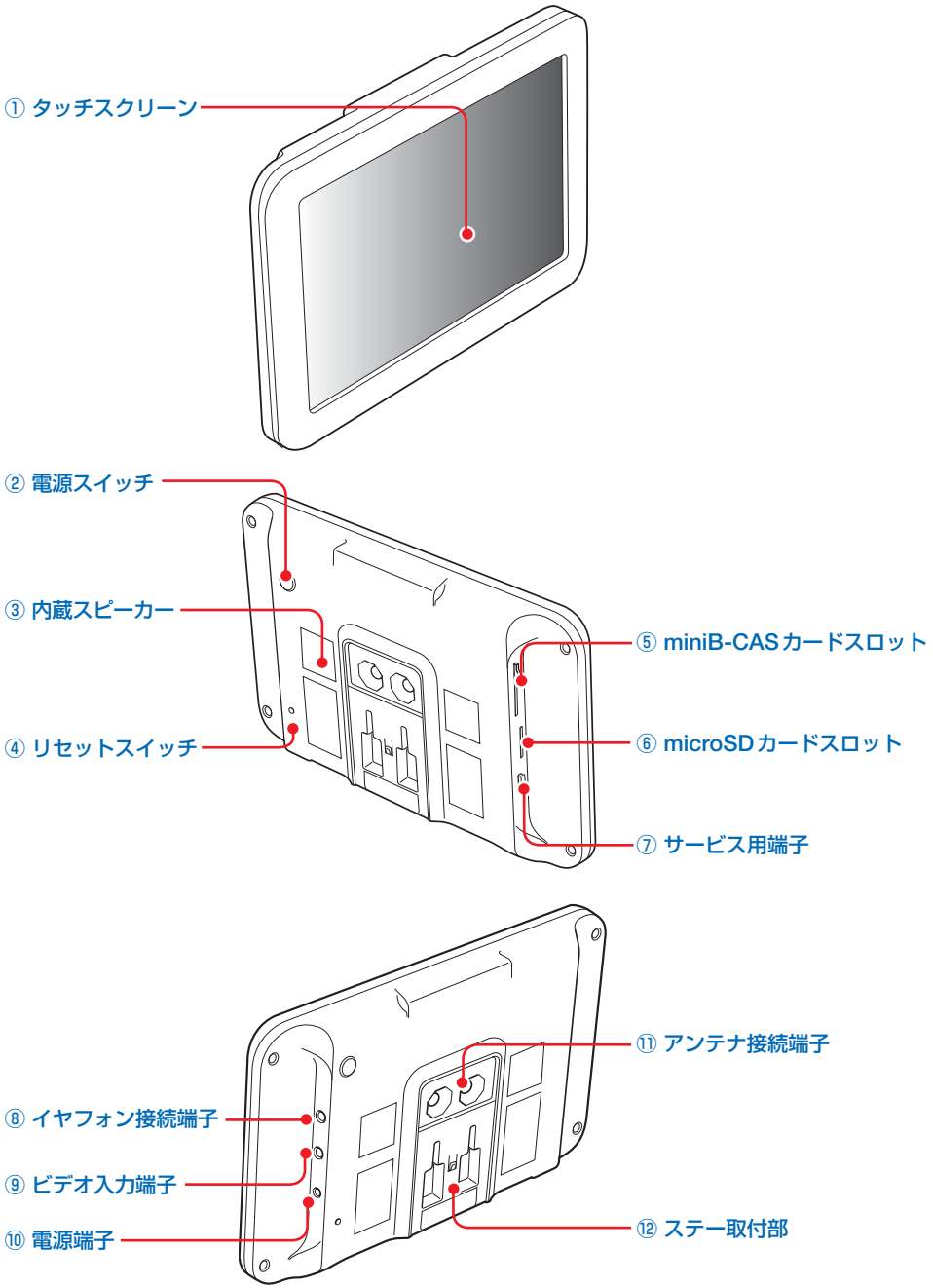
注意

タッチスクリーンは指先または市販のスタイラスペンを使って操作してください。

ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。

市販の保護シートは貼らないでください。保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない事があります。

各部の名称


① タッチスクリーン
② 電源スイッチ
③ 内蔵スピーカー
④ リセットスイッチ
⑤ miniB-CASカードスロット
⑥ microSDカードスロット
⑦ サービス用端子
⑧ イヤフォン接続端子
⑨ ビデオ入力端子
⑩ 電源端子
⑪ アンテナ接続端子
⑫ ステー取付部

各部の動作

① タッチスクリーン

タッチスクリーン上の表示を指先または市販のスタイラスペンを使って操作します。

注意

ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。

ご使用になる前には、タッチスクリーンの保護シートをはがしてください。また、市販の保護シートは貼らないでください。

保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しない事があります。

② 電源スイッチ

本機の電源を入れるとき、切るときに使用します。

メモ

正常終了させるためにも、電源を切る場合は電源スイッチを長押しして電源を切ってください。

このスイッチを長押しして電源を切っても、エンジンを止める前であれば、電源スイッチを長押しすれば再度電源が入ります。

③ 内蔵スピーカー

ここから音声がでます。

注意

イヤフォン接続端子が使用されている時は、内蔵スピーカーから音声は出ません。

④ リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなったときに押してください。(→P171)

⑤ miniB-CASカードスロット

付属のminiB-CASカードを挿入してください。

注意

miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。
また、間違えてmicroSDカードを挿入しないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

miniB-CASカードが入っていないと地テジ(フルセグ)を見ることができません。必ずminiB-CASカードはminiB-CASカードスロットに挿入してください。

⑥ microSDカードスロット

音楽や写真をご利用になる場合は、それらのデータが入ったmicroSDを挿入してください。

注意

microSDカードスロットには、microSDカード以外のものを挿入しないでください。液体類・金属類・燃えやすいものなどを挿入すると、火災・感電・故障の原因となります。

メモ

microSDは、microSDHCにも対応しております。

⑦ サービス用端子

この端子は使用しません。

⑧ イヤフォン接続端子

この端子に市販のφ3.5(ミニプラグ)ステレオイヤフォンを接続してください。この端子にイヤフォンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。

注意

イヤフォンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑨ ビデオ入力端子

この端子に市販のバックモニターカメラを接続してください。

⑩ 電源端子

ここに付属のシガー電源アダプターを接続します。

注意

本機専用の電源アダプター以外は接続しないでください。正常に動作しなくなる可能性があります。

本機の電源端子とシガー電源アダプターの接続はしっかりとおこなってください。
接続がしっかりおこなわれていないと不具合の原因となる事があります。

⑪ 地テジ用アンテナ接続端子

付属の地デジ用のフィルムアンテナまたは設置型アンテナを接続します。設置型アンテナをご使用の際に地デジを見るときは、ロッドアンテナ部を引き出してお使いください。

警告

地デジ用フィルムアンテナは、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくフロントガラス内側に貼り付け付けください。

取り付ける際には、運転に支障となる場所には貼り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

シートベルトやエアバックなどの安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

一度取り外したフィルムアンテナは粘着力が低下しています。再度のご使用は避けてください。

注意

設置型アンテナは、ロッドアンテナ部を最後まで引き出さずにお使いになると、受信感度が低下します。

設置型アンテナを目や顔に近づけたり、人に向けないでください。アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になることがあります。アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

重要

地デジ用フィルムアンテナおよび設置型アンテナの取り付けや取り外しにおいて、車のダッシュボードや内装、その他の箇所に変形や破損が生じましても、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⑫ ステー取付部

ここに付属の吸盤付きステーを取り付けてください。

表示について

メインメニューについて

地図画面から **[MENU]** →**[メインメニュー]** をタッチして呼び出します。
この画面から目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

登録地点（P60～P61、P94～P97）
登録した場所を選択するときに、ここをタッチします。

検索（P44～P60）
場所を検索するときに、ここをタッチします。検索した場所は、目的地や出発地、経由地などに設定できます。

履歴（P61～P62）
過去に検索した行き先（目的地）から探すときに、ここをタッチします。

マップル（P64～P72）
マップルメニューを使うときに、ここをタッチします。

ルート編集（P73～P86）
設定したルートを変更するときに、ここをタッチします。

自宅（P63）
登録した自宅を目的地にするときに、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションメニューから、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

マルチメディア（P119～P169）
地デジの視聴、音楽や写真の再生をするときに、ここをタッチします。

設定（P98～P112）
地図の表示方法などを設定するときに、ここをタッチします。

戻る
ナビゲーションメニューから、前回表示していた地図画面に戻るときに、ここをタッチします。

ナビゲーションの検索メニュー

各検索ボタンをタッチすると、場所を検索するためのメニューが表示されます。

50音（P49～P51）
50音で場所を探すときに、ここをタッチします。

フリーワード（P44～P48）
1つまたは複数の言葉を入力して場所を検索するときに、ここをタッチします。

施設（P51～P53）
施設一覧リストから探すときに、ここをタッチします。

周辺施設（P53～P55）
現在地の周辺施設を探すときに、ここをタッチします。

住所（P55～P57）
住所から場所を探すときに、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションメニューから、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

電話番号（P58～P59）
電話番号から場所を探すときに、ここをタッチします。

マップコード（P59～P60）
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

戻る
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

ナビゲーションのルートメニュー

この画面からルートの編集、消去、ルートデモを行う設定画面を表示します。

ルート消去（P86）
案内中のルートを消去するときは、ここをタッチします。

ルート編集（P76～P78）
経由地点の順番を変更するときや、地点を削除するときに、ここをタッチします。

ルートデモ（P81～P85）
案内中のルートのデモを見るときは、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションのルートメニューから、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

戻る
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

ナビゲーションの設定メニュー

この画面から地図設定、案内設定、ナビゲーションシステムの環境設定を行う画面を表示します。

案内設定（P102～P111）
ルート案内の設定を変更するときに、ここをタッチします。

地図設定（P98～P101）
地図表示の設定を変更するときに、ここをタッチします。

環境設定（P111～P112）
ナビゲーションシステムの環境設定を変更するときは、ここをタッチします。

現在地
ナビゲーションの設定メニューから、現在地画面に戻るときに、ここをタッチします。

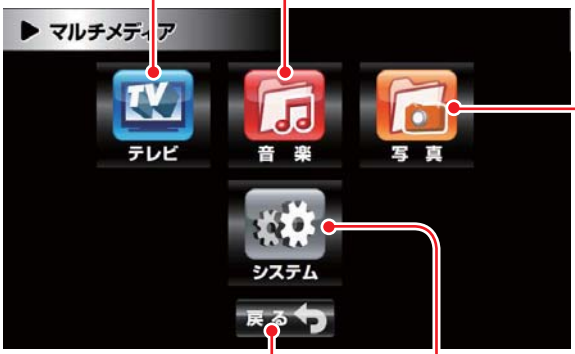
戻る
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

マルチメディアメニュー

この画面からマルチメディアの再生およびシステム設定を行う画面を表示します。

テレビ（P119～P149）
地デジを見るときには、
ここをタッチします。

音楽再生（P154～P157）
音楽を再生するには、
ここをタッチします。



写真再生（P158～P161）
写真を見るときには、ここをタッチします。

戻る
一つ前の画面に戻るときに、
ここをタッチします。

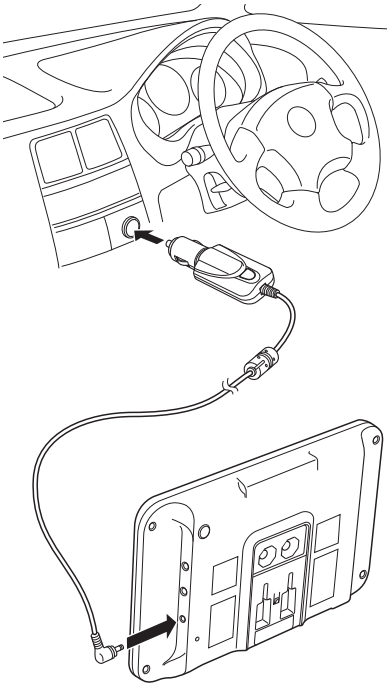
システム（P162～P169）
画面の明るさや音量調整、システム設定の変更や情報を見る時にはここをタッチします。

2. ナビゲーションの基本操作

ナビゲーションの起動

1 車のエンジンをかける

2 本機の電源端子と付属のシガー電源アダプターを接続する



3 付属のシガー電源アダプターを、車のシガーライターソケットに挿入する

4 タッチスクリーンに表示が出ることを確認する

▼

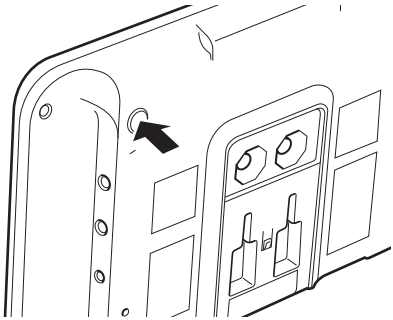
▼

- ルート案内中に電源を切ったとき、次回の起動時にはこのメッセージが表示されます。前回のルートを設定するときは **[はい]** をタッチします。

▼

- **[はい]** を選択した場合
  現在地画面に前回設定したルート線が表示されます。
- **[いいえ]** を選択した場合
  現在地画面が表示されます。

5 本機後面の電源スイッチを長押して電源を切る



- 正常終了させるためにも、電源を切る場合は電源スイッチを長押しして電源を切ってください。

メモ

本機は一定の時間間隔てせ自車位置を記憶しています。GPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときに、車のエンジンを切った場合、再度電源を入れた時には実際の自車位置ではなく、最後に記憶した位置を表示します。
また「正常終了」しないで電源を切った場合も、同様に現在地と異なる位置を示すことがあります。そのような場合は、再度GPS衛星を測位させてください。現在地画面が表示されます。

電源スイッチを長押しして電源を切っても、エンジンを止める前であれば、電源スイッチを長押しすれば再度電源が入ります。

注意

通常は電源を入れてから、数分でGPS衛星の測位を行い現在地を表示します。しかし、初めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかったときはGPS衛星の測位を行い現在地を表示するまでに、10～20分程度かかることがあります。現在地が表示されるまで移動しないでください。

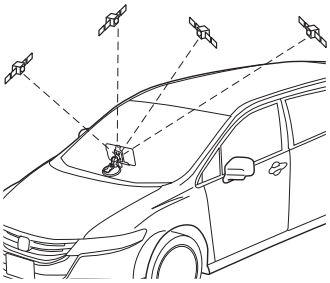
GPS衛星の測位について

注意

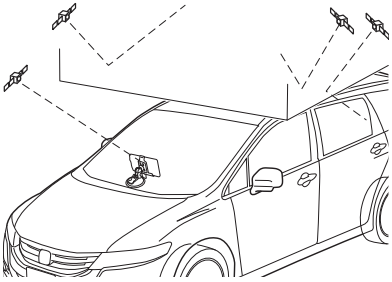
屋内ではGPS衛星を受信する事が出来ません。

初めてお使いになるとき、または長期間お使いになっていないときは、GPS衛星を測位に時間がかかる場合があります。このような時は、上空の見晴らしの良い場所でGPS受信をおこなってください。

上空の見晴らしの良い場所でGPSを受信する



- 見晴らしのよさそうな場所でも実際には近隣のビルや植木等が遮蔽物となって、GPS衛星からの信号を受けることが難しくなる場合があります。



GPS衛星の測位状況はGPS信号測位表示(→P22)で確認できます。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると地図画面が表示されます。また、GPS衛星を測位すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。

時間表示
GPS衛星から送られてくるデータを元に時間を表示します。GPS衛星からの信号を正しく受けていないときは、時間表示も正しく表示されません。

GPS信号測位表示
GPS信号の取得状況を表示します。

スケール表示
地図のスケール（縮尺）を14段階で表示します。

現在地（自車）マーク
自車の現在地を表示します。自車位置を示すマークは1秒間隔で非透明⇔透明を繰り返し表示します。

[自宅]
自宅を目的地にルート探索します。（→P60）「登録した場所（登録地・自宅）から探す」

[MENU]
[MENU]をタッチすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー

[メインメニュー]
メインメニューを表示します。

[今いる観光エリア]
現在地の観光エリア情報画面を表示します。

[周辺施設]
現在地（自車位置）の周囲の施設を検索します。

[地点登録]
現在地（自車位置）の位置を地点登録できます。

方位マーク
赤い三角が北を示します。
また、地図表示の方法も表示します。
アイコンをタッチすると、表示方法を切り替えられます。

	ヘディングアップ
	ノースアップ

ぬけみち表示
ぬけみちを水色点滅で表示します。
地図のスケールが200m以下のときに表示されます。

ステータスバー
自車位置の地点の情報を表示します。
「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。
（→P31）「地図中心位置の情報について」

メモ

「道路名称」が無いときは「住所名称」を表示します。

「住所名称」、「マップコード」が無いときは、「緯度経度」を表示します。

地図スケールの保持について
本機の電源を切った時、下記のような動作になります。

- 正常終了（本機後面の電源ボタンを長押し）した場合
  電源を切る前のスケールを表示します。
- 車のエンジンを切って本機の電源を切った場合
  定期的に保存をしておりますが、初期設定に戻ってしまう場合があります。

メモ

GPS信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときに電源オフした場合：
再度、電源を入れた時には最後に記憶した位置を表示します。
そのような場合は再度GPS衛星を測位させてください。
現在地画面が表示されます。

GPS信号測位表示

GPS表示		GPSの受信状況
	受信強度レベル3（強い）	衛星受信数が多く、衛星からの信号信頼度が高い
	受信強度レベル2	衛星受信数は多いが、衛星からの信号信頼度が低い
	受信強度レベル1（弱い）	衛星受信数が少なく、衛星からの信号信頼度が低い
	圏外（受信不可）	衛星からの信号が受信できない
	GPS受信OFF	GPS測位機能を停止（＝OFF）にしている
	DEMO	ルートデモ中

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタッチする

● タッチした地点を中心とした地図が表示されます。

[現在地]
現在地画面に戻ります。

[MENU]
[MENU] をタッチすると、ポップアップメニューが表示されます。

センターマーク
中心地を表示します。「赤色の地に白色の枠」のカーソルが表示されます。

ポップアップメニュー

[メインメニュー]
メインメニューを表示します。

[今いる観光エリア]
中心地（センターマーク）の観光エリア情報ちとして「定番スポット」、「ご当地グルメ」、「お土産」を表示します。

[周辺施設]
中心地（センターマーク）の周囲の施設を検索します。

[地点登録]
中心地（センターマーク）の位置を地点登録します。

[ここへ行く]
中心地（センターマーク）の位置を目的地または経由地としてルートを検索します。

メモ

地図をタッチしたまま移動すると、タッチした位置をつかんだ状態で地図を移動できます。

ドラッグ状態になると地図中心カーソルの色が「黄色の地に白色の枠」で表示されます。

画面を触り続けると、地図を連続スクロールします。動かしたい方向を触り続けてください。

注意

「ドラッグ」から「連続」、「連続」から「ドラッグ」へのスクロールモードの変更はできません。

ドラッグスクロール

地図をタッチしたまま移動すると、地図中心カーソルの「マーク」の色が変わり、タッチした場所をつかんだ状態で地図の移動ができるようになります。

ドラッグスクロールカーソル
「オレンジ色」のカーソルが表示されます。

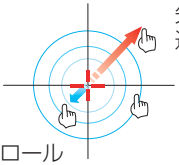
メモ

ドラッグスクロールから連続スクロールには変わりません。

連続スクロール

地図を1秒以上タッチし続けると、地図中心カーソルの「マーク」の色が変わり、地図の連続スクロールができるようになります。

連続スクロールカーソル
「黄色の地に白色の枠」のカーソルが表示されます。



メモ

連続スクロールは、地図をタッチし続けるあいだ移動し、手を離すと止まります。

スクロールの速さは、中心カーソルから遠い位置をタッチし続けると速く、近い位置をタッチし続けるとゆっくりになります。

スクロールの方向は、中心カーソルからタッチしている位置の方向になります。

連続スクロールからドラックスクロールには変わりません。

地図リスト画面

検索リスト表示
選択可能なジャンルまたは住所が表示されます。
▶表示は次のジャンルに進むことができ、探したい施設や住所を絞り込むことができます。

名称エリア表示
検索で入力したキーワードやジャンル名などを表示します。

[現在地]
現在地画面が表示されます。

[全て]
現在の検索リストに表示されている項目の全てから、施設を選択する場合は、ここをタッチします。

ページ表示
表示中リストの「現在ページ数／総ページ数」を表します。

[ページ切り替え]
検索結果が4件を超えるときは、ページ切り替えボタンが利用できます。
「▲」をタッチすると前のページが、「▼」をタッチすると次のページが表示されます。

[BACK]
ここをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

ポップアップメニュー
選択した施設をタッチすると、「詳細情報」、「地図表示」、「地点登録」、「ここへ行く」などのボタンが表示されます。

[詳細情報]
施設の詳細情報（名称、住所、電話番号など）を表示します。

[地点登録]
選択した場所を地点登録することができます。

[地図表示]
選択した場所の地図を表示します。

[ここへ行く]
目的地や経由地にするときにここをタッチします。

[駅出入口]
鉄道駅の出入口を表示します。
※出入口情報が収録された駅を選択した際に表示されます。

検索結果リスト表示
検索結果をリスト表示します。項目をタッチすると、その施設の地図が表示され、利用できるポップアップメニューが表示されます。
項目の名称が長く表示エリアにすべて表示されていないときは、項目をタッチし続けると名称がスクロール表示されます。

[並べ替え]
ここをタッチするとポップアップメニューが表示され、リストを「おすすめ順」、「名称順」、「近い順」で並べ変えることができます。

[表示切替]
ここをタッチするとポップアップメニューが表示され、「リスト」、「地図・リスト」、「写真一覧」のボタンが表示されます。
※検索リスト内に写真のある施設が無い場合は、「写真一覧」は表示されません。

[並べ替え] ポップアップメニュー

[おすすめ順]
ガイド情報付き施設を優先して表示します。
優先順位は「ガイド情報付き施設」、「一般的な施設」、「電話帳掲載施設」

[名称順]
50音順での並び順となります。

[近い順]
検索方法に沿って検索地点から近い順で施設を並び変えます。
〈現在地画面からの周辺検索〉は現在地からの近い順となります。
〈地図スクロール画面からの周辺検索〉は中心カーソル地点から近い順となります。

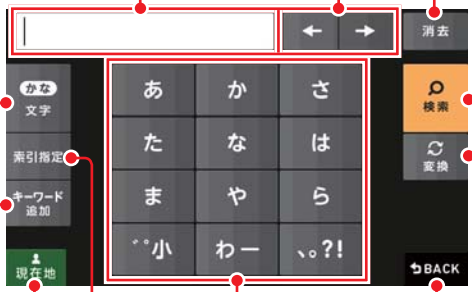
[表示切替] ポップアップメニュー

[リスト]

[地図・リスト]

[写真一覧]

文字入力画面



[文字送り]
文字入力エリアのカーソル位置を左右に移動できます。

文字入力エリア
キーボードで入力した文字が表示されます。

[入力切り替え]
ここをタッチすると、[ひらがな]、[カタカナ]、[英文字]、[数字]の順に入力用のキーボードが切り替ります。

[キーワード追加]
文字入力エリアに「&」マークが表示され、入力した複数のキーワードをAND条件で検索できます。キーワードは3つまで入力できます。

[現在地]
現在地画面が表示されます。

[1文字消去]
カーソル位置の1文字が削除されます。
長押しすると、連続で文字が消去されます。

[検索] / [確定]
かな漢字変換中の文字を決定したり、フリーワード検索を開始することができます。

[変換]
入力したひらがなをかな漢字変換できます。

キーボード
入力切り替えモードに合わせたキーボードが表示されます。

[BACK]
現在の画面から、1つ手前の画面へと戻ります。

[索引指定]
入力したキーワードをどの索引で検索するかを指定できます。

おまかせ：　入力されたワードを「キーワード」、「ジャンル」、「住所」の索引から検索します。
住所：　入力された文字を「住所」から検索します。
ジャンル：　入力された文字を「ジャンル」から検索します。
キーワード：入力された文字を「キーワード」から検索します。

入力モード画面

キーワード入力画面

ひらがな入力モード

カタカナ入力モード

英文字入力モード

数字入力モード

50音入力モード

電話番号入力画面

電話番号入力モード

まっぷるコード入力画面

まっぷるコード入力モード

マップコード入力画面

マップコード入力モード

地図のスケールを変える

地図のスケールは10m ～ 200kmの範囲で変えることができます。

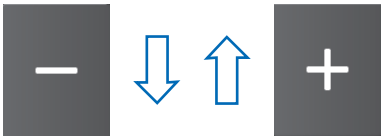
1 スケール表示をタッチする

▼

- [+]・[−]が表示されます。

2 [+]・[−]をタッチする

- タッチするたびに10m、25m、50m、100m、200m、500m、1.0km、2.5km、5km、10km、20km、50km、100km、200kmで地図のスケールが変わります。



メモ

[+]または[−]をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。

地図のスケールが10m、25mになると市街図が表示されます。

ただし、場所により市街図が表示されないことがあります。また、市街図が表示されているときは、ぬけみち道路は表示はされません。

[+]・[−]は、約5秒画面をタッチしないと、表示が消えます。
再度表示させるには、地図上をタッチしてください。

ルート案内を行っている場合、有料道路（高速道路）に乗ったときは「200m」の縮尺に、有料道路（高速道路）から降りたときは「50m」の縮尺に自動的に切り替わります。
この機能を使わないときは、（→P107）「誘導時縮尺を設定する」の設定を「自動変更しない」にしてください。

地図スケールの保持について

本機の電源を切った時、下記のような動作になります。

- 正常終了（本機後面の電源ボタンを長押し）した場合
  電源を切る前のスケールを表示します。
- 車のエンジンを切って本機の電源を切った場合
  定期的に保存をしておりますが、初期設定に戻ってしまう場合があります。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

地図方位マーク をタッチすると、地図の表示方法を選ぶことができます。

ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変更するときは、（→P99）「地図表示の向きを変更する」を参照してください。

ヘディングアップ：進行方向が常に画面の上になるよう地図を回転します。

ノースアップ：北が常に画面の上になるよう地図を表示します。

地図画面の配色について

地図画面の配色をオート/昼/夜/外で選ぶことができます。

夜は夜間移動時、屋外は明るい場所を移動時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。

オートに設定すると、地図が表示されている位置と現在時刻を元に、自動的に配色を「昼」または「夜」に切り換えます。

切り替えの時刻は月単位で変わります。

〈昼〉

〈夜〉

〈外〉

メモ

ご購入時は、オートに設定されています。地図画面の配色を変更するときは、（→P98）「地図の配色を変更する」を参照してください。

地図画面の文字サイズについて

地図画面の文字サイズを普通/でっか字/もっとでっか字で選ぶことができます。普通は通常利用を想定したサイズ、でっか字は普通の約1.3倍の文字サイズ、もっとでっか字は普通の約1.5倍の文字サイズになっています。お好みに合わせて文字サイズを設定してください。

〈普通〉

〈でっか字〉

〈もっとでっか字〉

メモ

地図画面の文字サイズを変更するときは、(→P99)「地図の文字サイズを変更する」を参照してください。

大きくなるのは地図上の文字のみです。

地図中心位置の情報について

地図画面のステータスバーに地図中心位置の情報を住所名称/道路名称/緯度経度/マップコードから選ぶことができます。

〈住所名称〉

〈道路名称〉

〈緯度経度〉

〈マップコード〉

メモ

地図画面の地図中心位置の情報を変更するときは、(→P105)「現在地表示を設定する」を参照してください。

「道路名称」を設定しても、道路名称が無いときは、「住所名称」が表示さます。

住所名称、マップコードが無いときは、「緯度経度」を表示します。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

メモ

スケールにより、表示されないアイコンがあります。

地点を登録するときは、(→P94)「地点を登録する(登録地・自宅)」を参照してください。

地図にアイコンを表示するときは、(→P100)「地図のアイコン表示を変更する」を参照してください。

自宅や地点を登録すると、地図にアイコンで自宅や登録地点が表示されます。

走行軌跡について

走行した軌跡を●で地図上に表示します。

メモ

走行軌跡は約80km分保存されます。また、越えた場合、古い順から削除されます。

突然電源が落ちてしまうなどナビアプリケーションが不正に終了しますと、走行軌跡の情報が正しく保存されないときがあります。

地図設定により、走行軌跡を表示/非表示の切り替えができます。設定を変更するときは(→P101)「走行軌跡表示を設定する」を参照してください。

走行軌跡はスケールが10m～2.5kmの時に表示されます。

走行軌跡は、初期設定では非表示となっております。
表示させたい場合には、設定メニューの(→P101)「走行軌跡表示を設定する」を参照して設定を「表示」にしてください。

ぬけみち道路について

ぬけみちは、近隣の主要道路が渋滞している場合でも比較的スムーズに通れる道路を水色の点滅で表示します。

ぬけみち道路

メモ

統計的な調査による情報のため、実際の交通状況を示すものではありません。

突然電源が落ちてしまうなどナビアプリケーションが不正に終了しますと、走行軌跡の情報が正しく保存されないときがあります。

地図設定により、表示/非表示の切り替えができます。設定を変更するときは（→P105）「ぬけみち考慮探索を設定する」を参照してください。

ぬけみち道路表示はスケールが10m ～ 200mの時に表示されます。

市街図では表示されません。

道路・鉄道の表示について

道路、鉄道は地図上に以下のように表示されます。

線	名称
（青色）	高速道路、有料道
（赤色）	国道
（緑色）	主要地方道
（黄色）	都道府県道
（灰色）	一般道
（灰色）	一般道（街路）
（水色点滅）	ぬけみち道路
	JR線
	私鉄線

ルート案内時のアイコンについて

ルート案内時のアイコンは以下のように表示されます。

アイコン	名称
（水色）	出発地点
（赤色）	案内終了地点 （目的地付近の道路）
	目的地（探索を行った地点）
	経由地（1番目）
	経由地（2番目）
	案内ポイント

地図記号一覧

IC	高速IC
JC	高速JCT
SA	高速SA
PA	高速PA
¥	料金所
	信号機
	都市高速番号
	国道番号（1・2桁）
	国道番号（3桁）
	県道番号（1・2桁）
	県道番号（3桁）
	県道番号（4桁）
	一方通行
	都市高速入口（水色）
	都市高速出口（桃色）
	都道府県庁
	市区役所
	町村役場
	一般施設（灰色）
	観光施設（赤色）

	駅
	空港
	踏切
	踏切（歩行者専用）
P	一般道休憩施設
	道の駅
P	駐車場
	トイレ
D	デパート
S	スーパーマーケット
	警察署
	交番・駐在所
	消防署
	消防分署
〒	普通郵便局
〒	特定郵便局
文	学校
幼	幼稚園
保	保育園
	病院

	ホテル・旅館
	マンション
	工場
	発電所/変電所
	NTT
	山
	滝
	オートキャンプ場
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー場
水	名水
	温泉
炒	日帰り湯
	神社〈観光〉（赤色）
卍	寺院〈観光〉（赤色）
	神社（黒色）
卍	寺院（黒色）
†	キリスト教会
工	墓地

企業アイコン例

	ガソリンスタンド
	コンビニエンスストア
	ファミリーレストラン

	ファストフード店
¥	銀　行

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

地図・メニュー画面の基本操作

メニュー

[MENU]をタッチし、[メインメニュー]をタッチするとメニュー画面が表示されます。

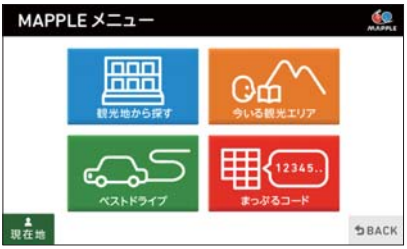
メインメニュー

[検索]　(→P44～P61) 検索メニュー画面を表示します。
[登録地点]　(→P60～P61、P94～P97)「登録した地点」または「自宅」を表示します。
[履歴]　(→P61～P62) 過去にルート案内した地点を表示します。
[マップル]　(→P64～P72) MAPPLEメニューを表示します。
[ルート]　(→P76～P86) ルートメニュー画面を表示します。
[自宅]　(→P63) 登録した「自宅」へ帰るルートを探索します。
[設定]　(→P98～P112) 地図、案内、環境を設定します。
[マルチメディア]　(→P126～P137、P150～P169) マルチメディアメニューを表示します。
[現在地]　現在地を表示します。
[戻る]　このメニュー画面が表示される前の地図画面 (現在地、スクロール、案内のいずれか) に戻ります。

検索メニュー

[フリーワード]　(→P44～P48) フリーワードで探索します。
[50音]　(→P49～P51) 50音で探索します。
[施設]　(→P51～P53) 施設名称で探索します。
[周辺施設]　(→P53～P55) 周辺施設で探索します。
[住所]　(→P55～P57) 住所で探索します。
[電話番号]　(→P58～P59) 電話番号で探索します。
[マップコード]　(→P59～P60) マップコードで探索します。

MAPPLEメニュー



[観光地から探す] (→P66～P69) 観光地から探索します。

[今いる観光エリア] (→P69～P70) 今いる観光エリアの情報を表示します。

[ベストドライブ] (→P70～P71) ベストドライブスポットを表示します。

[まっぷるコード] (→P71～P72) まっぷるコードで探索します。

ルートメニュー

[ルート編集] (→P75～P78) ルートの編集をおこないます。

[ルート消去] (→P86) ルートを消去します。

[ルートデモ] (→P81～P85) ルートデモを行います。

設定メニュー

[地図設定] (→P98～P101)「地図色」、「地図方向」、「地図文字サイズ」、「企業アイコン」、「3Dランドマーク」、「ぬけみち」、「走行軌跡」を変更できます。

[案内設定] (→P102～P111)「交差点拡大図」、「複数施設案内」、「都市高速入口イラスト」、「JCTイラスト」、「SA/PAイラスト」、「ETCイラスト」、「現在地表示」、「ぬけみち考慮探索」、「ETC機器」、「踏切注意案内」、「合流注意案内」、「誘導時縮尺」、「お土産ガイド」、「エリアおすすめスライドショー」、「観光地エリア進入メッセージ」、「現在位置」、「GPS受信動作設定」を行うことができます。

[環境設定] (→P111～P112)「操作音」設定、「システム情報表示」、「設定初期化」を行うことができます。

マルチメディアメニュー

[テレビ] (→P125～P137) 地デジを見ることができます。

[音楽] (→P154～P157) 音楽を聴くことができます。

[写真] (→P158～P161) 写真を見ることができます。

[システム] (→P162～P169)「システム設定の変更」、「画面の明るさ」や「音量」の変更を行うことができます。

[MENU]

[MENU]をタッチするとポップアップメニューが表示されます。

[メインメニュー]（→P13）メインメニューを表示します。
[今いる観光エリア]（→P69～P70）今いる観光エリアを表示します。
[周辺施設]（→P53～P55）地点の周辺施設の検索をします。
[地点登録]（→P94～P95）地点を登録します。

地図表示の切替

地図画面で方位マークをタッチすると、地図表示が切り替わります。（→P30）「地図表示の向きについて」
タッチするごとに、**ヘディングアップ⇔ノースアップ**に切り替わります。

[自宅]

自宅を登録済みの場合に、現在地画面では、**[自宅]**アイコンが表示されます。

▼

- ご購入後、自宅を登録していない場合は、**[自宅]**の表示は出ません。（→P94）「地点を登録する（登録地・自宅）」をご覧になり自宅を登録してください。

自宅が登録されている場合は、自宅を目的地としてルートを探索します。（→P60～P61）「登録した場所（登録地・自宅）から探す」

メモ

ルート探索してある場合は自宅アイコンが表示されません。

[現在地]

地図スクロール画面では、**[現在地]**が表示されます。
[現在地]をタッチすると現在地画面に戻ります。

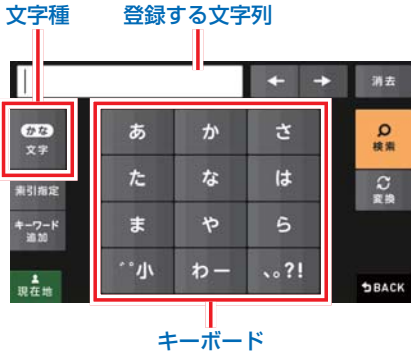
[+] [−]

タッチするたびに10m ～ 200kmの範囲で地図のスケールが変わります。

各設定画面の基本操作

文字の入力

登録した地点やルートの名称やメモなどを入力するとき、以下の画面（キーボード）で文字を入力できます。



文字種の切り替え

入力する文字種を切り替えるときは、文字種（例：**[カタカナ入力]**）を繰り返しタッチして選びたい文字種を選びます。文字種は、タッチするたびに**ひらがな→カタカナ→アルファベット→数字**の順に切り替わります。

ひらがな・カタカナの入力

キーボードを繰り返しタッチして、入力する文字を変更します。（例：「き」の場合は、**[か]** を2回タッチします。）
同じ行の文字を入力する場合は、**[→]** をタッチしてから、キーボードをタッチします。
漢字で入力する場合は、**[変換]** を繰り返しタッチして漢字を選び、**[確定]** をタッチします。

アルファベットの入力

キーボードを繰り返しタッチして、入力する文字を表示し、**[確定]** をタッチします。小文字を入力する場合は何度かをタッチを繰り返して、小文字を表示します。

数字の入力

入力する数字をタッチします。

入力位置の変更

カーソルを移動したい位置をタッチします。
[←] **[→]**をタッチすると、カーソルが1文字分移動します。

文字の削除

[消去] をタッチすると、カーソルの左側にある文字を削除します。

リスト表示の画面操作

リストの項目が複数のページに分かれているときは、スクロールボタンが画面に表示されます。スクロールボタンをタッチすると、リストを上下にスクロールします。
画面右上には表示中のリストのページが表示されます。

地図・リスト表示

[表示切替] をタッチして **[地図・リスト]** を選択すると、地図とリストを2画面で表示します。

写真一覧表示

[表示切替] をタッチして **[写真一覧]** を選択すると、検索候補の中の写真がある施設を一覧で表示します。
写真をタッチすると、詳細情報画面が表示されます。

メモ

検索結果リストに写真のある施設が無い場合は、ポップアップメニューに **[写真一覧]** は表示されません。

「写真一覧表示」のときは、写真の無い施設は選択できません。

リスト表示アイコン

アイコン	説明
	MAPPLE定番スポット。そのエリアを代表する著名施設を表します。 ※写真があります。
	MAPPLE定番スポット。そのエリアを代表する著名施設を表します。 ※写真がありません。
	MAPPLEおすすめスポット。詳細情報を確認することができます。 ※写真があります。
	MAPPLEおすすめスポット。詳細情報を確認することができます。 ※写真がありません。
	一般的な施設を表します。

[現在地]

各画面で、**[現在地]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして現在地画面を表示します。

[BACK]

各画面で、**[BACK]** をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。

さまざまなお知らせ機能

現在地や目的地の情報をメッセージや効果音によってお知らせします。

観光地エリア進入メッセージ

走行中に観光エリアに入ると、効果音とメッセージで観光エリアに入ったことをお知らせします。

観光地エリア進入メッセージ

▼

[MENU] 部分に「ℹ」が点灯し、「今いる観光エリア」情報が見られることをお知らせします。

メモ

「観光地エリア進入メッセージ」は表示開始から3秒程度で自動的に消去されます。

観光地エリア進入メッセージは初期設定では「非表示」になっております。
表示させたい場合には、設定メニューの（→P109）「観光地エリア進入メッセージの設定を変更する」を参照して設定を「表示」にしてください。

お土産ガイド

観光地から自宅に帰るとき、今いる観光エリアにあるお土産情報をお知らせします。

メモ

お土産ガイドは次の条件が全て満たされたときに表示されます。
- 自宅が登録され、自宅ボタンがタッチできる状態になっている。
- 現在地から自宅までの距離が、直線で30km以上離れている。
- GPSが受信できている。
- 時速7km未満で走行している。
- 「今いる観光エリア」が観光地としてなじみのあるエリアまたは人気スポットで、お土産情報が1件以上ある場合。
- **[自宅]** をタッチして案内の開始直後。

「今いる観光エリア」あるいは「今いる観光エリア」を含む場所のお土産ガイド情報が0件のときは、お土産ガイドは表示されません。

1 [自宅] をタッチする

2 [案内開始] をタッチする

▼

● お土産ガイドが表示されます。

お土産送りボタン
該当エリアのお土産が4種以上あるときに表示されます。

▼

● 写真をタッチすると、お土産の詳細情報を確認することができます。

エリアおすすめスライドショー

信号待ちなどにより停車したときに、今いる観光エリアにある「おすすめ施設の写真画像」をスライドショーで表示します。

メモ

エリアおすすめスライドショーは次の条件が全て満たされたときに表示されます。
- 時速7km未満が約1分間続いた場合。
- GPSが受信できている。
- 「今いる観光エリア」が観光地としてなじみのあるエリアまたは人気スポットである。

時速7km以上になるとスライドショーは自動終了され、復帰することはできません。
また、この地域の観光地情報を見るには、MAPPLEメニューの（→P69）「今いる観光地エリアで探す」から検索ができます。

車の停止判断をするとスライドショーが始まります。

- 右側に表示されている写真をタッチすると写真の場所の詳細情報が確認できます。

▼

3. 場所（行き先）を探す

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

▼

- センターマーク（スクロール画面の中心地）が表示されます。

2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 [MENU] をタッチする

4 [ここへ行く] をタッチする

[今いる観光エリア]：中心地（センターマーク）の位置の観光エリア情報を表示します。
[周辺検索]：中心地（センターマーク）の周囲の施設を検索します。
[地点登録]：中心地（センターマーク）の位置を登録します。
[ここへ行く]：中心地（センターマーク）の位置を目的地または経由地としてルートを検索します。

▼

- ルートが表示されます。

メモ

[ここに行く] をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

5 操作する項目をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先] の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

フリーワードで探す

いくつかの単語を入力して、宿泊施設やレジャー施設などを探すことができます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [フリーワード] をタッチする

▼

- 入力画面が表示されます。

5 キーボードで名称を入力する

[あ]～**[わ]**：各行を表します。
[゛゜小]：大文字の切り替え、濁点、半濁点を付けます。
[かな文字]：ボタンをタッチするとキーボードが「ひらがな」→「カタカナ」→「英字」→「数字」→「ひらがな」の順に切り替わります。
[←] **[→]**：カーソルキーを移動します。
[消去]：入力した文字を一文字削除します。
[確定]：入力した文字が正しければタッチします。
[変換]：入力した文字を漢字に変換します。

- **[あ]**～**[ら]**は、各行を表します。入力したい文字の行と同じキーを何度かタッチしてください。同じ行の文字を続けて入力したいときは、**[→]**をタッチして文字の入力位置を移動してください。
- 小文字を入力する時は、文字を入力してから**[゛゜小]**をタッチしてください。

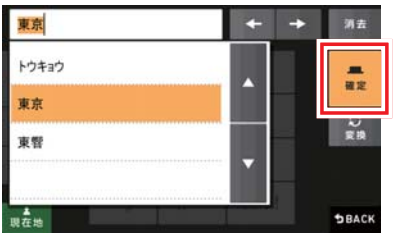
入力の例1：ろっぽんぎ
- **[ら]**5回＝ろ
- **[た]**3回→**[゛゜小]**1回＝っ
- **[は]**5回→**[゛゜小]**2回＝ぽ
- **[わをん]**3回＝ん
- **[か]**2回→**[゛゜小]**1回＝ぎ

入力の例2：あおやま
- **[あ]**1回＝あ
- **[→]**1回→**[あ]**5回＝お
- **[や]**1回＝や
- **[ま]**1回＝ま

▼

- **[変換]**をタッチして漢字に変換します。

▼



- ポップアップリストの変換候補の中から変換したい漢字を選択し**[確定]**をタッチします。

▼

6 決定した名称で検索するために、[検索]をタッチする

▼

- 入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

7 リストから目的の場所をタッチする

▼

● ポップアップメニューが表示されます。

8 [ここへ行く]をタッチする

▼

[詳細情報]：選択した施設の詳細情報を表示します。
[地図表示]：選択した施設を中心地(センター)に配置し、地図を表示します。
[地点登録]：選択した施設を地点登録します。
[ここへ行く]：選択した施設を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

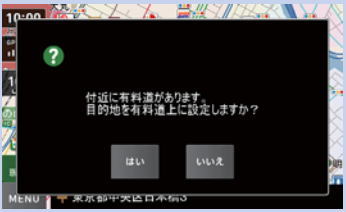
▼

● ルートが表示されます。

メモ

[ここに行く]をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

▼



9 [案内開始]をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先]の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。
[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

「フリーワード」検索をよりうまく使う

フリーワード検索は「入力するワード」によって検索方法を変化させ、検索結果を得る仕組みになっています。
その為、検索結果が時に意図しないものとなってしまうことがあります。
そこでより良い結果を得るための「コツ」についてご案内します。

複数ワードで検索する

- **[キーワード追加]** を押して、他の単語を入力できるようにします。

▼

- 入力したい単語がある場合は、新たな単語を入力します。

▼

- 漢字に変換し、変換が正しければ決定します。

▼

- 再度、入力したい単語がある場合は、**[キーワード追加]** を押した後、新たな単語を入力します。

▼

▼

探したいものが明確な時は、索引指定の「住所」、「ジャンル」、「キーワード」を指定しますと、欲しい検索結果が得られやすくなります。

項目	内容
おまかせ	入力ワードの内容に応じ**「自動」**で検索方法を選択します。
住所	住所名称から検索を行います。
ジャンル	ジャンル名称から検索を行います。
キーワード	施設の名称や施設にあるまっぷるマガジンのガイド記事から検索を行います。

1ワードと複数ワード検索の違いについて

入力するワード数が1ワードか複数ワードかで、入力ワードをどの索引から探していくかの順番が代わります。

1ワード：　「キーワード」→「ジャンル名称」→「住所」→「駅」の順番で検索します。

複数ワード：「駅」→「住所」→「ジャンル名称」→「キーワード」の順番で検索します。

メモ

[キーワード追加] は2回まで使えます。

ひらがな検索に対応

「よみ」検索に対応しました。

例：「とうきょうたわー」と入力しても検索できます。

通称名での検索に対応

「通称名」での検索に対応しています。

例：正式名称は「サンシャイン国際水族館」ですが「サンシャイン水族館」でも検索できます。

※一部の施設については対応しておりません。

「場所（駅・住所）」は1つの名称（1ワード）のみ入力する

「駅」や「住所」を複数の名称を入力しての検索はできませんのでご注意ください。

「駅」や「住所」は、1つの名称（1ワード）のみで検索してください。

「住所」や「名称」はなるべく全て入力する

断片的な情報でも検索できますが、目的のものとは違うものがみつかることがありますのでご注意ください。

断片的な情報をもとに探すときは、意味のある単位でワードを入力してください。

例えば、「東京都立上野恩賜公園（通称、上野公園）」を探すときは「（キーワード）上野（AND）（キーワード）公園」などと入力するようにしてください。

「変換」が必要な文字は短い単位で入力、変換する

一般的なパソコンと比較すると、かな漢字変換用の辞書は小さいものとなります。

一度に長い文字を変換をしますと意図しない結果となることがあります。文字は短い単位で変換するようにお願いします。

50音で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [50音] をタッチする

▼

- 入力画面が表示されます。

5 50音キーボードをタッチし、検索したい場所のよみを入力する

- 文字をタッチする度に、次文字に候補名が無い文字はタッチできなくなります。

▼

- 右上に絞り込まれた候補の件数が表示されます。

6 絞り込みが終わったら、[候補表示] をタッチする

▼

- 絞り込まれた候補がリストで表示されます。

メモ

濁音、半濁音、長音は入力しなくても候補を絞り込むことができます。

小文字は大文字のままでも絞り込むことができます。
例：「ろっぽんぎひるず」→「ろつほんきひるす」と入力しても絞り込みを行うことができます。

候補施設の最大表示件数は2000件です。
2000件以上の該当候補施設がある場合は、メッセージを表示し、先頭の2000件を表示します。

検索結果を「エリア」または「ジャンル」で絞り込むことができます。

[エリアで絞り込み]：検索結果を都道府県・市区町村で絞り込みます。
[ジャンルで絞り込み]：検索結果をジャンルで絞り込みます。

7 リストから目的の場所をタッチし、[ここへ行く]をタッチする

▼

[詳細情報]：選択した施設の詳細情報を表示します。
[地図表示]：選択した施設をセンターに配置し、地図を表示します。
[地点登録]：選択した施設を地点登録します。
[ここへ行く]：選択した施設を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

▼

- ルートが表示されます。

メモ

[ここに行く]をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

8 [案内開始] をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先] の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

施設で探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [施設] をタッチする

5 探している施設のジャンルをタッチする

6 詳細なジャンルをタッチする

▼

メモ

ジャンルによっては**[全て]**が表示されます。**[全て]**をタッチすると現在表示されている階層ジャンルの項目に登録されている施設名が全て表示されます。

探すジャンルによっては、更に詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタッチしてください。

7 「都道府県」をタッチする

8 「市区町村」をタッチする

▼

- 選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

メモ

ジャンルによっては「都道府県」や「市区町村」の画面が表示されません。

9 リストから目的の場所をタッチし、[ここへ行く]をタッチする

▼

[詳細情報]：選択した施設の詳細情報を表示します。
[地図表示]：選択した施設をセンターに配置し、地図を表示します。
[地点登録]：選択した施設を地点登録します。
[ここへ行く]：選択した施設を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

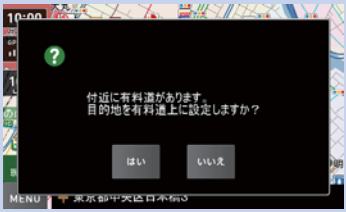
▼

- ルートが表示されます。

メモ

[ここに行く] をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

▼



10 [案内開始] をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先] の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

- ルート案内が開始されます。

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺施設を近い順序に表示できます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [周辺施設] をタッチする

5 検索するジャンルをタッチする

6 詳細なジャンルをタッチする

▼

▼

- 選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

メモ

ジャンルによっては**【全て】**が表示されます。**【全て】**をタッチすると現在表示されている階層ジャンルの項目に登録されている施設名が全て表示されます。

7 リストから目的の場所をタッチし、[ここへ行く]をタッチする

▼

【詳細情報】：選択した施設の詳細情報を表示します。
【地図表示】：選択した施設をセンターに配置し、地図を表示します。
【地点登録】：選択した施設を地点登録します。
【ここへ行く】：選択した施設を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

▼

- ルートが表示されます。

メモ

【ここに行く】をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**【有料道路】**または**【一般道路】**のどちらかを選びルートを設定します。

8 [案内開始] をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先] の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

メモ

地図スクロール画面で **[MENU]** をタッチし、ポップアップメニューの **[周辺施設]** をタッチしても、同じように周辺施設を検索ができます。

住所で探す

住所で場所を探します。番地または号まで入力して探すことができます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [住所] をタッチする

▼

● 入力画面が表示されます。

5 「都道府県」をタッチする

6 表示されている「あ行」～「わ行」を、タッチし、「市区町村」をタッチする

7 表示されている「あ行」～「わ行」を、タッチし、「町名」をタッチする

メモ

該当する地域の無い行は表示されません。

8 「テンキー」をタッチする

- 字・丁目、番地、号はテンキーを使って入力します。

▼

▼

▼

▼

メモ

丁目～号の住所にて文字を含む住所がある場合は、テンキーが表示されません。

号までの地図情報がない場合は、「号」が表示されません。

9 [ここへ行く]をタッチする

[地図表示]：選択した住所をセンターに配置し、地図を表示します。
[地点登録]：選択した住所を地点登録します。
[ここへ行く]：選択した住所を目的地または経由地として、現在地からルートを検索します。

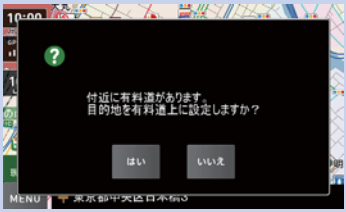
▼

● ルートが表示されます。

メモ

[ここに行く]をタッチしたとき、目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]**または**[一般道路]**のどちらかを選びルートを設定します。

▼



10 [案内開始]をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先]の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。
[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

電話番号で探す

電話番号から施設を探す事ができます。

1 [MENU]をタッチする

2 [メインメニュー]をタッチする

3 [検索]をタッチする

4 [電話番号]をタッチする

5 「数字」をタッチして電話番号を入力し、[検索]をタッチする

[←] **[→]**：カーソルを位置を左右に移動します。
[消去]：入力した数字を一文字削除します。

▼

- 入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

6 リストから目的の番号をタッチする

▼

- ルートが表示されます。

7 [案内開始] をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先] の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

- ルート案内が開始されます。

メモ

電話番号検索は法人電話帳などから検索されます。
登録されていない電話番号の場合はエラーメッセージが表示されます。

市外局番と市内局番は必ず入力してください。

ハイフンを入力しなくても検索できます。

マップコードで探す

探す場所のマップコードを入力して探すことができます。
「マップコード」とは地図上の位置を簡単に特定できるコードナンバーです。
マップコードは雑誌やウェブなどに記載されています。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [検索] をタッチする

4 [マップコード] をタッチする

5 数字をタッチし、マップコードを入力する

[←] [→]：カーソルを位置を左右に移動します。
[消去]：入力した数字を一文字消去します。

6 [決定]をタッチする

▼

● ルートが表示されます。

7 [案内開始]をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先]の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」
[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。
[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

登録した場所(登録地・自宅)から探す

登録されている場所(登録地・自宅)から探すことができます。

1 [MENU]をタッチする

2 [メインメニュー]をタッチする

3 [登録地点]をタッチする

▼

● いままでに登録した地点のリストが表示されます。

4 リストから目的地または自宅をタッチし、[ここへ行く]をタッチする

▼

● ルートが表示されます。

5 [案内開始]をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先]の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

検索履歴から探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 [MENU]をタッチする

2 [メインメニュー]をタッチする

3 [履歴]をタッチする

▼

● いままでに検索した履歴のリストが表示されます。

4 リストの履歴の地点をタッチし、[ここへ行く]をタッチする

▼

- ルートが表示されます。

5 [案内開始]をタッチする

[条件変更]：[おすすめ]、[有料優先]、[一般優先]の3種類から、経路を検索する条件を変更することができます。(→P73)「ルートを探索する」

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。

[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。

[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

[ルートデモ]：探索したルートのルートデモを開始します。

[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

- ルート案内が開始されます。

メモ

検索履歴は50件まで履歴を残すことができます。

50件を超えた場合は、登録した古い順に履歴が消えます。

履歴アイコンについて

アイコン	名称
	施設、周辺、フリーワード、電話などの検索結果(リスト、詳細情報)から「地図表示」を選択したとき履歴登録されたものです。
	地図または施設、周辺、フリーワード、電話などの検索結果(リスト、詳細情報)から「ここへ行く」⇒「案内開始」を選択したとき履歴登録されたものです。
	マップコードで検索したときに登録された履歴です。

検索履歴を消去する

過去に検索した履歴を消去します。

1 [MENU]をタッチし、[メインメニュー]をタッチする

2 [履歴]をタッチする

▼

- 「履歴一覧」が表示されます。

3 削除したい登録地名称をタッチする

4 ポップアップメニューの[削除]をタッチする

5 [はい]をタッチする

- **[いいえ]**をタッチすると「履歴一覧」に戻ります。

6 [OK]をタッチする

▼

- 名称が削除されたリストが表示されます。

自宅に帰る

現在地から自宅までのルートを探すことができます。自宅は事前に自宅登録が必要になります（→P94～P95）。

1 地図画面からの場合

[自宅] をタッチする

メモ

ルート探索してある場合は「自宅」アイコンが表示されません。

メインメニュー画面からの場合

[自宅] をタッチする

▼

- 自宅までのルートが表示されます。

2 [案内開始] をタッチする

メモ

[案内開始] を押さずにいると、10秒程度でルート案内画面に切り替わります。

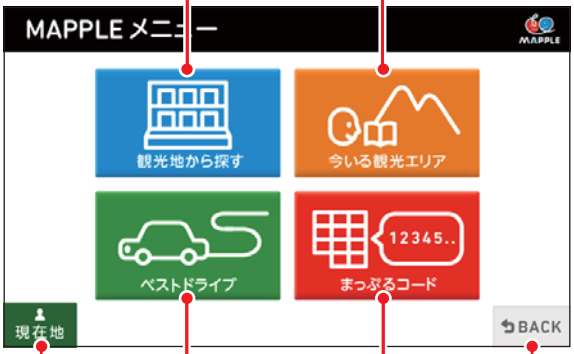
4. MAPPLEメニューを使う

MAPPLEメニュー

MAPPLEメニューを使うと、観光地エリア情報を基にまるでガイドブックを開いてスポットを調べる感覚で、目的の場所を検索することができます。

観光地から探す（P66～P69）
MAPPLEおすすめの観光スポットを全国の観光エリアリストから選択する方法で探すことができます。

今いる観光エリア（P69～P70）
現在地または地図中心位置の観光エリア、MAPPLEおすすめの観光スポットを探すことができます。



［現在地］
現在地画面が表示されます。

ベストドライブ（P70～P71）
MAPPLEおすすめのドライブスポットを探すことができます。

［BACK］
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

まっぷるコード（P71～P72）
まっぷるコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

観光地メニュー

エリア詳細（P67）
ここをタッチすると、現在選択しているエリアの歴史、見どころ、名物などの詳細情報を確認できます。

エリア名表示
選択しているエリアの名称が表示されます。

[上のエリア]
ここをタッチすると、上位エリアに移動できます。

施設一覧
ここをタッチすると、現在選択しているエリアの定番以外の観光施設が確認できます。

[現在地]
現在地画面が表示されます。

[BACK]
一つ前の画面に戻るときに、ここをタッチします。

定番スポット（P68）
ここをタッチすると、昭文社がおすすめするエリア内の定番スポットが確認できます。

お土産（P69）
ここをタッチすると、現在選択しているエリアのお土産情報が確認できます。

ご当地グルメ（P68）
ここをタッチすると、現在選択しているエリアのご当地グルメが確認できます。

観光地エリアについて

観光地エリアは、都道府県や市区町村といった行政や自治体のくくりにとらわれず、旅行、観光における地域性を考慮して、昭文社が独自に選定したエリアです。
MAPPLEメニューでは、「観光地から探す」「今いる観光地エリア」、「ベストドライブスポット」、「まっぷるコード」の検索機能において、この観光地エリア情報を活用しています。

観光地から探す

1 [MENU]をタッチする

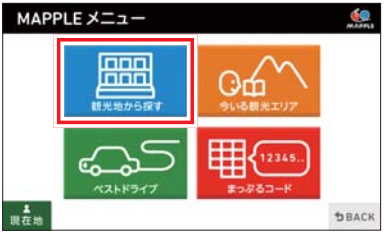
2 [メインメニュー]をタッチする

3 [マップル]をタッチする

▼

● マップルメニューが表示されます。

4 [観光地から探す]をタッチする



5 目的のエリアをタッチする

6 詳細なエリアをタッチする

メモ

左側に表示されるエリア名称と写真は、見ているエリア階層にある情報の中からランダムに表示されます。

7 目的のエリアをタッチし、[エリア全て] をタッチする

▼

● 観光地メニューが表示されます。

8 表示したいエリア情報をタッチする

[エリア詳細]：そのエリアの概要として、歴史、見どころ、名物などのエリア詳細情報が確認できます。
[定番スポット]：エリア内において「定番施設」といえるスポットを紹介します。
[ご当地グルメ]：その土地ならではのご当地料理をセレクトし、実際にそのエリアで味わうことができるスポットを紹介します。
[お土産]：その土地ならではのお土産をセレクトし、そのエリア内で実際に入手できるスポットを紹介します。

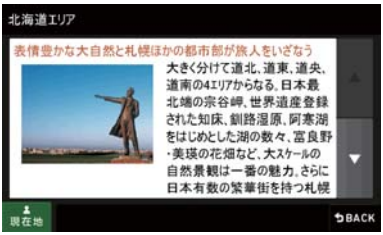
エリア詳細情報

エリア内の歴史、見どころ、名物などのエリア詳細情報が確認できます。

1 [エリア詳細] をタッチする

▼

● エリアの詳細情報が表示されます。



メモ

画像はエリアによっては収録されていないところがあります。

定番スポット

エリア内において「定番施設」といえるスポットを紹介します。

1 [定番スポット] をタッチする

▼

- エリアの定番施設がリスト表示されます。

ご当地グルメ

その土地ならではのご当地料理をセレクトし、実際にそのエリアで味わうことができるスポットを紹介します。

1 [ご当地グルメ] をタッチする

▼

- エリアのご当地グルメがリスト表示されます。

2 画像またはリストをタッチする

▼

- タッチしたご当地グルメの紹介文が表示されます。

メモ

画像は、**[ご当地グルメ]** をタッチするたびにランダムで表示します。

紹介文の確認画面の **[店舗一覧]** をタッチすると、取り扱う施設の一覧を確認することができます。

お土産

その土地ならではのお土産をセレクトし、そのエリア内で実際に入手できるスポットを紹介します。

1 [お土産] をタッチする

▼

- エリアのお土産リスト表示されます。

2 画像またはリストをタッチする

▼

- タッチしたお土産の紹介文が表示されます。

メモ

画像は、**[お土産]** をタッチするたびにランダムで表示します。

紹介文の確認画面の **[店舗一覧]** をタッチすると、取り扱う施設の一覧を確認することができます。

今いる観光地エリアで探す

現在地、または地図スクロールで移動した地点の観光地エリア情報を確認することができます。

1 [MENU] →[メインメニュー] をタッチし、[マップル] をタッチする

▼

- マップルメニューが表示されます。

2 [今いる観光エリア] をタッチする

▼

- 観光地メニューが表示されます。

メモ

地図スクロール画面上で、**[今いる観光地エリア]** をタッチしても、観光地エリアの検索を行うことができます。

3 表示したいエリア情報をタッチする

[エリア詳細]：そのエリアの概要として、歴史、見どころ、名物などのエリア詳細情報が確認できます。
[定番スポット]：エリア内において「定番施設」といえるスポットを紹介します。
[ご当地グルメ]：その土地ならではのご当地料理をセレクトし、実際にそのエリアで味わうことができるスポットを紹介します。
[お土産]：その土地ならではのお土産をセレクトし、そのエリア内で実際に入手できるスポットを紹介します。

ベストドライブで探す

昭文社書籍“ベストドライブ”のドライブスポット情報を探すことができます。

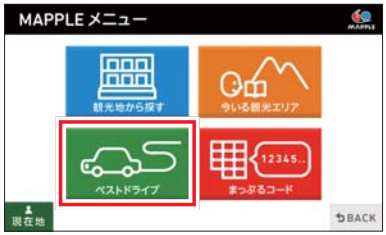
1 [MENU]をタッチし、[メインメニュー]をタッチする

2 [マップル]をタッチする

▼

- マップルメニューが表示されます。

3 [ベストドライブ]をタッチする



▼

- ベストドライブスポットリストが表示されます。

4 エリアをタッチする

5 詳細なエリアをタッチする

まっぷるコードで探す

まっぷるコードから場所を探すことができます。下記の「MGコード/クチコミNo./まっぷるコード」とは昭文社出版物に掲載されているオリジナルコードです。

昭文社発行の地図やガイドブックを見ながら、掲載されている観光施設やお店の番号を入力して検索する事が出来ます。

1 [MENU] をタッチする

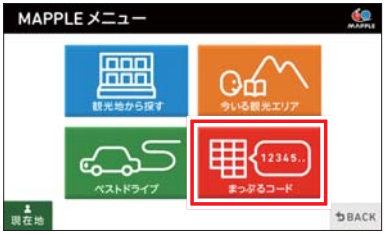
2 [メインメニュー] をタッチする

3 [マップル] をタッチする

▼

● マップルメニューが表示されます。

4 [まっぷるコード] をタッチする



5 数字をタッチしてまっぷるコードを入力する

[←] **[→]**：カーソルを位置を左右に移動します。
[消去]：入力した数字を一文字消去します。

メモ

まっぷるコードが **[0]** から始める場合は、**[0]** を入力せずに次の数字から入力してください。
例。
まっぷるコード：03000789
入力：　　3000789

6 [検索] をタッチする

7 [ここに行く] をタッチする

8 [案内開始] をタッチする

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。
[案内開始]：探索したルートの案内を開始します。

▼

● ルート案内が開始されます。

メモ

出版物の刊行時期とナビゲーションの収録データ整備時期が異なるため、施設によっては検索できないものもあります。

ハイフンを入力しなくても検索できます。

5. ルート探索

ルートを探索する

目的地を探して**[ここへ行く]**をタッチすると現在地から目的地までのルートが探索されます。

1 目的地を探す

地図画面で探す →P43
フリーワードで探す →P44
50音で探す →P49
施設で探す →P51
周辺施設で探す →P53
住所で探す →P55
電話番号で探す →P58
マップコードで探す →P59
登録地・自宅から探す →P60
検索履歴から探す →P61
まっぷるコードで探す →P71

メモ

既に出発地・目的地が設定されているときに「ルート編集画面」を表示するには、**[MENU]**→**[メインメニュー]**をタッチし、メニュー画面の**[ルート]**をタッチし、ルート画面の**[ルート編集]**をタッチします。

2 [ここへ行く]をタッチする

▼

- **[キャンセル]**をタッチした場合は、ルート探索をキャンセルし、1つ前の画面の戻ります。

3 ルートを確認する

ルート情報

- **[おすすめ]**以外の条件でルートを探索する場合は、**[条件変更]**をタッチし、ポップアップメニューから**[有料優先]**または**[一般優先]**をタッチします。
  ※現在選択されている探索条件がオレンジ色で表示されます。

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

メモ

選択されているルートは、一般道がオレンジ色、有料道路が水色、道幅が狭い道路が紫色で表示されます。無料の自動車専用道路は一般道と同じ黄色で表示されます。

4 [案内開始]をタッチする

[案内開始]：選択した施設までのルートを探索します。(→P79)「ルート案内を開始する」
[BACK]：[ここへ行く]をタッチした時の画面に戻ります。

▼

● ルート案内が開始されます。

ルート情報

距離:行き先(目的地)までの距離を表示します。
時間：行き先(目的地)到着までのおよその時間を表示します。
案内地点：出発地から目的地までの主な通過地点や分岐地点をリスト表示します。また、リスト中の名称をタッチするとその場所の地図が表示されます。

メモ

ルート確認画面の地図はルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。

「時刻」は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、実際の移動速度で再計算し、最新の時速で一定の時間ごとに更新した「時刻」を表示します。

目的地までの距離や到着予想時刻などは実際と異なることがありますので参考情報としてご利用ください。

メモ

到着予想時刻はルート探索をおこなった日時でのものになります。

道路に関する施設を除き地図操作や検索によって設定した「目的地」は道路上に無いことがほとんどです。そのため、ルート探索の案内終了地点は、ルート案内が可能な目的地近くの道路上となりますのでご注意ください。

案内終了地点

設定した目的地

ルートを編集する

案内中のルートに経由地を追加したり、案内中の経由地の順序を入れ替えることができます。

経由地を追加する

目的地を設定し、案内開始後に、経由地を最大2箇所追加できます。

注意

案内開始を行う前には、経由地を追加することはできません。案内開始前に経由地を追加しようとしても、検索や地図スクロールなどで場所を探し出して経由地として設定しようしても、目的地として設定されます。

1 目的地を探す

地図画面で探す →P43
フリーワードで探す →P44
50音で探す →P49
施設で探す →P51
周辺施設で探す →P53
住所で探す →P55
電話番号で探す →P58
マップコードで探す →P59
登録地・自宅から探す →P60
検索履歴から探す →P61
まっぷるコードで探す →P71

2 経由したい場所をタッチし、[ここへ行く] をタッチする

- 経由地に設定したい場所は、地図スクロール、検索、登録地点、履歴から探し出せます。

3 [経由地] をタッチする

- ルート編集が表示されます。

4 [再検索] をタッチする

▼

- 新しいルートが探索されます。

5 [案内開始] をタッチする

▼

- ルート案内が開始されます。

注意

経由地を更に1箇所追加し、経由地を2箇所にすることができます。
ただし、2箇所目の経由地を追加する前に必ず1箇所目の経由地への案内開始を行ってください。
1箇所目の案内開始を行う前に、次の経由地を追加しようすると、先に選択した経由地の設定が消えてしまいます。

経由地の順番を変更、削除する

案内中ルートの経由地の順番を変更したり、削除することができます。

1 [MENU]をタッチする

2 [メインメニュー]をタッチし、[ルート]をタッチする

3 [ルート編集]をタッチする

▼

●「ルート編集」が表示されます。

4 変更したい場所をタッチする

5 経由地を削除する場合は[削除]タッチする

経由地を移動したい場合は[↑][↓]をタッチし場所を移動する

▼

▼

● 一番下まで移動すると、目的地になります。

6 [再検索] をタッチする

7 [案内開始] をタッチする

▼

● ルート案内が開始されます。

経由地の探索条件を変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

3 [ルート編集] をタッチする

▼

● 「ルート編集」が表示されます。

4 変更したい「探索条件」をタッチする

▼

● ポップアップメニューが表示されます。

5 「探索条件」を選択し、タッチする

[おすすめ]：有料道路を含む幹線道路を利用し、直進を優先したルートを探索します。
[有料優先]：有料道路をなるべく利用したルートを探索します。
[一般優先]：有料道路をなるべく利用しないルートを探索します。

6 [再検索] をタッチする

7 [案内開始] をタッチする

▼

● ルート案内が開始されます。

メモ

現在設定されている「探索条件」は右上に表示されます。
区間ごとに探索条件を変え、複数種類設定されている場合は、**「区間条件指定」**と表示されます。

ルート案内を開始する

ルートが決まったら、ルート案内を開始します。

設定したルート案内を開始する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

3 [ルート編集] をタッチする

▼

● 「ルート編集」が表示されます。

4 [再検索] をタッチする

5 [案内開始] をタッチする

▼

● ルート案内が開始されます。

ルート探索の失敗

ルート探索を行ったとき、探索が出来ないことがあります。
探索できない理由は次のとおりになります。

現在地⇔経由地⇔目的地のいずれかの区間距離が短い

→区間距離が短くなっている地点をずらすなどして、設定場所を変更してください。

自車位置付近にルート探索の対象となる道路が存在しない

→自車位置近くの道路に寄せる、または他の道路の近くに寄せるなどして、設定場所を変更してください。

経由地付近にルート探索の対象となる道路が存在しない

→経由地近くの道路に寄せる、または他の道路の近くに寄せるなどして、設定場所を変更してください。

目的地付近にルート探索の対象となる道路が存在しない

→目的地を近くの道路に寄せる、または他の道路の近くに寄せるなどして、設定場所を変更してください。

目的地または経由地までの道路が交通規制などによって通行できない

→目的地または経由地の設定場所を変更する。または時間をおいて再度ルート探索を行ってください。

メモ

ルート探索結果には、時間帯による交通規制が関係しています。

時間帯規制は短いものから数ヶ月におよぶ長いものまで様々です。

市街地などでは短い規制、観光地や豪雪地帯では長い期間の規制が設定されています。

ルート探索情報はGPSで受信された時間情報を使用しています。

GPSが受信できない状態では、正しい時間情報が取得できず、ルート探索ができないことがあります。GPSを受信できる場所でルート探索をおこなってください。

ルートをデモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。
ルートデモの開始は「地図」、「検索」、「メニュー」のいずれからでも行うことができます。

1 地図から

ポップアップメニューの［ここへ行く］をタッチする

▼

● ルート案内が表示されます。

検索から

リストの項目をタッチし、ポップアップメニューの［ここへ行く］をタッチする

▼

● ルート案内が表示されます。

メインメニューから

［メインメニュー］をタッチし、［ルート］をタッチする

▼

● 「ルート編集」が表示されます。

2 地図 / 検索から

「ルート案内画面」の［ルートデモ］をタッチする

▼

● 探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

メインメニューから

「ルートメニュー」の［ルートデモ］をタッチする

▼

● 探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

3 ［はい］をタッチする

▼

● デモ走行を開始します。

メモ

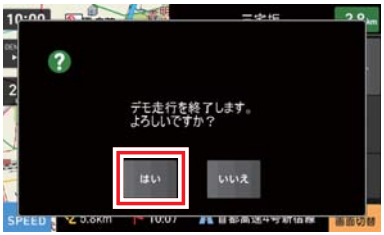
ルートデモ中はGPS受信状況に「DEMO」と表示され、画面右下に **[SPEED]** が表示されます。

4 デモ走行を終了する場合はルートデモ中の地図画面をタッチする

▼

- デモ走行終了確認画面が表示されます。

5 [はい] をタッチする



- **[いいえ]** をタッチするとデモ走行が継続します。

▼

地図 / 検索から

- ルート案内画面から開始した場合はルート案内画面に戻ります。

ルートメニューから

- ルートメニューから開始した場合はルートメニューに戻ります。

ルートデモの再生スピードを変更する

スケールに応じて、ルートデモの基本再生速度が決まっています。
「スケール表示」の **[+]**・**[−]** をタッチすると、ルートデモの再生スピードが変更されます。

+	**[+]** をタッチしスケールを下げると、再生スピードがゆっくりになります。
−	**[−]** をタッチしスケールを上げると、再生スピードが速くなります。

メモ

スケールが「25m」の場合、おおよそ以下の速度で再生します。

細街路	20km/h
一般道	50km/h
都市高速/有料道	60km/h
都市間高速	80km/h

スケール「20km」での再生スピードが最速です。「20km」以上のスケールに変更しても速度は変わりません。

同じスケールで再生スピードを変更するには

1 [SPEED] をタッチする

▼

- **[スピード調整]** のアイコンが表示されます。

2 [スピード調整] のアイコンをタッチする

アイコン		方位表示
▶	スケールごとの基本スピードで再生します。	DEMO ▶
▶▶	基本スピードの約1.5倍速で再生します。	DEMO ▶▶
▶▶▶	基本スピードの約2倍速で再生します。	DEMO ▶▶▶

出発地点を変更してルートデモ走行をする

GPS受信動作設定を「オフ」にすると、出発地点を自由に変更できます。

メモ

GPS受信動作設定が「オン」になっていると、出発地点の変更ができません。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチし、[設定] をタッチする

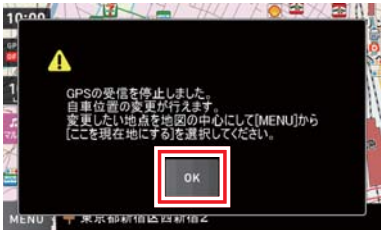
3 [案内設定] をタッチする

4 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「5/5」にする

5 「GPS受信動作設定」の項目をタッチする

6 [オフ] をタッチする

7 [OK] をタッチする



▼

- GPSが「OFF」表示になります。

8 出発地点にしたい場所で [MENU] をタッチする

9 [ここを現在地にする] をタッチする

▼

- 自車位置が変更され、この地点が出発地点になります。

メモ

出発地点の変更は地図が表示された画面で行ってください。
検索で施設を探したときはポップアップメニューの **[地図表示]** をタッチし地図を表示させてください。
地図表示画面の **[MENU]** 以外からは **[ここを現在地にする]** は選択できません。

10 目的の場所を探し、[ここに行く] をタッチする

▼

● ルート案内が表示されます。

メモ

出発時刻の変更はできません。

目的地までの距離や到着予想時刻などは実際と異なることがありますので参考情報としてご利用ください。

到着予想時刻はルート探索をおこなった日時でのものになります。

11 [ルートデモ] をタッチする

▼

● ルートデモが開始されます。

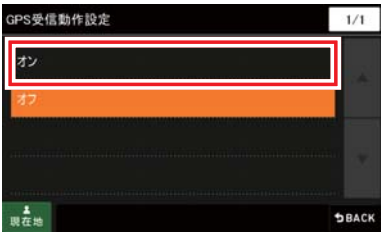
GPSの受信を再開する

1 [MENU] →[メインメニュー] →[設定] →[案内設定] をタッチする

2 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「5/5」にする

3 「GPS受信動作設定」の項目をタッチする

4 [オン] をタッチする



5 [OK] をタッチする

▼

● GPSの受信が開始されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチし、[ルート] をタッチする

3 [ルート消去] をタッチする

▼

- 消去を確認する画面が表示されます。

4 [はい] をタッチする

- **[いいえ]** をタッチした場合は、ルート削除を中止し、「前画面」に戻ります。

5 [OK] をタッチする

▼

- 目的地、出発地、経由地が削除され、ルートが削除されます。

ルート案内中の案内について

ルート案内を開始すると、「ルート案内画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

一般道路案内表示

1施設案内表示

案内ポイント名称
次に誘導する施設（交差点など）の名称が表示されます。
※名称が整備されていない施設は「案内地」と表示されます。

施設距離
次に誘導する施設までの距離が表示されます。

案内ルート
案内中のルートを道路上に色で表示します。
一般道路：オレンジ色
有料道路：青色
高速道路：青色
細街路　：紫色

誘導情報
曲がる方向を示す案内矢印や料金所などの施設アイコンを表示します。

[MENU]
[MENU] をタッチすると、ポップアップメニューが表示されます。

[画面切替]
ここをタッチすると、複数施設案内画面と1施設案内画面の表示を切り換えることができます。

ステータスバー
目的地までの距離、到着予想時刻、現在位置の情報を表示します。道路データベースに道路名がある場合にはその名称が表示されます。
現在位置の情報として「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。

複数施設案内表示

[スクロール]
施設リストを上下にスクロールできます。
[▲] をタッチすると次の施設が、**[▼]** をタッチすると前の施設が表示されます。

施設リスト表示
案内ポイントが自車位置から近い順にリスト表示されます。
施設をアイコン表示し、レーン情報、施設詳細情報、施設までの距離、到着予想時刻などが表示されます。

[リスト現在地]
スクロールで遠方の施設までリスト移動させたときに、一気に現在地直近の施設リストに戻ることができます。
※直近施設を表示している場合は利用できません。

高速道路案内表示

案内ポイント名称
次に誘導する施設の名称が表示されます。
※名称が整備されていない交差点やICは「案内地」、名称が整備されていない料金所は「料金所」と表示します。

施設距離
次に誘導する施設までの距離が表示されます。

ステータスバー
目的地までの距離、到着予想時刻、現在位置の情報を表示します。道路データベースに道路名がある場合にはその名称が表示されます。
現在位置の情報として「住所名称」、「道路名称」、「緯度経度」、「マップコード」が表示できます。
※「道路名称」がないときは「住所名称」を表示します。

[スクロール]
施設リストを上下にスクロールできます。
[▲]をタッチすると次の施設が、**[▼]**をタッチすると前の施設が表示されます。

[リスト現在地]
スクロールで遠方の施設までリスト移動させたときに、一気に現在地直近の施設リストに戻ることができます。
※直近施設を表示している場合は利用できません。

施設リスト表示
案内ポイントが自車位置から近い順にリスト表示されます。
施設を表す情報として「パーキングエリア（PA）」、「サービスエリア（SA）」、「インターチェンジ（IC）」、「ジャンクション（JCT）」などのアイコンを表示します。
「PA」、「SA」では、施設内を表す情報として、「ガソリンスタンド」、「レストラン」、「スマートIC」などのアイコンを表示します。
「IC」、「JCT」などでは、通過予想時刻を表示します。

[画面切替]
ここをタッチすると、複数施設案内画面と1施設案内画面の表示を切り換えることができます。

イラスト表示
料金所や高速の分岐イラストなど案内地に関連するイラストを表示します。

距離ゲージ
次に案内する施設までの距離を最大300mとしたゲージで表示されます。

レーン情報
走行レーンを示します。

メモ

ETCレーンガイドのイラストは、有料道路を使用する時期や時間により、実際と異なることがあります。

その他の高速道路案内

都市高速入口イラスト

昼モード

夜モード

首都高速道路や阪神高速道路など、都市高速道路の入口について、風景をイラスト表示します。
イラストは夜モードにも対応していてます。

ETCイラスト

高速道路を走行中に料金所のETCレーンに近づくと、レーン情報をイラスト表示します。

SA/PA（サービスエリア/パーキングエリア）イラスト

高速道路を走行中にサービスエリア/パーキングエリアに近づくと、サービスエリア、パーキングエリアの施設配置についてイラスト表示します。

JCT（ジャンクション）イラスト

昼モード

夜モード

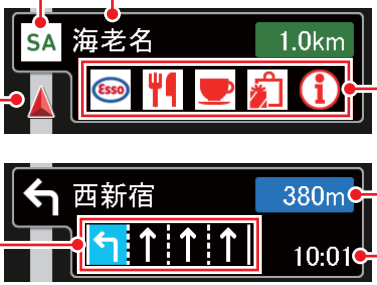
高速道路のJCT（ジャンクション）や出口など、分岐する個所を進むべき方向と共にイラスト表示します。
イラストは夜モードにも対応していてます。

施設リストの見方

案内ポイントアイコン
案内する施設や案内矢印など
をアイコンで表示します。

施設名称
次に案内する施設の名称を表示します。
※名称が整備されていない交差点やICは「案内地」、名称が整備されていない料金所は「料金所」と表示します。

現在地表示
現在の自車位置から最も近い案内ポイントを表します。



SA / PS施設アイコン
SA/PA内の施設がアイコンで表示されます。

施設距離
案内する施設までの距離が表示されます。

レーン情報
走行レーンを示します。

到達予想時刻
案内する施設の到達予想時刻が表示されます。

案内ポイントアイコン

案内する施設や案内矢印などをアイコンで表示します。

アイコン	施設
¥	料金所
SA	SA（サービスエリア）
PA	PA（パーキングエリア）
IC	IC（インターチェンジ）
SA IC	IC・SA併設施設
PA IC	IC・PA併設施設
（水色）	出発地
1 2	経由地
（赤色）	目的地
⋮	通過アイコン
↖ ↰ ↰ ↕ ↱	案内矢印（10方向）

SA / PA施設アイコン

案内する施設や案内矢印などをアイコンで表示します。

アイコン	施設
ETC 出口	スマートインターチェンジ
	ガソリンスタンド ※企業アイコンで表示する場合もあります。
	レストラン
	ファストフード・カフェ
	ショッピング・コンビニ
	インフォメーション

メモ

誘導中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わります。右記の「ハイウェイモード」を参照してください。

交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが収録されていない場合は表示されません。

方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。

ルート誘導中に地図上をタッチすると、地図スクロール画面が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタッチするとルート誘導画面に戻ります。

目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内後、誘導を終了し通常の現在地画面に切り替わります。

アイコンを表示するスケールは、10m、25m、50m、100mのみです。

案内地点に交差点名称がない場合は、「案内地」と表示します。

ハイウェイモード

ルート案内時に有料道路の入り口に近づくと、自動的にハイウェイモードに切り替わります。

入口に近づくと

有料道路の700m手前になると、有料道路入り口の案内を開始します。
首都高速道路や阪神高速道路など、都市高速道路の入り口については、イラストにて表示します。

メモ

入口イラストのデータがない場合は、右側に案内図のみ表示されます。

ルート案内開始時に自車位置がハイウェイモード対象路線上にある場合もハイウェイモードに切り替わります。

ルート上の最後の高速施設を通過したとき、ハイウェイモードを終了します。

入口を通過すると

案内ポイント名称
名称と距離、到着予想時刻が表示されます。

施設リスト
自車位置に近い施設（3件分）の名称と距離、到着予想時間がなど表示されます。

[スクロール]
[▲] [▼] をタッチして表示する施設を切り替えます。
[▼] で現在地直近施設表示に戻ります。

ETCレーン案内

本線上の料金所や出口料金所の2km手前でETCレーン情報をイラストで表示します。料金所の10m手前で消去します。

誘導地点1km手前に近づくと

音声で案内され、分岐イラストが表示されます。

分岐までの距離
分岐名・案内地
方面指示

サービスエリア/パーキングエリアに近づくと

サービスエリア/ パーキングエリアの約2km手前に近づくと、サービスエリア/ パーキングエリア内の様子をイラストで表し、サービスエリア/ パーキングエリアまでの距離ゲージが表示されます。

メモ

分岐イラストのデータがない場合は、交差点拡大図が表示されます。

分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わり、引き続き目的地までの誘導を行います。

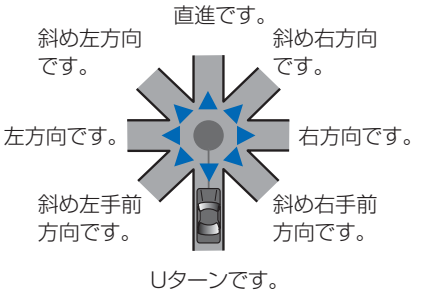
[地図表示] をタッチすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには **[現在地]** をタッチしてください。
※誘導を再開したとき、GPSで測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
※誘導再開時の現在地がルートから離れている場合はリルートを行います。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

移動方向の誘導例

移動方向（8方向）は、音声で以下のように誘導されます。



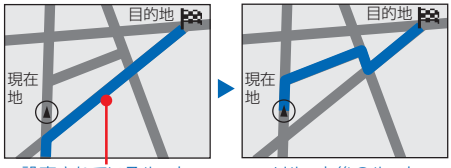
メモ

「目的地」、「経由地」、「有料道入口・出口」、「料金所」、「合流地点」、「踏み切り」の手前で音声案内を行ないます。

誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージで案内されます。



設定されているルート　　リルート後のルート

メモ

リルート中は「リルート中です」というメッセージが表示され、**[MENU]** をタッチできなくなります。

6. 経由地／登録地／現在地修正

経由地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を経由するルートを案内させることができます。経由地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

1 経由地に設定する行き先を探す

フリーワードで探す →P44
50音で探す →P49
施設で探す →P51
周辺施設で探す →P53
住所で探す →P55
電話番号で探す →P58
マップコードで探す →P59
登録地・自宅から探す →P60
検索履歴から探す →P61
まっぷるコードで探す →P71

2 [経由地] をタッチする

▼

- センターマークの地点を経由地として追加された「ルート編集画面」が表示されます。

3 [再探索] をタッチする

▼

- 経由地を追加した新しいルートを検索し、表示されます。

メモ

目的地・経由地周辺に有料道路がある場合は、確認ダイアログ画面が表示されます。**[有料道路]** または **[一般道路]** のどちらかを選びルートを設定します。

「この地点を目的地に変更する」 をタッチし、**[OK]** をタッチすると目的地を変更します。

自宅を経由地に選んだ場合は、経由地ではなく目的地に設定されます。

経由地は最大2つまで登録できます。登録した順に経由地が追加されます。

地点を登録する（登録地・自宅）

「地点登録」を使って、現在地を「登録地点」、「自宅」に登録できます。
自宅やよく行く場所を（自宅を含む登録地点を最大100件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点の名称は変更することができます。

1 登録したい地点を探す

フリーワードで探す →P44
50音で探す →P49
施設で探す →P51
周辺施設で探す →P53
住所で探す →P55
電話番号で探す →P58
マップコードで探す →P59
登録地・自宅から探す →P60
検索履歴から探す →P61
まっぷるコードで探す →P71

2 [MENU] をタッチし、[地点登録] をタッチする

▼

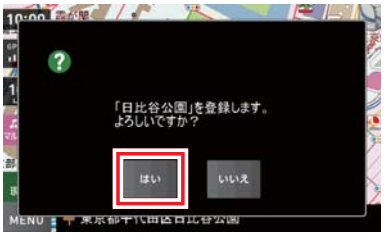
- 「自宅」が登録されてないときは、「自宅」と「地点登録」を選択するポップアップメニューが表示されます。

- **[自宅]** を選ぶと、確認の画面が表示されます。
- **[地点登録]** を選ぶと、地点の名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

3 地点の名称を編集する

4 名称編集後「決定」をタッチする

5 「はい」をタッチする



6 [OK] をタッチする

メモ

名称は文字数が28文字まで入力できます。

登録地を編集する

自宅または登録地点の名称を編集することができます。

1 [MENU] をタッチし、[メインメニュー] をタッチする

2 [登録地点] をタッチする

▼

- 「登録地点一覧」が表示されます。

3 名称を変更したい登録地名称をタッチする

4 [編集] をタッチする

▼

- キーボードが表示されます。

5 キーボードで名称を変更する

6 キーボードで名称を変更し終わったら、[決定] をタッチする

7 [OK] をタッチする

▼

- 名称が修正されたリストが表示されます。

登録地を削除する

不要になった登録地を削除できます。

1 [MENU] をタッチし、[メインメニュー] をタッチする

2 [登録地点] をタッチする

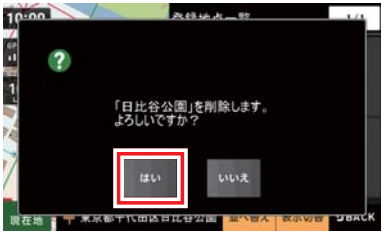
▼

- 「登録地点一覧」が表示されます。

3 削除したい登録地名称をタッチする

4 [削除] をタッチする

5 [はい] をタッチする



- **[いいえ]** をタッチすると「登録地点一覧」に戻ります。

6 [OK] をタッチする

▼

- 名称が削除されたリストが表示されます。

7. ナビ設定

ナビ設定について

メニューの「設定」を使い、用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。

[現在地] をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。

[戻る] または **[BACK]** をタッチすると、前の画面に戻ります。変更した設定内容は保存されます。

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

地図の配色を変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 「地図色」の項目をタッチする

[オート]：地域や時期時刻に適した配色で表示します。
[昼]：昼の移動に適した配色で表示します。
[夜]：夜の移動に適した配色で表示します。
[外]：日中の屋外での移動に適した配色で表示します。

6 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

地図表示の向きを変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 「地図方向」の項目をタッチする

[ヘディングアップ]：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
[ノースアップ]：常に北が上になるように地図が表示されます。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

メモ

「ヘディングアップ」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。**[現在地]** をタッチして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図の文字サイズを変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 「地図文字サイズ」の項目をタッチする

[普通]：地図の文字サイズを普通の大きさにします。
[でっか字]：地図の文字サイズを普通の約1.3倍の大きさの文字にします。
[もっとでっか字]：地図の文字サイズを普通の約1.5倍の大きさの文字にします。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

地図のアイコン表示を変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 「企業アイコン」の項目をタッチする

[表示]：企業アイコンを表示します。
[非表示]：企業アイコンの表示を行いません。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

3Dランドマーク表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして地図設定の「2/2」にする

6 「3Dランドマーク」の項目をタッチする

[表示]：3Dランドマークを表示します。
[非表示]：3Dランドマークの表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

ぬけみち表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして地図設定の「2/2」にする

6 「ぬけみち」の項目をタッチする

[表示]：地図上にぬけみちを水色点滅で表示します。
[非表示]：ぬけみちの表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする
▼
● 設定を終了します。

メモ

ぬけみちは、地図のスケールが10m、25m、50m、100m、200mにて表示されます。ただし、市街図が表示されている時は、ぬけみちは表示されません。

走行軌跡表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [地図設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして地図設定の「2/2」にする

6 「走行軌跡」の項目をタッチする

[表示]：地図上に「●」にて走行軌跡を表示します。
[非表示]：走行軌跡の表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする
▼
● 設定を終了します。

メモ

初期設定では「非表示」となっております。

交差点拡大図表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 「交差点拡大図」の項目をタッチする

[表示]：地図上に交差点拡大図を表示します。
[非表示]：交差点拡大図の表示を行いません。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

複数施設案内表示を変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 「複数施設案内」の項目をタッチする

[全て表示]：複数施設案内を全て表示します。
[有料道のみ表示]：複数施設案内を有料道路のみ表示します。
[非表示]：複数施設案内を表示しません。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

都市高速入口イラスト表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 「都市高速入口イラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上に都市高速入口イラストを表示します。
[非表示]：都市高速入口イラストの表示を行いません。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

ジャンクションイラスト表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 「JCTイラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上にJCT（ジャンクション）イラストを表示します。
[非表示]：JCT（ジャンクション）イラストの表示を行いません。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

サービスエリア・パーキングエリアイラスト表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/5」にする

6 「SA/PAイラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上にSA/PA（サービスエリア/パーキングエリア）イラストを表示します。
[非表示]：SA/PA（サービスエリア/ パーキングエリア）イラストの表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

ETCレーンイラスト表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/5」にする

6 「ETCイラスト」の項目をタッチする

[表示]：地図上にETCレーンのイラストを表示します。
[非表示]：ETCレーンのイラストの表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

現在地表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/5」にする

6 「現在地表示」の項目をタッチする

[住所名称]：ステータスバーに現在位置の「住所名称」を表示します。
[道路名称]：ステータスバーに現在位置の「道路名称」を表示します。道路の名称が無い場合は「住所名称」を表示します。
[緯度経度]：ステータスバーに現在位置の緯度と経度を表示します。
[マップコード]：ステータスバーに現在位置のマップコードを表示します。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

ぬけみち考慮探索を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「2/5」にする

6 「ぬけみち考慮探索」の項目をタッチする

[する]：「ぬけみち」情報を利用したルートを探索します。
[しない]：「ぬけみち」情報を利用しないルートを探索します。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

ETC機器を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/5」にする

6 「ETC機器」の項目をタッチする

[あり]：目的地までのルートを探索する際、ETC専用出入口を考慮したルートを探索します。
[なし]：ETC専用出入口やETC割引の考慮は行わずにルートを探索します。

7 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

踏切注意案内を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/5」にする

6 「踏切注意案内」の項目をタッチする

[する]：踏切の手前で音声による注意案内をします。
[しない]：踏切の手前で音声による注意案内をしません。

7 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

注意

踏切によっては注意案内がされないことがあります。

合流注意案内を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/5」にする

6 「合流注意案内」の項目をタッチする

[する]：合流手前での音声による「注意案内」をします。
[しない]：注意案内をしません。

7 [現在地] をタッチする
▼
● 設定を終了します。

誘導時縮尺を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「3/5」にする

6 「誘導時縮尺」の項目をタッチする

[自動変更する]：一般道から有料道に入ると縮尺を「200m」に、有料道から一般道にはいると縮尺を「50m」に自動変更します。
[自動変更しない]：地図の縮尺を自動で変更しません。

7 [現在地] をタッチする
▼
● 設定を終了します。

お土産ガイドの設定を変更する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「4/5」にする

6 「お土産ガイド」の項目をタッチする

[する]：観光地から自宅に戻るときに、お土産の提案をします。
[しない]：お土産の提案を表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

エリアおすすめのスライドショーの設定を変更する

1 [MENU] をタッチする

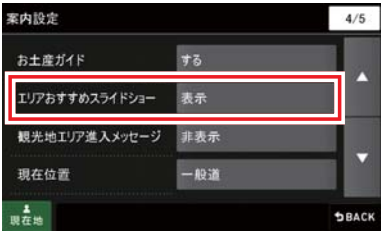
2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「4/5」にする

6 「エリアおすすめのスライドショー」の項目をタッチする



[表示]：観光地エリアに入ったとき、エリアおすすめの施設写真をスライドショーで表示します。
[非表示]：エリアおすすめの施設写真をスライドショー表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

メモ

この設定を「表示」にしても、走行中にはスライドショーは表示されません。

観光地エリア進入メッセージの設定を変更する

1 [MENU] をタッチする

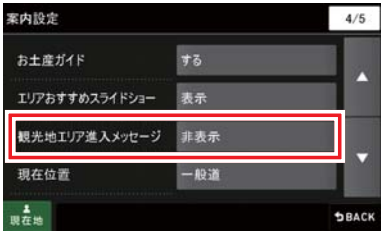
2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「4/5」にする

6 「観光地エリア進入メッセージ」の項目をタッチする



[表示]：観光エリアに入ったとき、効果音とともにメッセージを表示します。
[非表示]：観光エリアのメッセージ表示を行いません。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

メモ

初期値では「非表示」になっております。

現在位置を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [案内設定] をタッチする

5 ページ切り替えの [▼] をタッチして案内設定の「4/5」にする

6 「現在位置」の項目をタッチする

[有料道]：現在の位置が、高速道路などの有料道路のときに選びます。
[一般道]：現在位置が、国道や県道その他の一般道のときに選びます。

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

メモ

一般道と有料道(高速道路)が並行している時、GPSの受信状況によって誤った道路を走行してしまうことがあります。このモードでは強制的にどちらの道路を走行中か選択することができます。
走行状況上、切り替え可能な道路がないときは、設定を変更しても自動的に元の設定に戻ります。
必ず切り替えできることを保証するものではありませんのでご注意ください。

GPS受信動作設定を変更する

GPS衛星の受信動作をオフにすることで、現在地を変更して、事前の旅行計画などを立てる目的で、自車位置を変更できる機能です。

1 [MENU]をタッチする

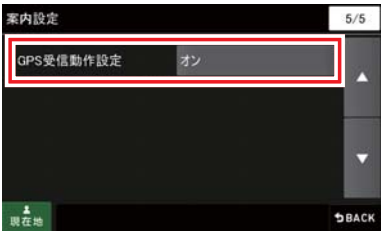
2 [メインメニュー]をタッチする

3 [設定]をタッチする

4 [案内設定]をタッチする

5 ページ切り替えの[▼]をタッチして案内設定の「5/5」にする

6 「GPS受信動作設定」の項目をタッチする



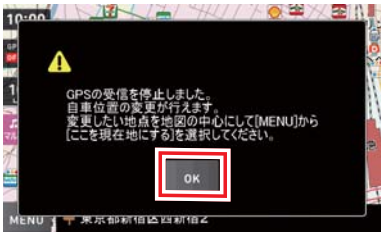
[オン]：GPS信号を受信します。
[オフ]：GPS信号を受信しません。

注意

この設定を[オフ]にすると、GPS衛星からの信号が受信しません。実際の走行前には必ず、設定を[オン]にしてください。

7 [OK] をタッチする

▼



- 地図画面左側の「GPS・方位」ボタンが「GPS OFF」表示となり、出発地点の変更ができる状態になります。

8 出発地点にしたい場所を表示する

9 [MENU] をタッチし、[ここを現在地にする] をタッチする

- これで現在地が変更されました。目的地を設定して、ルートの確認やルートデモを行ってください

注意

この機能は、GPS衛星の誤作動や現在地のズレを修正する機能ではありません。

操作音を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [環境設定] をタッチする

5 「操作音」の項目をタッチする

[OFF]：画面操作時のタッチ音をオフにします。
[ON]：画面操作時のタッチ音をオンにします。

6 [現在地] をタッチする

▼

- 設定を終了します。

注意

音量が最小の場合、タッチ音を「オン」に設定しても聞こえません。

システム情報表示を設定する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [環境設定] をタッチする

5 「システム情報表示」の項目をタッチする

[表示]：ナビゲーションシステムや地図データのバージョンを表示します。

6 [OK] をタッチする

7 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

設定を初期化する

1 [MENU] をタッチする

2 [メインメニュー] をタッチする

3 [設定] をタッチする

4 [環境設定] をタッチする

5 「設定初期化」の項目をタッチする

▼

目的別に初期化することが出来ます。

[地図設定]：地図についての設定を初期化します。

[案内設定]：ルート案内についての設定を初期化します。

[登録地点]：全ての登録地点を削除します。

[履歴]：全ての履歴を削除します。

[走行軌跡]：全ての走行軌跡を削除します。

[工場出荷状態に戻す]：ナビゲーションに関する全ての設定情報を工場出荷時に戻します。

6 [現在地] をタッチする

▼

● 設定を終了します。

8. ナビゲーションについて

ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位について

GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）とは、GPS衛星からの位置測位用電波を受信して、現在地を測位することができるようにするシステムのことです。また、その測位した現在地データを利用して地図上に現在地を表示し、行き先を案内するのがナビゲーションになります。

GPS信号の利用について

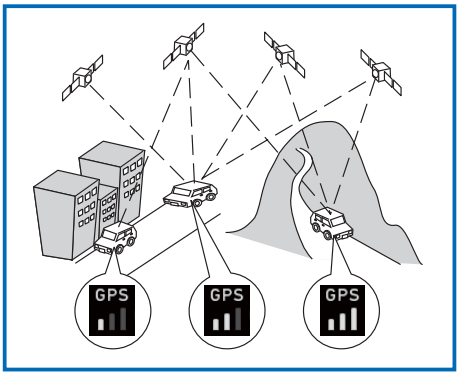
マップマッチングや自車の移動速度の判定、GPSアンテナの表示などをするにあたり、GPSの測位情報とともにGPS信号の信頼度も利用しています。

受信状態の表記

〈GPS信号の受信状態の表記〉

種類	内容
GPS（3本）	衛星受信数・信頼度とも高い状態
GPS（2本）	衛星受信数は多いが信頼度が低い場合
GPS（1本）	衛星受信数・信頼度とも低い場合
測位（圏外）	衛星を受信できない場合

〈GPS信号の受信状態例〉



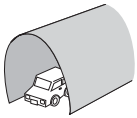
マップマッチングについて

GPS衛星から受ける電波の状態や周りの遮蔽物により現在地の測位に誤差が生じることがあります。このために、自車（現在地）が道路でない場所を走行しているように見えることがあります。このようなことがおこった場合に、自車（現在地）を近くの道路に戻す機能をマップマッチングと呼びます。

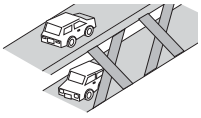
マップマッチングしている場合

誤差について

特に、下記のような場合、遮蔽物などにより、GPS衛星から電波が弱められます。そのため、位置測位に誤差が大きく出たり、測位が不可能になる場合があります。



トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

密集した樹木の間

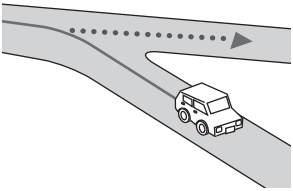
- 他の電波の影響により、GPS衛星の電波を正しく受信できなくなることがあります。
  ※高出力のUHF無線機が使われている。
  ※56ch（UHF）を車内のテレビで受信している。
  ※GPS受信アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

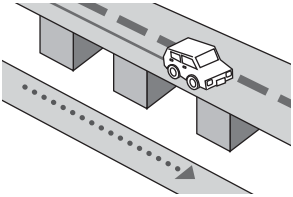
- GPS衛星の運用はアメリカ合衆国により管理されています。したがって、意図的にずれたデータを送信したり、衛星の運用が休止されることがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

その他の誤差について

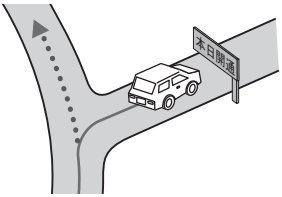
- 角度の小さなY字路を走った場合。



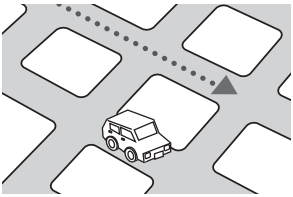
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

ルート案内時のご注意事項

- 高速道路など上下線が並行している場所において、まれに自車が走行しているのとは反対の車線に表示され、進行方向とは逆方向にルートを引いてしまうことがあります。
  これは、GPS信号の受信状況により測位誤差が大きくなり、マップマッチングの結果、反対車線に自車がいるものと判断されるために発生するものです。
  受信状況が悪いまま、あるいはマップマッチング動作の状態により、この問題が継続的に発生し続けて逆方向へのリルートが連続して発生することがあります。
  こうした状況も受信状況の改善、あるいは高速道路を下りるなど、周囲環境の変化で自動的に修正されます。
  この問題はシステム上の限界で、発生を完全に抑えることは不可能です。
  万が一、このような状況に遭遇しましても、実際の交通規制、道路標識等に従い、慌てず運転をするようにしてください。

注意事項

- ナビゲーションソフト内のファイルを編集すると、保証対象外となります。

収録されている地図情報について

検索する場所によっては、その元となるデータのために、地図上に表示される位置と実際の位置がずれてしまうことがあります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellemax」のデータが収録されています。

地図記号について

- 地図上に表示される地図記号と実際の場所とは異なっている場合があります。特に、企業アイコンの表示にはご注意ください。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時間規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「午後」に通行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避では、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

取扱説明書内の画像について

- 説明書内の画像は、イメージです。実際に本機を操作した際に表示される画像と詳細の表示が異なる場合があります。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

承認

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図を使用しました。
（承認番号 平22業使 第24－M009817号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。
（承認番号 平22業使 第25－M011390号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用しました。
（承認番号 平22業使 第26－M009825号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を使用しました。
（承認番号 平22業使 第27－M009833号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本、50万分の1地方図及び数値地図500万（総合）を使用しました。
（承認番号 平22業使 第28－M029664号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図500万（総合）を使用しました。
（承認番号 平21業使 第559号）
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認 08-151P）

※本地図データは、上記財団法人日本デジタル道路地図協会発行「全国デジタル道路地図データベース」の情報に基づいて、（株）昭文社が作成したものです。

地図データについて

通常地図

- 通常地図は2010年6月2日までに判明した2010年10月31日時点の重要情報まで対応します。
  但し、その他の情報は2009年10月までに取得できた情報まで対応します。

市街図

- 都市地図は2010年6月2日までに判明した2010年10月31日時点の重要情報まで対応します。
  但し、その他の情報は2009年10月までに取得できた情報まで対応します。

道路

- 新規開通高速道路は2010年4月1日までに判明した2010年10月31日までに供用された新規道路を収録の対象とします。但し、道路形状と基本的属性のみとなります。
- 路線名称未定の路線については、仮名称で対応します。
- 信号機データは、2009年10月までに取得できた情報まで対応します。
- 高速道路のレーン情報は2010年4月までに判明した2010年4月末までの経年情報を反映します。
- 一般道路交差点のレーン情報は2010年4月1日までに判明した2010年10月31日までの経年情報を反映します。
  データ整備は、全国の片側2車線以上の道路と、国道・主要地方道・一般県道の主要な交差点を対象としています。
- 高速施設は2010年2月末までに判明した2010年4月1日までの経年情報を反映します。

フェリー航路

- 2010年4月1日までに判明した2010年10月31日までの経年情報を反映しています。

住所データ

- 住所データについては2010年3月版データを使用します。
- 市区町村合併/政令市移行については、2010年4月1日施行分まで対応します。

検索データ

- 検索データは2010年3月時点までに判明した2010年10月1日時点の情報まで対応します。

電話帳データ

- 電話帳データは日本ソフト販売（株）提供の「Bellemax（NSS業種付き電話帳データ）2010年3月版」を使用しています。

ぬけみち

- ぬけみち情報は、2009年10月31日時点までに判明した2010年1月31日までの経年情報を反映します。
- 下記の31都道府県の主要部につきましてぬけみちのデータを採用しております。

番号	採用都道府県名	番号	採用都道府県名
1	北海道	16	長野県
2	宮城県	17	岐阜県
3	福島県	18	静岡県
4	茨城県	19	愛知県
5	栃木県	20	三重県
6	群馬県	21	滋賀県
7	埼玉県	22	京都府
8	千葉県	23	大阪府
9	東京都	24	兵庫県
10	神奈川県	25	奈良県
11	新潟県	26	和歌山県
12	富山県	27	鳥取県
13	石川県	28	岡山県
14	福井県	29	広島県
15	山梨県	30	山口県
		31	福岡県

ガイドデータ

- ガイドデータについては2010年4月版データ（2009年9月から2010年3月までの最終取材日時点での情報）を使用しています。

おことわり

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- 内容には万全を期しておりますが、道路標識などの交通規制情報も予告なく変更される事がありますので、すべて現地の通行規制や標識に従って運転願います。
- 情報掲載内容については、（株）昭文社独自の取捨選択を行っております。
- 細心の注意を払い地図編集を行っておりますが全国の地図情報は膨大でかつ変化が激しいものですので、現地の状況との相違については、何卒ご了承頂きますようよろしくお願い申し上げます。
- この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事はできません。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用する事を固く禁じます。
- 改良のため、予告なく編集方針（レイアウト、情報内容、地図仕様等）を変更する事があります。
- 本地図データ利用により事故、損害、トラブル等が生じても、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

©2011 財団法人日本デジタル道路地図協会
©2011 日本ソフト販売株式会社
©2011 株式会社昭文社
©2011 キャンバスマップル株式会社

9. テレビを視聴する

緊急警報放送について

緊急警報放送とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
本機能は、地上デジタル放送視聴時のみ有効な機能です。

緊急警報放送受信時の動作

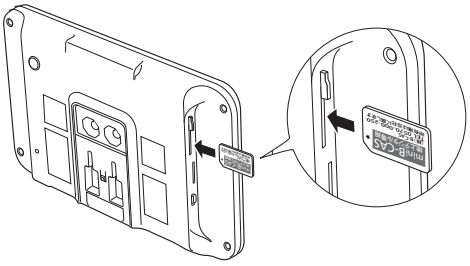
本機は、視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
緊急警報放送終了後は、切り換わったチャンネルのままです。元のチャンネルには自動では戻りません。

視聴するための準備

本機にて地デジまたはワンセグのテレビを見る前には、以下の準備を行ってください。
なお、これらの作業は本機を吸盤付きステーに取り付ける前におこなうことをお勧めします。

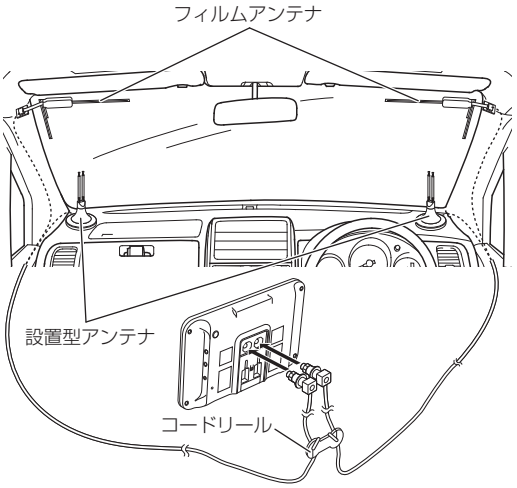
1 付属miniB-CASカードを挿入する

- miniB-CASカードは切れ込みが下側になるように、また「miniB-CAS」と印刷している面が背面側になるように挿入してください。



- miniB-CASの装着方法については、「miniB-CASカードの取り付け」(→P148) をご覧ください。

2 付属のフィルムアンテナまたは設置型アンテナを接続する



- 付属フィルムアンテナの装着方法については、「フィルムアンテナの取り付け」(→P141) をご覧ください。
- 付属設置型アンテナの装着方法については、「設置型アンテナの取り付け」(→P139) をご覧ください。

注意

アンテナは必ず同じ種類のアンテナをお使いください。例えば右側をフィルムアンテナ、左側を設置型アンテナというような使い方はしないでください。

メモ

miniB-CASを正しく装着していないと、本機で地デジテレビは見られません。ワンセグテレビのみの表示となります。

本機は、安全上の配慮から本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。走行中に助手席の方がテレビを視聴される際には、システム設定の(→P167)「ユーザーモードを設定する」をご覧になり、ユーザーモードを「助手席」に設定してください。

コードリールはアンテナ端子部分から少し離れたところに取り付けてください。

テレビ操作メニューについて

タッチパネルのどこかをタッチするテレビ操作メニューが表示されます。
テレビの操作は全てこのテレビ操作メニューをタッチして行います。テレビの各メニューや警告画面もこのテレビ操作メニューをタッチして設定してください。

テレビ操作メニュー1

ナビ
ナビゲーションに戻るには、ここをタッチします。

終了
テレビを終了し、マルチメディアメニューに戻るには、ここをタッチします。

▲/◀/▶/▼
項目や設定を選択するときには、ここをタッチします。

音量表示
設定した音量が表示されます。また、ここをタッチして消音の切り替えができます。

戻る
1つ前の画面や表示に戻るときには、ここをタッチします。

メニュー
テレビ設定メニューを表示するには、ここをタッチします。

次
「テレビ操作メニュー2」を表示するときには、ここをタッチします。

CH▼/CH▲
チャンネルを変更するときには、ここをタッチします。

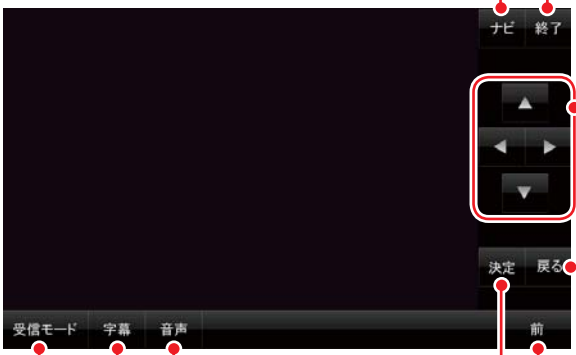
決定
選択した項目や設定を決定するときには、ここをタッチします。

音量▼/音量▲
音量を変更するときには、ここをタッチします。

番組情報
受信している番組の内容などの情報を見るときは、ここをタッチします。

番組表
受信している局の番組表を見るときは、ここをタッチします。

テレビ操作メニュー 2



ナビ
ナビゲーションに戻るには、ここをタッチします。

終了
テレビを終了し、マルチメディアメニューに戻るには、ここをタッチします。

▲/◀/▶/▼
項目や設定を選択するときには、ここをタッチします。

戻る
1つ前の画面や表示に戻るときには、ここをタッチします。

前
「テレビ操作メニュー1」に戻るときに、ここをタッチします。

決定
選択した項目や設定を決定するときには、ここをタッチします。

受信モード
地デジまたはワンセグにテレビの受信モードを変更するときに、ここをタッチします。

字幕
字幕を変更するときに、ここをタッチします。

音声
音声多重放送の場合、主音声、副音声または主＋副音声を変更するときに、ここをタッチします。ステレオ放送の場合、ステレオとモノラルを変更するときに、ここをタッチします。

テレビ設定メニュー

テレビ操作メニュー1の「メニュー」にタッチすると、テレビ設定メニュー画面が表示されます。

メニュー項目一覧			
設定種別	チャンネル設定	視聴設定	機器設定
設定項目	初期スキャン 再スキャン 移動先設定 受信モード設定 アンテナ受信レベル チャンネル一覧	字幕表示 文字スーパー表示 中継局サーチ	バージョン表示 B-CASカード 工場出荷設定

初めてテレビを視聴する

ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定して放送局を登録する必要があります。

メモ

テレビの操作や設定をする場合は、必ず画面のどこかをタッチして「テレビ操作メニュー」を表示させてからおこなってください。
また「テレビ操作メニュー」は表示させてから約6秒間で消えます。再度、表示させたい場合は、画面のどこかをタッチすれば表示します。

1 移動先の設定

[◀] / [▶] をタッチして「ホーム」または「おでかけ」を選択し、[決定] をタッチする

ホーム： お住まいの地域を指定する。
おでかけ： あらかじめお出かけ先の地域の設定を指定する。

▼

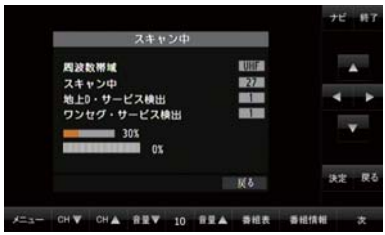
- 都道府県地域の一覧が表示されます。

2 テレビを見る地域の設定

[▲] / [▼] をタッチしてお住まいの「都道府県」を選択し、[決定] をタッチする

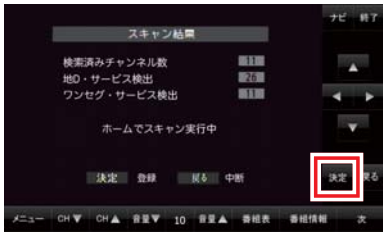
- 受信できる放送局のチャンネルスキャンが始まります。

▼



- スキャン中に **[戻る]** をタッチした場合は、スキャン結果が表示されます。
- スキャン終了後は、スキャン結果が表示されます。

3 [決定] をタッチし、スキャンした放送局を登録する



- スキャン中に一番初めに受信した局が表示されます。
- [戻る] をタッチした場合は、地域設定画面に戻ります。

メモ

設定したチャンネルを消去して新たにチャンネルを設定するには、「チャンネル設定」の「初期スキャン」で再度チャンネルを設定してください。

初期スキャンを行うと設定していたチャンネルは全て消去されます。設定したチャンネルを残したい場合は「再スキャン」(→P132) を行ってください。

メモ

設定した移動先は、「チャンネル設定」の「移動先設定」(→P133) が変更できます。

テレビを視聴する

1 地図画面の場合

画面左側に表示されている [マルチメディア] をタッチする

メニュー画面の場合

メニュー項目の [マルチメディア] をタッチする

▼

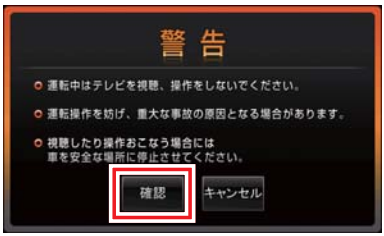
- マルチメディアメニューが表示されます。

2 [テレビ] をタッチする

▼

- テレビ視聴の確認画面が表示されます。

3 [確認] をタッチする



- テレビを視聴しないときは、**[キャンセル]** をタッチしてください。マルチメディアメニューに戻ります。
- ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定して放送局を登録する画面が表示されます。
- 前回受信した局がある場合は、その局を表示します。

テレビの終了方法

1 [終了] をタッチする

▼

- マルチメディアメニューが表示されます。

ナビゲーション画面への切り替え方法

1 [ナビ] をタッチする

▼

- ナビゲーション画面（地図画面またはメニュー画面）が表示されます。

メモ

地図画面を表示しながらTV音声のみ聞く事ができます。

音量を設定する

1 [音量▲] / [音量▼] をタッチして音量を変更する

2 消音にするには、音量の数値部分をタッチする

- が表示されます。
- をタッチすると消音は解除されます。

テレビ放送を見るには

テレビ視聴について

本機は、安全上の配慮からユーザーモード設定を**[運転席]**に設定してあります。(→P167)
※本機が走行中と判断すると警告が表示され、テレビは見られません。走行中は音声のみとなります。

チャンネルを選ぶ

1 [CH▲] / [CH▼] をタッチしてチャンネルを選ぶ

- タッチするごとに登録された放送局を順に受信します。

受信できなくなったときに自動で中継局を探す

視聴中のチャンネルが受信できなくなったとき、受信感度の強い中継局を自動で探して受信する「中継局サーチ」を行うことができます。

自動で中継局サーチ

本機能は、テレビ設定メニューの「視聴設定」で中継局サーチ(→P135)を「自動」に設定しているときに行われます。

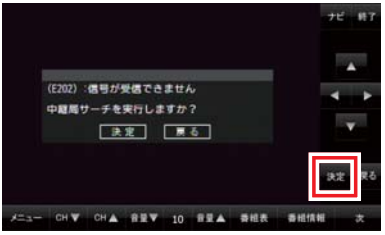
しばらくすると自動で中継局をサーチ

- 中継局サーチは、受信できる中継局が見つかるまで繰り返し実行されます。

手動で中継局サーチ

テレビ設定メニューの「視聴設定」で中継局サーチを「手動」に設定しているときは、中継局サーチを行う前に、中継局サーチの確認画面が表示されます。

1 中継局サーチ確認画面が表示中に、[決定] をタッチする



- 中継局サーチは、受信できる中継局が見つかるまで繰り返し実行されます。
- **[戻る]** をタッチすると、中継局サーチは実行されません。

メモ

メニューの「視聴設定」で中継局サーチを「オフ」に設定しているときは、中継局サーチは行われません。

番組の情報を表示する

視聴中の番組の情報を表示することができます。

1 [番組情報] をタッチする

▼

- 視聴中番組の情報が画面下に表示されます。

2 [◀] / [▶] をタッチする

- **[◀] / [▶]** で情報が切り換わります。
  情報は下記の内容が表示されます。
  放送局名、放送内容、アンテナ受信レベル、音声、字幕、受信モード
  （表示される内容は、放送局や番組の内容で変わることがあります。）
- 一定時間、操作を行わないと表示が消えます。

番組表を表示する

放送局から送られてくる番組表を見ることができます。

1 [番組表] をタッチする

▼

- 視聴中の放送の番組表が表示されます。

- **[▲] / [▼]** で番組一覧が上下にスクロールします。
- **[◀] / [▶]** でチャンネルが切り換わります。
- 初めて視聴するチャンネルでは表示されない場合があります。
  しばらく視聴を続けると、番組表が放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。
- 視聴していないチャンネルの番組表は表示されません。
  また、番組表を取得したい場合は、チャンネルを切り替えて視聴する必要があります。

2 [番組情報] をタッチする

- **[番組情報]** で選択している番組の番組情報が表示されます。
- 次ページがある場合、**[▲] / [▼]** で表示内容が切り換わります。
- **[戻る]** で番組表に戻ります。

テレビ操作メニューを切り替える

1 テレビ操作メニュー1の［次］をタッチする

▼

- テレビ操作メニュー2が表示されます。

2 テレビ操作メニュー2の［前］をタッチする

▼

- テレビ操作メニュー1が表示されます。

受信モードを切り替える

受信する放送を地上デジタル放送またはワンセグ放送に切り替えることができます。

1 ［受信モード］をタッチする

▼

- 押すごとに受信モードが切り換わります。

メモ

［メニュー］にタッチして「チャンネル設定」を選択して、「受信モード設定」でも受信モードを設定できます。

自動切り換え：電波の受信状態に応じて、地上デジタル放送とワンセグ放送を切り換えます。

地上D固定：地上デジタル放送のみを受信します。

ワンセグ固定：ワンセグ放送のみを受信します。

字幕の表示／非表示を切り替える

字幕放送をしている場合、字幕の表示／非表示を切り替えることができます。

1 [字幕] をタッチする

▼

- 押すごとに字幕の言語、表示／非表示を切り替えます。

→オフ→日本語→英語

- 画面左上に字幕の言語、表示／非表示が表示されます。

メモ

[メニュー] にタッチして「視聴設定」を選択して、「字幕表示」でも字幕の切り替え設定ができます。

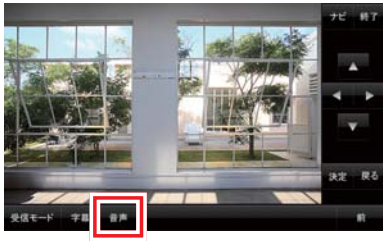
オフ： 字幕を表示しません。
日本語： 日本語の字幕を表示します。
英語： 英語の字幕を表示します。

視聴中の番組に設定した言語の字幕が無かった場合、字幕は表示されません。

音声を切り替える

視聴中の番組に複数の音声がある場合、音声を切り替えることができます。

1 [音声] をタッチする



▼

- 押すごとに音声が切り換わります。
- 画面左上に音声種別が表示されます。
  視聴している番組が音声多重放送の場合

→主音声→副音声→主＋副

音声多重放送以外の場合は「ステレオ、モノラル」と表示されます。

テレビの応用操作

本機の設定を行う

テレビ操作メニューの**[メニュー]**をタッチするとテレビ設定メニューの画面が表示されます。画面を見ながら本機のテレビ設定などの情報を操作することができます。

1 タッチスクリーンのどこかをタッチする
- テレビ操作メニューが表示されます。

2 [メニュー]をタッチする

▼
- テレビ設定メニューが表示されます。

3 [◀] / [▶]をタッチして設定種別(チャンネル設定・視聴設定・機器設定)を選択する

- 設定種別に応じた設定項目が表示されます。

4 [▲] / [▼]をタッチして設定項目を選択し、[決定]をタッチする
- テレビ設定メニュー右側に設定内容が表示されたり、選択した項目を設定するための画面が表示されます。

5 [戻る]で設定種別の変更やメニュー画面の表示を消す
- テレビ設定メニューは、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

再スキャンを行う

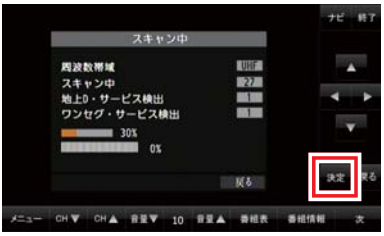
新たに受信できた放送局を追加します。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「チャンネル設定」を選択する
- チャンネル設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「再スキャン」を選択し、[決定]をタッチする

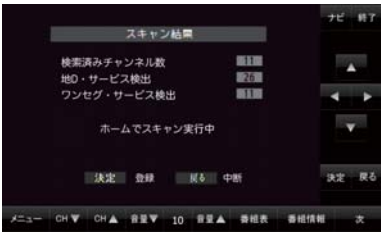
- 再スキャンが開始されます。

3 [決定]をタッチする



- 受信できる放送局のチャンネルスキャンが始まります。

▼
- スキャン結果が表示されます。



4 [決定] をタッチし、スキャンした放送局を登録する

▼

- テレビ設定メニューが表示されます。
- 再スキャンを行うと、既に登録してあったチャンネルは消去されず、新たにスキャンされたチャンネルが追加されます。

移動先を設定する

本機は、チャンネル設定をホーム（ご自宅周辺）、おでかけ（ご旅行先など）の2つに設定することができます。

1 [メニュー] をタッチし、[◀] / [▶] で「チャンネル設定」を選択する

- チャンネル設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼] をタッチして「移動先設定」を選択し、[決定] をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。

3 [▲] / [▼] をタッチして設定項目を選択し、[決定] をタッチする

ホーム： ご自宅周辺
おでかけ： ご旅行先など

- 設定した移動先で最後に視聴していたチャンネルに選局されます。

メモ

選択した移動先で一度もチャンネルスキャンを行っていない場合、都道府県の一覧が表示されますので、都道府県を選択し、チャンネルスキャンを行ってください。

アンテナ受信レベルを表示する

チャンネルの受信レベルを表示します。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「チャンネル設定」を選択する

- チャンネル設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「アンテナ受信レベル」を選択し、[決定]をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に物理チャンネル※選択画面が表示されます。

3 [▲] / [▼]をタッチして物理チャンネル※を選択し、[決定]をタッチする

- 選択した物理チャンネル※の受信レベルが表示されます。

※物理チャンネルとは、実際に送信されているUHFのチャンネル番号(チャンネル13～62)のことです。

チャンネル一覧を表示する

「ホーム」や「おでかけ」先に登録されているチャンネルを一覧表示します。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「チャンネル設定」を選択する

- チャンネル設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「チャンネル一覧」を選択し、[決定]をタッチする

- チャンネル一覧画面が表示されます。
- **[▲]** / **[▼]**をタッチしてチャンネルを選択し、**[決定]**をタッチすると選択したチャンネルに選局します。(チャンネル一覧は表示されたままとなります。)

3 設定メニュー画面に戻るには、[戻る]をタッチする

- チャンネル一覧画面は、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

文字スーパーの表示／非表示、言語設定をする

文字スーパーの表示／非表示の設定を行うことができます。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「視聴設定」を選択する

- 視聴設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「文字スーパー表示」を選択し、[決定]をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。

3 [▲] / [▼]をタッチして設定項目を選択し、[決定]をタッチする

オフ：　文字スーパーを表示しません。
日本語：日本語の文字スーパーを表示します。
英語：　英語の文字スーパーを表示します。

- 視聴中のチャンネルに設定した言語の文字スーパーが無かった場合、文字スーパーは表示されません。

中継局サーチの設定をする

受信状況に応じて、最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定することができます。中継局サーチの操作方法は「受信できなくなったときに自動で中継局を探す」(→P128)をご覧ください。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「視聴設定」を選択する

- 視聴設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「中継局サーチ」を選択し、[決定]をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。

3 [▲] / [▼]をタッチして設定項目を選択し、[決定]をタッチする

自動：自動で中継局サーチを実行します。
手動：手動で中継局サーチを実行します。
オフ：中継局サーチを実行しません。

テレビのバージョンを表示する

テレビのバージョンを表示します。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「機器設定」を選択する

- 機器設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「バージョン表示」を選択し、[決定]をタッチする

- テレビ設定メニュー右側にバージョン情報が表示されます。

miniB-CASカードの情報を表示する

本機に挿入されているminiB-CASカードの情報を表示します。

1 [メニュー]をタッチし、[◀] / [▶]で「機器設定」を選択する

- 機器設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼]をタッチして「B-CASカード」を選択し、[決定]をタッチする

- テレビ設定メニュー右側にminiB-CASカードの情報が表示されます。

テレビの設定内容を初期化する

テレビの設定を工場出荷状態に戻します。

1 [メニュー] をタッチし、[◀] / [▶] で「機器設定」を選択する

- 機器設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

2 [▲] / [▼] をタッチして「工場出荷設定」を選択し、[決定] をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に初期化確認画面が表示されます。

3 [▲] / [▼] をタッチして「する」を選択し、[決定] をタッチする

- テレビ設定メニュー右側に初期化最終確認画面が表示されます。

4 [▲] / [▼] をタッチして「する」を選択し、[決定] をタッチする

- テレビの設定内容が初期化されます。
- 設定初期化後は放送局を登録する画面になります。
- 放送局の登録のしかたは、「初めてテレビを視聴する」（→P125）を参照してください。

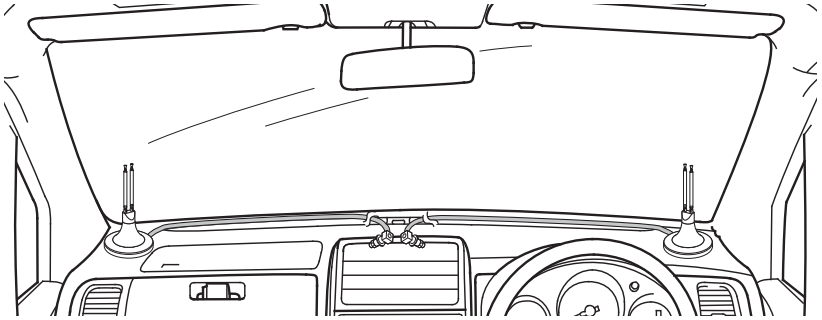
アンテナ取り付け時点の注意事項

- 前方の視界を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けないでください。事故やけがの原因となります。
- アンテナははがれないようにしっかりと貼り付けてください。走行中にはがれると事故やけがの原因となります。
- コードの引き回しの際はシートレールやドアに挟み込まないように注意してください。断線の原因となります。
- 付属品以外のアンテナは使用しないでください。故障の原因となります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなどの電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げの販売店に確認してください。
- 車種によっては取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
  ※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29 条第4 項第6 号に対する、平成15 年9 月26日付けの運輸省（現、国土交通省）令第95 号をいいます。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
- フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- 車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店にご相談してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプ裏面のはくり紙をはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車種には貼り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをON にしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- フロントウィンドウに他のTV アンテナ・ETC 受信部などから100mm 以上離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談してください
- 一度貼り付けてからはがすと粘着力が弱くなるので、貼り直しできませんので、必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

設置型アンテナの取り付け

設置型アンテナの取り付けの準備

1 ダッシュボード上に付属のアンテナまたはアンテナ基台に乗せた、設置型アンテナを仮置きする



- エアーバック等の安全装置の動作の妨げになるような場所は選ばないでください。
- アンテナがガラスに当たるような場所は選ばないでください。
- この仮置きの時に、アンテナの高さや向きを調整することをお勧めします。
- アンテナ基台は両面テープで固定しますので、設置する場所は慎重に選んでください。

2 アンテナまたはアンテナ基台を貼り付ける場所のほこりやごみを取り除く

警告

車を走行中は危険ですので、アンテナの向きや長さの調節は行わないでください。

メモ

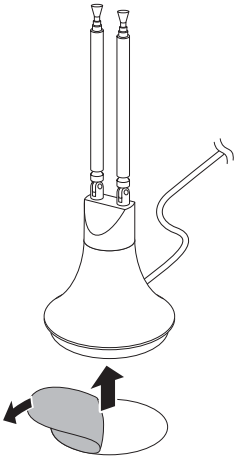
テープが確実に貼り付くまでには少し時間がかかります。アンテナおよびアンテナ基台を貼り付けた直後は触れないようにしてください。

受信感度がよくない場合は、車を安全な場所に停車してから、アンテナの向きや長さを変更してみてください。

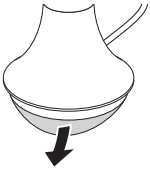
設置型アンテナの取り付け

付属の粘着シートを使って、設置型アンテナを取り付けることができます。

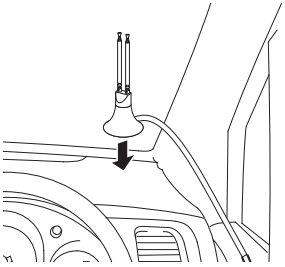
1 アンテナ底面に付属の粘着シートを貼り付ける



2 アンテナ底面に貼った粘着シートの保護紙を剥がす



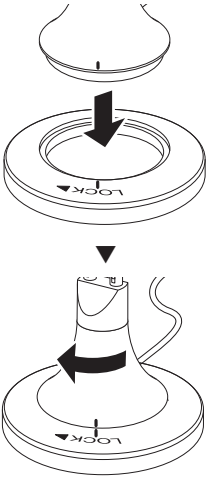
3 アンテナをダッシュボードに貼り付ける



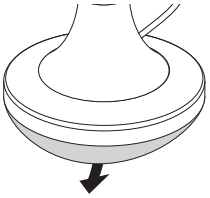
アンテナ基台と設置型アンテナの取り付け

付属のアンテナ基台を使って、設置型アンテナを取り付けることができます。

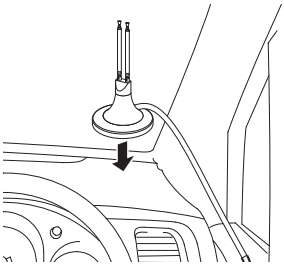
1 設置型アンテナの「▮」のマークをアンテナ基台の「▮」のマークに合わせて乗せ、時計方向に回す



2 アンテナ基台底面のテープを剥がす



3 アンテナ基台を取り付けたアンテナをダッシュボードに貼り付ける



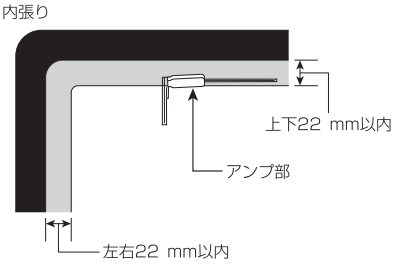
フィルムアンテナの取り付け

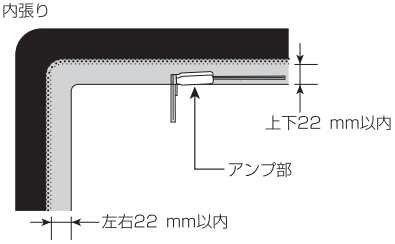
走行中に安定してテレビを受信するには、フィルムアンテナをご使用になることをお勧めいたします。

■取り付け許容範囲について

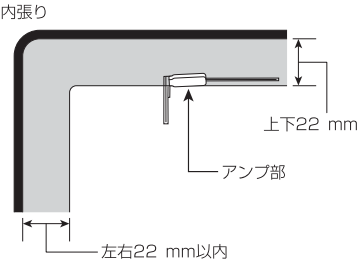
アンテナアンプ部は必ず取り付け許容範囲内（　部）に取り付けてください。

●セラミックライン有り

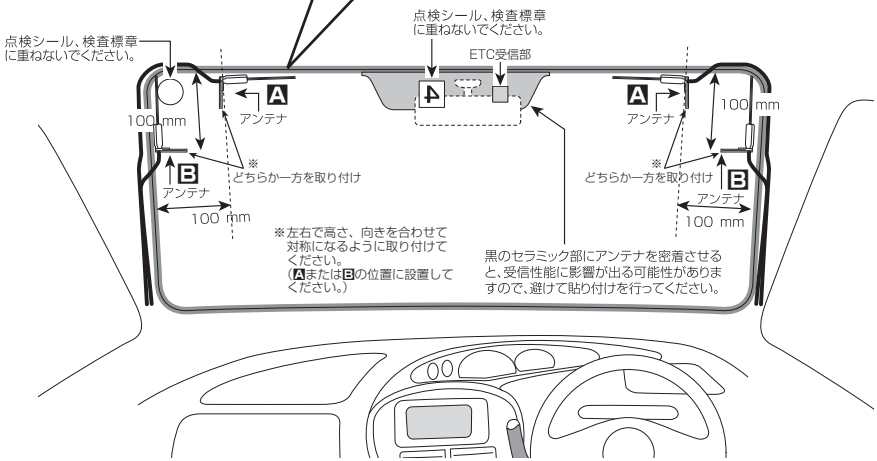




●セラミックライン無し



セラミックライン……
フロントウィンドウ端の黒い部分、
および黒いドット（点々のこと）部分

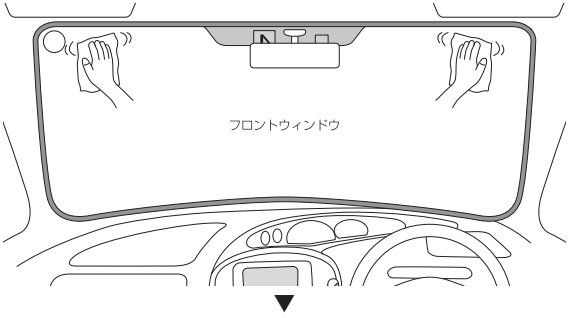


メモ

上記記載寸法は基準寸法となります。
- 基準寸法に対応できない場合は出来るだけフロントガラスの端に貼り付けてください。
- ウィンドウの上すみから下へ100mmはなれた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。
- 他のTVアンテナ・ETC受信部などから100mm以上離して貼り付けてください。

フロントガラスの内側の汚れを取り除く

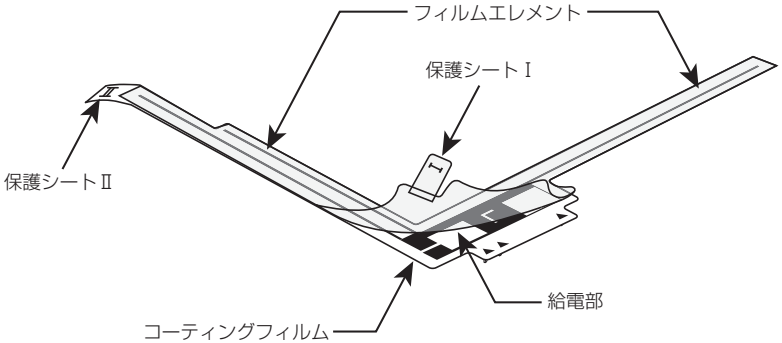
1 貼り付け場所のホコリ、油、ワックスなどをきれいにふき取り乾燥させる



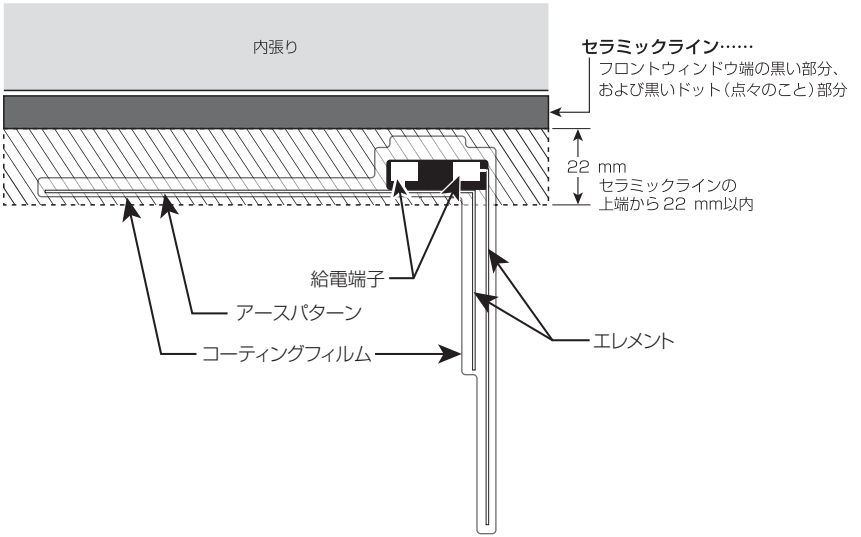
● チャンネル設定項目がテレビ設定メニュー左側に表示されます。

フィルムアンテナの構成

- フィルムアンテナは3層に分かれています。
- エレメントは透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。
- エレメントの金色部が給電端子です。



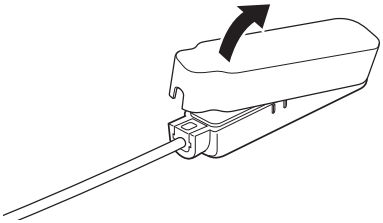
貼り付け許容範囲について



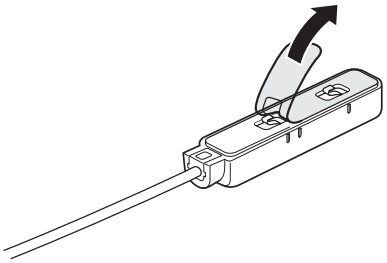
- 給電端子は必ず取り付け許容範囲内（ ▨ 部）に取り付けてください。
- フィルムアンテナ外周の一番上側をウィンドウガラスのセラミックラインの一番下に合わせます。このように貼ると、給電端子がセラミックラインの上に張り付くことはありません。
- 貼り付け許容範囲外に取り付けると車検時に不適合となる可能性があります。

フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付ける

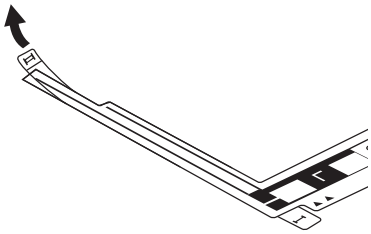
1 アンテナ給電部の保護カバーを外す



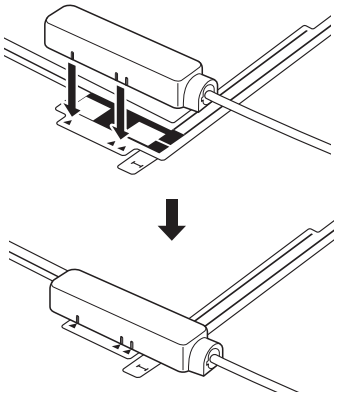
2 アンテナ給電部の裏面にある、保護シートをはがす



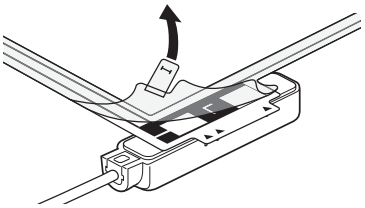
3 フィルムアンテナの保護シートⅡをはがす



4 アンテナ給電部にある2箇所の突起部とフィルムアンテナのマークが重なるようにアンテナ給電部を置き、アンテナ給電部を押して、フィルムアンテナと接着させる



5 フィルムアンテナの保護シートⅠをはがす

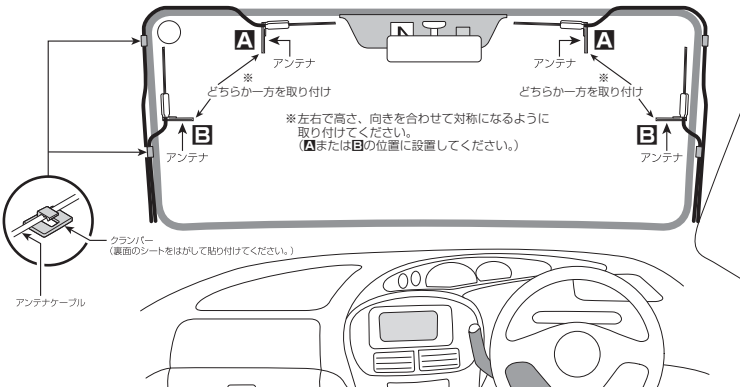


6 フィルムアンテナの保護シートをはがし終えたら、給電端子部とアースパターン部とエレメント部がフロントウィンドウにしっかりと張り付くように、透明フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてガラス面に貼り付ける

- 加圧が不足すると、エレメントがはがれたり、断線する恐れがあります。）

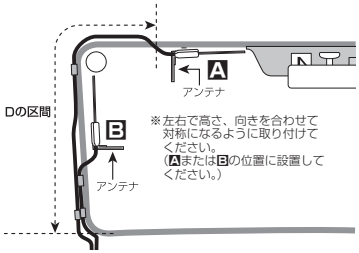
アンテナケーブルの配線

アンテナケーブルの配線は下図を参考にしてください。必要であれば、アンテナケーブルはクランパーで固定しながら配線してください。

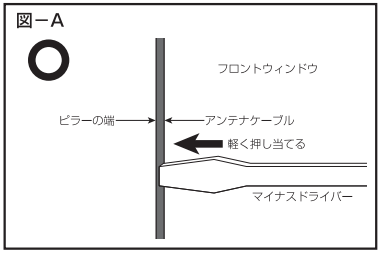


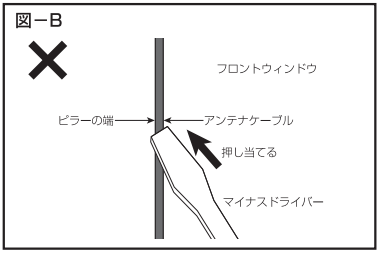
※安全な視野が確保できるようにアンテナケーブルを配線してください。

ケーブル配線のご注意



- アンテナケーブルをピラー（Dの区間）の端から奥に押し込む場合は、下記の寸法以上の工具をご使用ください。
  推奨工具：マイナスドライバー（先端部分は、幅：6mm以上、厚み：1mm以上）または、相当品の工具をとしてください。
  ※絶対に先端部分が鋭利な工具で、アンテナケーブルを強い力で無理やりに押し込むような作業は避けてください。このような作業を行った場合、アンテナコードが破損（断線）する可能性があります。

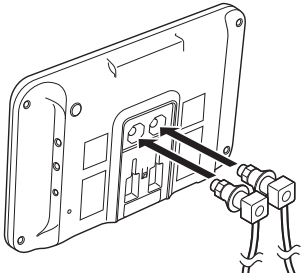




- 推奨工具を使用しアンプの根元（アンプ下側のガイド）から、アンテナケーブルに対して平行になるように推奨工具を軽く押し当てて（図－A）、ゆっくりと徐々に力を加えてピラーの端から奥へ、真っすぐにアンテナケーブルを押し込むように作業してください。
- アンテナケーブルをピラーの端から奥に押し込む場合は、工具（推奨する規格のマイナスドライバー）の先端部分が、直交（十字、図－B）になるような押し当ての、押し込みはしないでください。
  ※このような作業を行った場合、アンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。

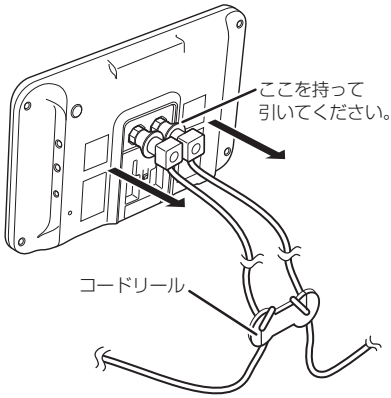
アンテナ端子の取り付け・取り外し

1 アンテナ端子の向きを確かめて、アンテナ接続端子に差し込みロックする



- アンテナ接続端子は六角形をしております。この形に合うように、設置型アンテナの向きを合わせてください。

2 アンテナ端子を外す場合は、下図のようにアンテナ端子をの根元部分を持ち、ロックを解除してアンテナケーブルを外す



- コードリールはアンテナ端子部分から少し離れたところに取り付けてください。

miniB-CASカードの取り付け

miniB-CASカード取扱上のご注意

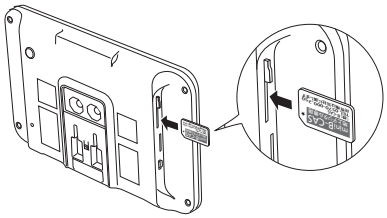
- ご使用中または保管中のminiB-CASカードは、紛失や盗難等に充分注意してください。もしも、他の人がお客様のminiB-CASカードを使用して有料番組を視聴すると、視聴料がお客様に請求されることがあります。
- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたり、熱を加えたり、水に浸けたりしないでください。
- miniB-CASカードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- miniB-CASカードの金属部分（集積回路）には手を触れ、水等で濡らさないでください。
- miniB-CASカードは、分解、加工しないでください。
- miniB-CASカード挿入口には、本機に付属しているminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、miniB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、miniB-CASカードを抜く差し必要がある場合は、車のエンジンを切り、ACCもオフにした状態で、ゆっくりと抜いてください。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、miniB-CASカードの抜き差しをしないでください。

miniB-CASカードの取り付けについて

付属のminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
破損等によりminiB-CASカードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先はB-CASカードにも記載されております。）
miniB-CASカードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

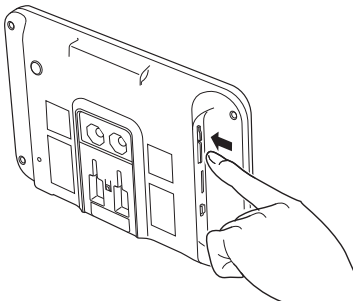
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

1 miniB-CASカードは切れ込みが下側になるように、また「miniB-CAS」と印刷している面が後面側になるように挿入してください。



2 miniB-CASカードが固定されるまでカードを押す

- 無理にminiB-CASカードを押し込むと、本機またはminiB-CASカードを破損する恐れがあります。



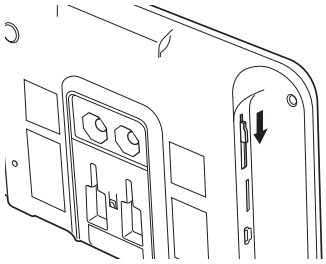
注意

変形したり、傷ついたminiB-CASカードを本機に入れないでください。

miniB-CASカードにシールやテープなどを貼りつけないでください。

miniB-CASカードを押し込んだあと、指をすぐに離さないでください。
強く押し込んだ状態で指を離すと、miniB-CASカードが勢いよく飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 miniB-CASスロットのロックを下げる



4 miniB-CASカードを抜くには、miniB-CASスロットのロックを上げ、mminiB-CASカードを奥までゆっくりと押し込み、出てきたminiB-CASカードを抜く

注意

miniB-CASカードが正しく挿入されていないと地デジテレビを見ることができません。したがって、一度挿入したminiB-CASカードは必要があるときのみ、取り出してください。

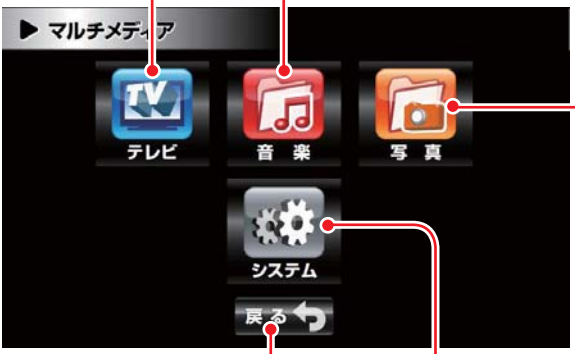
万一、miniB-CASカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

10. データ再生と設定

データの再生と本機の設定

テレビ（P125～P137）
地デジを見るときには、
ここをタッチします。

音楽再生（P154～P157）
音楽を再生するには、
ここをタッチします。



写真再生（P158～P161）
写真を見るときには、ここをタッチします。

戻る
一つ前の画面に戻るときに、
ここをタッチします。

システム（P162～P169）
システム設定の変更や情報を変更するには、ここをタッチします。また、画面の明るさや音量を変更するにも、ここをタッチします。

マルチメディアメニューを表示する

1 地図を表示中には、左側に表示されている［マルチメディア］をタッチする

▼

メインメニューを表示中には、メニュー項目の［マルチメディア］をタッチする

▼

- マルチメディアメニューが表示されます。

メモ

マルチメディアメニューからナビゲーションに戻る際には、次のように戻ります。
地図表示中にマルチメディアメニューを表示した場合は、地図表示に戻ります。
メインメニューを表示中にマルチメディアメニューを表示した場合は、メインメニューに戻ります。

microSDカードの取り扱い

注意

microSDカードを挿入してから電源を入れてください。また、microSDカードは音楽データまたは写真データをダウンロードするときを除いて、本機から取り外さないでください。microSDカードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。

ごくまれに、正常にお使いになっていてもmicroSDカード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、microSDカード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。

メモ

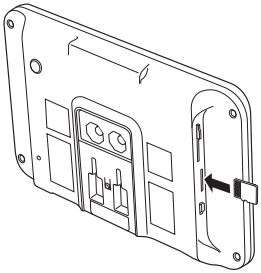
新しいmicroSDカードをお買い求めになるときは、下記推奨メーカーのものをお買いになる事をお勧めいたします。
推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk、HAGIWARA、TRANSCEND

microSDカードの取り付け

1 本機の電源が切れていることを確かめる

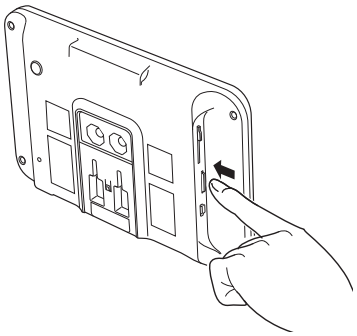
2 microSDカードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する

- microSDカードの「電極部分」の面が見えるように挿入してください。



3 microSDカードが固定されるまでmicroSDカードを押す

- 無理にmicroSDカードを押し込むと、本機またはmicroSDカードを破損する恐れがあります。



注意

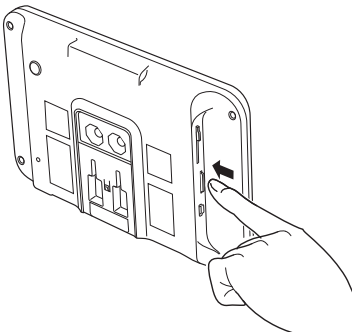
変形したり、傷ついたmicroSDカードを本機に入れないでください。

microSDカードにシールやテープなどを貼りつけないでください。

microSDカードの取り外し

1 本機の電源が切れていることを確かめる

2 microSDカードを奥までゆっくりと押し込む

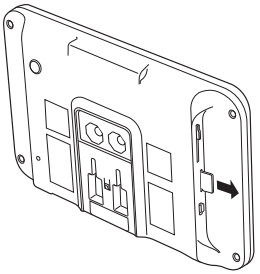


- microSDカードに指を添えながら手前に戻してください。

注意

microSDカードを押し込んだあと、指をすぐに離さないでください。
強く押し込んだ状態で指を離すと、microSDカードが勢いよく飛び出す恐れがあり、破損や紛失の原因となることがあります。

3 microSDカードをゆっくり引き抜く



- microSDカードが出てきますので、microSDカードをまっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

注意

万一、microSDカードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

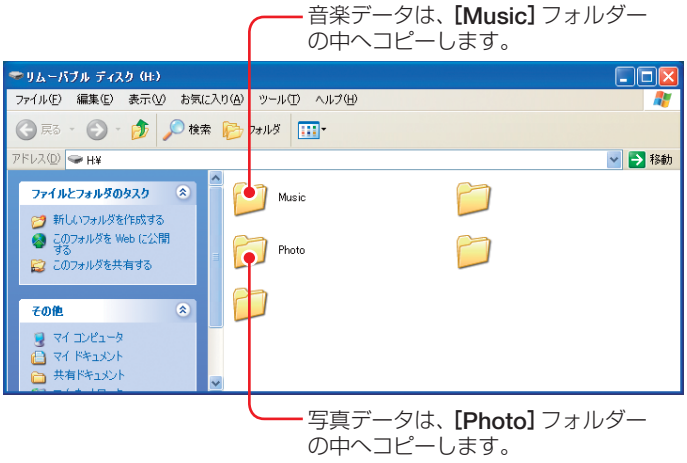
再生するデータのダウンロードについて

用意した音楽または写真データをmicroSDカードへコピーして、本機にて再生させることができます。
microSDカードへのコピーはパソコンにて以下の方法で行ってください。

1 各データを入れるために次のフォルダーを作る

- Music：音楽データ用、Photo：写真データ用
- 各データは上記名称のフォルダに入れなくても再生はできます。しかし、データを上記名称のフォルダにいれておくと、簡単にデータを探し出せます。

2 作成したデータを本機のmicroSDカードの各フォルダーの中へコピーする



再生できる音楽データ	
コーデック	MP3、WMA
表示できる写真データ	
コーデック	JPEG
最大ピクセル数	1024×768

注意

著作権保護されたWMAファイルには対応していません。

MP3のID3タグバージョン2には対応していません。

データにより正常に再生できない場合があります。

メモ

MP3、WMAはサンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsを推奨します。

音楽を聴く

プログレスバー
曲の進行状況を表示します。

音楽情報表示
現在再生中の曲を音楽ファイル名で表示します。

音量表示
設定した音量が表示されます。また、ここをタッチして消音の切り替えができます。

■ボタン
このボタンをタッチすると、再生を停止します。

▶またはⅡボタン

▶ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

Ⅱボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると音楽の再生を一時停止します。

リスト編集ボタン
このボタンをタッチすると、リストの編集を行うことができます。

▶Ⅰボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の曲に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1つ先の曲に移っていきます。

Ⅰ◀ボタン
このボタンをタッチすると、前曲に戻り再生します。

音量▼/音量▲
ここをタッチすると、音量が調整できます。

消音ボタン
このボタンをタッチすると、消音になります。再びこのボタンをタッチすると音がでます。

ナビボタン
ナビゲーションに戻ります。

Xボタン
音楽を終了し、マルチメディアメニューに戻ります。

音楽ファイルリスト表示
音楽ファイルをリスト表示します。

再生時間表示/再生総時間表示
現在再生している音楽の再生時間と再生中の曲の演奏時間を表示します。

再生モード切換ボタン（P157）
このボタンをタッチすると、音楽ファイルリスト内の音楽ファイルを次のように再生します。

	順次再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を1回のみ順次再生します。
	オールリピート： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を繰り返し再生します。
	1曲リピート： 再生中の曲を繰り返し再生します。
	ランダム再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

再生する音楽を選ぶ

音楽を再生するため、microSDカード内の音楽ファイルから再生リストを作成します。

1 マルチメディアメニューを表示させて［音楽］をタッチする

▼

- 音楽再生画面が表示されます。

2 「リスト編集」をタッチする

▼

- microSDカード内にフォルダがある場合はフォルダが表示されますので、音楽を入れたフォルダを順次選択して行きます。

3 再生したい音楽ファイルをタッチし、更に［追加］をタッチする

▼

- タッチした音楽ファイルが再生リストに追加されます。
- 音楽ファイルが多い場合は、右側のリストバーの【▲】または【▼】をタッチしてページを変えてください。
- 再生リストの下にある【▲】または【▼】をタッチすると再生の順序を変更できます。
- 再生リストから音楽ファイルを削除する場合は、削除したい音楽ファイルにタッチした後に【削除】をタッチします。再生リストから全ての音楽ファイル削除するには、【全体削除】をタッチします。

4 再生リストを完成させるには、［決定］をタッチする

▼

- 音楽再生画面に戻り、自動で再生が始まります。

注意

音楽ファイルが入っているmicroSDカードが抜かれると、再生中の音楽は停止します。また、作成した音楽リストは削除されませんが、音楽を再生することはできません。

曲の再生・停止

1 曲を再生するには、再生リストの音楽ファイルをタッチする

▼

- 他の曲が再生中でもその曲の再生が始まります。

2 再生を一時停止するには、[▶]をタッチする

- アイコンが[▶]から[❚❚]に変わります。[❚❚]をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

3 曲を停止するには、[■]をタッチする

- 再生を停止し、曲の始めに戻ります。

4 他の曲を聴きたい場合は、再生リストの聴きたい曲をタッチする

メモ

再生可能なファイルに関しては、「再生できる音楽データ」(→P153)を参照してください。
※但し、ファイルにより再生できない場合があります。

選んだ曲の再生が終わると、音楽ファイルリストの次の曲が再生されます。

ランダム再生を選ぶと、順不同で音楽ファイル再生します。ただし、再生される曲は同じ音楽ファイルリスト内の曲です。繰り返し同じファイルを再生する場合は、再生切換ボタンをタッチし、[ ]を選択にしてください。

音楽再生時に音量を調整する

1 音量を上げるには[音量▲]をタッチする

2 音量を下げるには[音量▼]をタッチする

メモ

ここでの音量設定は、設定メニューの音量設定にも反映されます。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーのポイントより右側をタッチする

2 1つ先の曲に移るには、[▶❙]をタッチする

- 続けて押すと、押すたびに、1つ先の曲に移っていきます。

3 1つ前の曲に移るには、[❙◀]をタッチする

色々な再生方法

再生方法の変更

音楽ファイルリスト内の曲を順次再生、ランダム再生を切り替えられます。
また、再生中の曲を繰り返す１曲リピート、再生中の音楽ファイルリストを繰り返し再生するオールリピートを切り替えられます。

1 再生切り替えボタンをタッチして、再生方法を変更する

	順次再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を１回のみ順次再生します。
	オールリピート： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を繰り返し再生します。
	１曲リピート： 再生中の曲を繰り返し再生します。
	ランダム再生： 同じ音楽ファイルリスト内の曲を任意に繰り返し再生します。

注意

音楽再生中にmicroSDカードの抜き差しを絶対にしないでください。正しく動作しなくなります。

メモ

再生は、音楽ファイルリストに表示されている音楽ファイルになります。

写真を再生する

microSDカード表示

SD（黄色）	microSDカード有
SD（灰色）	microSDカード無

×ボタン
写真を終了し、マルチメディアメニューに戻ります。

◀ボタン
このボタンをタッチすると、1つ前の写真に戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ前の写真に戻っていきます。

▶ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の写真に移ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ先の写真に移っていきます。

リスト編集ボタン
このボタンをタッチすると、写真ファイルリスト画面に表示を切り替えます。

スライドショーボタン
このボタンを押すと、スライドショーを始めます。

インデックスボタン
このボタンをタッチすると、写真をインデックス（小さな写真）に表示を切り替えます。

回転ボタン
このボタンをタッチすると、写真が右回りに回転します。

再生する写真を選ぶ

写真を再生するため、microSDカード内の写真ファイルから再生リストを作成します。

1 マルチメディアメニューを表示させて［写真］をタッチする

▼

- 写真再生画面が表示されます。

2 「リスト編集」をタッチする

▼

- microSDカード内にフォルダがある場合はフォルダが表示されますので、写真を入れたフォルダを順次選択して行きます。

3 再生したい写真ファイルをタッチし、更に［追加］をタッチする

▼

- タッチした写真ファイルが再生リストに追加されます。
- 写真ファイルが多い場合は、右側のリストバーの【▲】または【▼】をタッチしてページを変えてください。
- 再生リストの下にあるに【▲】または【▼】をタッチすると再生の順序を変更できます。
- 再生リストから写真ファイルを削除する場合は、削除したい写真ファイルにタッチした後に【削除】をタッチします。再生リストから全ての写真ファイル削除するには、【全体削除】をタッチします。

4 再生リストを完成させるには、［決定］をタッチする

▼

- 写真再生画面に戻ります。

注意

写真ファイルが入っているmicroSDカードが抜かれると、写真は再生できなくなります。また、作成した写真リストは削除されませんが、写真を再生することはできません。

写真の再生

1 写真を再生するには、写真ファイルリストの写真ファイルをタッチする

▼

- タッチした写真ファイルが表示されます。
- 他の写真が再生中でもその写真を再生します。
- 写真が再生されてる部分をタッチすると写真表示のみになります。
- 写真表示のみの時に画面のどこかをタッチすると元の表示に戻ります。

2 1つ先の写真に移るには、[▶]をタッチする

- 続けてタッチすると、タッチするたびに、1つ先の写真に移っていきます。

3 1つ前の写真に移るには、[◀]をタッチする

- 続けてタッチすると、タッチするたびに、1つ前の写真に戻っていきます。

4 スライドショーを始めるには、[スライドショー]をタッチする

▼

- スライドショーが始まります。
- スライドショーを終わらせるには、画面のどこかをタッチしてください。

メモ

再生可能なファイルに関しては、「表示できる写真データ」(→P153)を参照してください。
※但し、ファイルにより再生できない場合があります。

再生は、写真ファイルリストに表示されている写真ファイルになります。
写真ファイルリスト内に表示されているフォルダ内の写真ファイルは再生されません。

注意

大きなファイルを選ぶと表示に時間がかかったり、動作が遅くなったりします。
ファイルサイズに関しては「表示できる写真データ」(→P153)を参照してください。

スライドショーの表示

1 スライドショーを始めるには、写真再生画面にて［スライドショー］をタッチする

▼

- スライドショーの設定画面が表示されます。

2 ［◀］または［▶］をタッチして「早い・遅い・普通」を選択する。

3 ［スタート］をタッチする

▼

- スライドショーが始まります。
- **［キャンセル］**をタッチすると、写真再生画面に戻ります。

メモ

スライドショーは下記のようなスピードで写真が順次切り替わります。

- 早い…約5秒
- 普通…約15秒
- 遅い…約30秒

注意

写真のサイズによりスライドショーのスピードが異なる場合があります。

設定を変更する

microSDカード表示

SD（黄色）	microSDカード有
SD（灰色）	microSDカード無

画面/音量設定
画面の明るさを設定または音量設定するときに、ここをタッチします。

Xボタン
マルチメディアメニューに戻ります。

システム設定
システムを設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

システム情報
ここをタッチすると、システム情報の表示をします。

画面の明るさを変更する

画面の明るさの設定を行うことができます。

1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

- 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの [画面/音量設定] をタッチする

▼

- 画面明るさ/音量設定メニューが表示されます。

3 画面の明るさを設定するには、[明るさ調整] の [◀] または [▶] をタッチする

またはバーの上をタッチする

4 設定メニューに戻るには、右上の [×] をタッチする

音量を変更する

ナビゲーションおよびシステムの音量、またタッチパネルの操作音を変更することができます。

1 マルチメディアメニューを表示させて [システム] をタッチする

- 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの [画面/音量設定] をタッチする

▼

- 画面明るさ/音量設定メニューが表示されます。

3 音量を設定するには、[音量調整] の [◀] または [▶] をタッチする

またバーの上をタッチする

4 設定メニューに戻るには、右上の [×] をタッチする

メモ

操作音の音量を調整するために、**[音量]** を変更すると、他の音量も変更されます。

ナビゲーションの環境設定内の操作音の設定を **[OFF]** にするとナビゲーションモード時のみ操作音が聞こえなくなります。「操作音を設定する」(→P111)

タッチパネル補正

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をするために使います。

1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

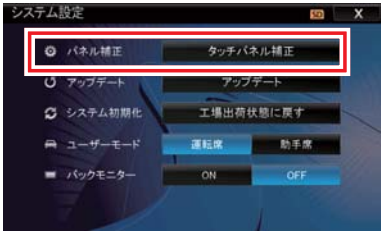
- 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［システム設定］をタッチする

▼

- システム設定メニューが表示されます。

3 ［タッチパネル補正］をタッチする



▼

- タッチパネル補正の画面が表示されます。

4 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

- ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に4隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

5 画面が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録される

- 何もしないで30秒たつと元の設定になります。

▼

- 設定画面に戻ります。
- 調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

6 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

ペン先が金属製のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先などでタッチスクリーンに触れないでください。

メモ

調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサポートセンターにお問い合わせください。

ターゲットの中心部分（＋）をタッチするときには、指先または市販のスタイラスペンで行ってください。

本機のシステムをアップデートする

本機のソフトウェアは、アップデートすることができます。
※アップデートに関する情報は、弊社のホームページ上に公開されます。

1 必要なファイルが入ったmicroSDカードを本機に挿入する

2 マルチメディアメニューを表示させて[システム]をタッチする

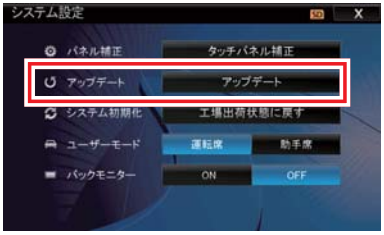
● 設定メニューが表示されます。

3 設定メニューの[システム設定]をタッチする

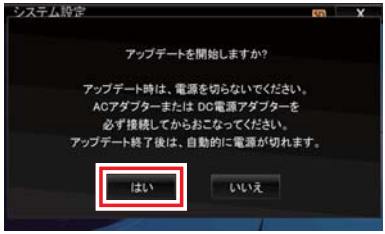
▼

● システム設定メニューが表示されます。

4 [アップデート]をタッチする



5 [はい]をタッチする



● アップデートの画面が表示されます。

注意

アップデート中にエンジンを止めたり、シガー電源アダプターを抜いたり、電源を切らないでください。

本機のシステムを初期化する

画面設定や音量設定などシステムで設定した内容を初期化します。

1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

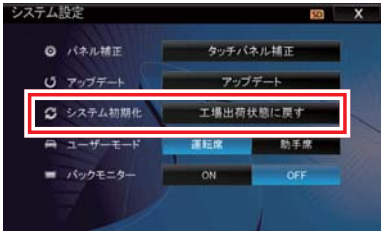
- 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［システム設定］をタッチする

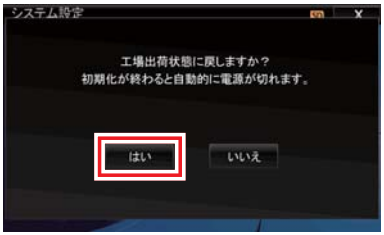
▼

- システム設定メニューが表示されます。

3 システム初期化の［工場出荷状態に戻す］をタッチする



4 ［はい］をタッチする



- 「はい」をタッチすると、初期化後は自動的に電源が切れます。
  「いいえ」をタッチすると、システム設定画面に戻ります。

5 再度、電源を入れるには本機後面の電源ボタンを長押しする

注意

初期化中に電源を切らないでください。

ナビゲーションとテレビは、初期化されません。

ナビゲーションを初期化したい場合は、（→P112）「設定を初期化する」を参照してください。

テレビを初期化する場合は、（→P137）「テレビの設定内容を初期化する」を参照してください。

ユーザーモードを設定する

GPS信号を受けているときに、その信号を解析して、運転していると判断すると地デジは安全のため見る事ができません。
助手席の方など、運転手以外の方が見る場合にユーザーモードの設定で切り換えます。

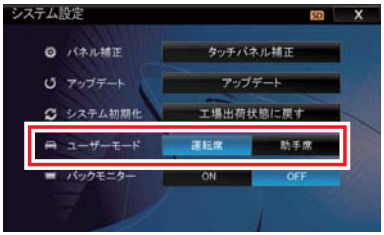
1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

● 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［システム設定］をタッチする

▼

● システム設定メニューが表示されます。



3 ユーザーモードの［運転席］をタッチする

● 走行中に地デジを見る事ができません。

ユーザーモードの［助手席］をタッチする

● 走行中に地デジを見ることができます。

4 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

運転席モードに設定した場合、本機が走行中と判断すると、地デジは見る事ができません。視聴したい場合は、安全な場所に車を停車させてください。

助手席モードに設定した場合は、走行中に助手席の方や後部座席の方がワンセグTVの視聴をする事ができるモードになります。

バックモニターを設定する

市販のバックカメラを接続して、バックモニターとしてお使いできます。

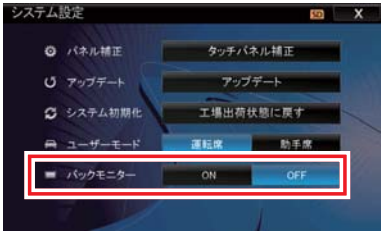
1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

- 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［システム設定］をタッチする

▼

- システム設定メニューが表示されます。



3 バックモニターの［ON］をタッチする

- バックカメラからの映像が出力されるとバックカメラの映像が表示されます。

バックモニターの［OFF］をタッチする

- バックカメラからの映像が出力されてもカメラの映像が表示されません。

4 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

バックモニターをONのときに、市販のバックカメラからの映像が出力されると、その映像が常に映るようになります。したがって、バックモニター以外の映像機器を接続する場合は、OFFを選んでください。また、市販のバックカメラは車のレンジがリバース（R）になったときに給電されるものをお買い求めいただき、接続してください。

本機のシステム情報を確認する

本機のシステム情報を表示してバージョン情報を確認する事ができます。

1 マルチメディアメニューを表示させて［システム］をタッチする

● 設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの［システム情報］をタッチする

▼

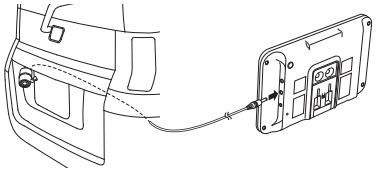
● システム情報の画面が表示されます。

3 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

バックカメラと接続する

バックカメラを本機に接続してバックモニターとしてお使いいただけます。

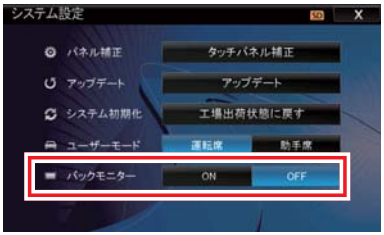
1 本機のビデオ入力端子と市販のバックカメラを付属の映像ケーブルで接続する



2 本機の電源端子と付属のシガー電源アダプターを接続する

3 付属のシガー電源アダプターを、車のシガーライターソケットに挿入する

4 マルチメディアの「システム」から「システム設定」を選び、「バックモニター」の [ON] をタッチする



- バックカメラからの映像が出力されるとバックカメラの映像が表示されます。

警告

車をバックさせる際には、直接後方を目視にて確認してください。バックモニターを見ながら車をバックさせると事故の原因となります。

バックカメラの配線取り付け／取り外しは専門技術者に依頼してください。取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

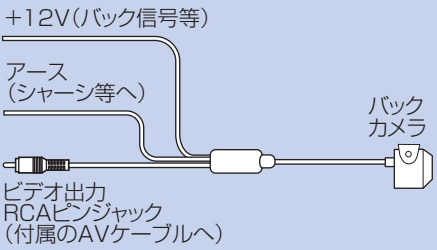
注意

バックモニターをONのときに、市販のバックカメラからの映像が出力されると、その映像が常に映るようになります。したがって、バックモニター以外の映像機器を接続する場合は、OFFを選んでください。また、市販のバックカメラは車のレンジがリバース (R) になったときに給電されるものをお買い求めいただき、接続してください。

バックカメラはビデオ出力がRCAピンジャックになったをものをお買い求めください。

メモ

接続可能なバックカメラの例



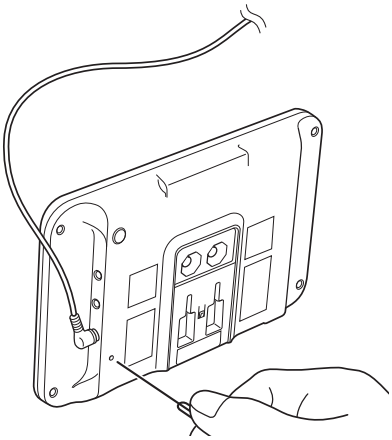
上記の構造をしたバックカメラが必ず本機に接続することを保証するものではありませんので、バックカメラをお買い求め際には、バックカメラの販売店とよくご相談うえお買い求めください。

本機のリセット方法

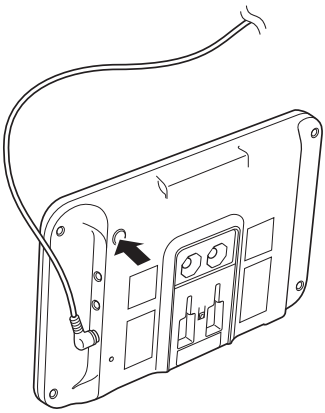
リセットは、本機が正しく動作しない場合やフリーズした場合におこないます。

1 シガー電源アダプターが繋がった状態のまま、本機を吸盤付きステーから外す
- このとき、車のエンジンは止めないでください。

2 本機後面のリセットスイッチを先が固く・細いもので軽く押す
- 本機の電源が切れます。



3 電源ボタンを長押しして電源を入れる



メモ

本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

こんなメッセージが表示されたときは

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	原　因	処　置
信号が受信できません アンテナ線および設定を確認してください。	フィルムアンテナが正しく接続されていない。	フィルムアンテナの接続を確認してください。
	受信レベルが低下して放送が受信できない。	受信可能な場所に移動してください。 送信所から近くても建物の陰など受信できない場合があります。
	チャンネル設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。 (P125)
休止中 放送時間を確認してください。	選局しているチャンネルの放送が終了しています。	番組表などで放送時間を確認し、放送中のチャンネルへ選局するか放送が開始されるまでお待ちください。
B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく挿入してください。	miniB-CASカードが装着されていません。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。
B-CASカードが使用できません。	miniB-CASカードが逆に挿入されています。	miniB-CASカード（P149）を参考に表裏、前後を確認して正しく挿入してください。
B-CASカードが使用できません。 カード裏に書かれたカスタマーセンターに連絡してください。	miniB-CASカードが故障しています。	カスタマーセンターにご連絡ください。 (株)ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセンター ☎0570-000-250

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源が入りません。	シガー電源アダプターを正しく本機と車のシガーソケットに接続してください。(P18) 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。☎0570-030-100
動作しません。	バッテリーは内蔵しておりませんので、持ち歩きする事は出来ません。
	安全性のために、本機の温度保護回路が働き、本機が動作しなくなることがあります。本機が動作できる温度範囲（0℃～50℃）に戻してください。(P178)
電源を入れてから、メインメニューが表示されるまでに時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのようにOSが立ち上がります。オープニング画面表示が出ている間はOSが起動している最中です。(P18)
パソコンと接続出来ますか？	サービス用端子からパソコンに繋いでご利用する事は出来ません。不具合の原因になりますので、接続しないでください。
充電ができません。	本機はバッテリー非搭載の為、充電をする事が出来ません。
画面がフリーズした（動かなくなった）。	本機後面のリセットボタンを押してください。(P171) 問題が解決されない場合には、サポートセンターへ連絡してください。☎0570-030-100
タッチスクリーンの反応が悪い	市販の保護シートは貼らないでください。タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
タッチした箇所と違う箇所が動作する	パネル補正をおこなってください。(P164)
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、GPS信号の受信状態が1本以上感知されている状態でなければなりません。地図画面の左上のGPS信号測位表示をご確認ください。特に周りに高いビルや木などがあり、GPS衛星からの信号が妨害されていることがあります。(P20、P113)
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS衛星からの信号（GPS信号）が正しく受信できていない場合があります。GPS信号を受信できる場所に移動してみてください。また、GPS信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。(P20) かならず見晴らしのよい場所で受信させてください。
	タッチスクリーンに触れて地図画面がずれておりませんか？ 位置がずれた場合は **[現在地]** をタッチしてください。

症　状	処　置
ルート案内中に画面右側のルート案内画面を表示しない方法はありませんか？	下記の設定で各項目を非表示に設定することで可能になります。 【設定方法】 ・メインメニュー⇒設定⇒案内設定 ① 交差点拡大図：非表示 ② 複数施設案内：非表示 ③ 都市高速入口イラスト：非表示 ④ JCTイラスト：非表示 ⑤ SA/PAイラスト：非表示 ⑥ ETCイラスト：非表示
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量調整を確認してください。 ナビゲーション（操作音のみ）の場合（P111） テレビの場合（P127） 音楽の場合（P156） システム音量の場合（P163）
	イヤフォン接続端子にイヤフォンまたはヘッドホンが接続されていませんか。イヤフォン等が接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。（P11）
地デジ、ワンセグ放送が受信できません。	移動したために受信環境が変化したと推測されます。 ①局の検索を実施してみてください。 ②良好に受信できそうな、見通しの良い場所に移動してみてください。
テレビの画像が停止することがあります。	電波状態が悪くなると、画像が停止します。電波状態の良い場所に移動してください。
映像がギザギザに表示されます。	デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
テレビの受信感度が良くない。	設置型アンテナをご使用の場合は、フィルムアンテナに変更してください。フィルムアンテナをご使用いただくと受信感度が良くなる場合があります。
音楽、写真が再生ができません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを入れてください。（P153）
操作音が聞こえません。	下記の設定を確認してください。 音量設定の操作音を変更する。（P163） また、ナビゲーションモード内の操作音をOFFに設定するとシステム音量を上げてもナビゲーションモード中は操作音が出ません。 その場合は、操作音をONにしてください。（P111）
ワンセグしか受信できません。	miniB-CASカードが正しく挿入されていますか？（P149）
データ放送が受信できない。	本機ではデータ放送を受信できません。

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-7700」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号（S/N）
- 再生したデータ形式（MP3、JPEGなど）
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：トライウインサポートセンター

電話：
0570-030-100

電子メール：
support@trywin.co.jp

受付時間：
月曜日～金曜日（祝日および弊社の休日を除く）
午前10:00 ～午後6:00

Webページアドレス：
http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書（本書）、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）保証書のご添付がない場合。
（ホ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
（ト）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料などは、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
（The warranty is valid only in Japan.）
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。
本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます。）は、下記に定める本ソフトウェア製品に関して、お客様（個人、法人を問いません。）とキャンバスマップル株式会社（以下「キャンバスマップル」といいます。）との間に締結される法的な契約書です。本契約書の条項に同意されない場合、キャンバスマップルは、お客様に、以下に定義される本ソフトウェア製品の使用について許諾することはできません。なお、お客様が本ソフトウェア製品を使用した場合には、本契約書の条項に同意されたものとみなし、以後、本契約書の条項が適用されるものといたします。

定義

本ソフトウェア製品とは、トライウインスマートDTN-7700用ナビゲーションアプリケーションソフトウェアならびに、それに関連した媒体、アップデートおよび機能追加のためのソフトウェア、収録されている地図データおよびその他のデータ、印刷物（マニュアルなどの文書）を含みます。なお、本ソフトウェア製品に加えて提供されるソフトウェアに別途の使用許諾契約書が添付されている場合は、それらの使用許諾契約書が優先的に適用されます。

使用許諾

キャンバスマップルは、お客様（個人、法人を問いません。）に対し以下の権利を許諾します。

1. お客様が非営利目的に使用する場合に限り、本ソフトウェア製品を、それが収録されている特定の1台のポータブル・ナビゲーション・デバイス（以下「PND」といいます。）において使用することができます。

制限事項

1. 上記の「使用許諾」の各条項に違反して利用することはできません。
2. 本ソフトウェア製品に含まれるデータ、プログラム等、または関連情報について、複製、転記、抽出、公衆送信（送信可能化を含みます。）および改変・翻案等は一切できません。
3. 本ソフトウェア製品を同時に2台以上の機器で使用することはできません。
4. 本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品を利用することにより生じる結果を、下記に定める営業活動および営利を目的として利用することはできません。ただし、事前にキャンバスマップルの承諾を得たものに関してはこの限りではありません。
   ① 利益の有無にかかわらず、販売やサービスなど、収益を目的として利用すること
   ② 利益の有無にかかわらず、宣伝広告などの販促物や、企画、イベントなど営利を目的として利用すること
   ③ その他、キャンバスマップルが営利行為と認めたもの
5. 本ソフトウェア製品をネットワークサーバにインストールし、ネットワークを介して利用することはできません。
6. お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル、その他いかなる解析や分析もすることはできません。
7. 本ソフトウェア製品は1つの製品として許諾されています。その構成部分を分離して複数のPNDで使用することはできません。
8. お客様は、本ソフトウェア製品およびその複製物並びに印刷物および地図画像等を公の秩序または善良の風俗に反して使用してはなりません。
9. お客様は、本ソフトウェア製品をレンタルまたはリースすることはできません。
10. お客様は、本ソフトウェア製品を第三者に譲渡することはできません。

免責事項

1. 本ソフトウェア製品の機能および収録されるデータの内容について瑕疵があった場合でも、キャンバスマップルはその責を負うものではありません。
2. 本ソフトウェア製品に含まれるアプリケーション・ソフトウェアは現状のままで提供され、キャンバスマップルは、その商品性、完全性もしくは十分な品質を有することまたは特定の目的に適合することにつき、何らの保証するものではありません。
3. お客様が本ソフトウェア製品を利用した結果として生じたいかなる損害についても、キャンバスマップルはその責を負うものではありません。
4. キャンバスマップルの損害賠償責任は、本契約書で別途定められている場合を除き、請求の原因を問わず、お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害の範囲内に限定され、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害および、第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任についてその責任を負いません。いかなる場合においても、本契約に基づくキャンバスマップルの責任は、お客様が証明する本ソフトウェア製品の購入代金を上限とします。
5. 本ソフトウェア製品の仕様および提供されるサービスの内容は、予告なく変更される場合があります。
6. キャンバスマップルは、本ソフトウェア製品とともに、第三者のソフトウェア製品（以下「第三者ソフトウェア製品」といいます。）を提供する場合があります。その場合、キャンバスマップルによるサポートおよび保証等については、以下の規定が適用されるものとします。
   ① キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品に関しての操作方法、瑕疵その他に関してサポートを提供するものではありません。
   ② キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品の商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をするものではありません。
   ③ キャンバスマップルは、第三者ソフトウェア製品の使用により生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。たとえ、キャンバスマップルおよびその関連会社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

著作権およびその他の権利

1. 本ソフトウェア製品およびその複製物並びに印刷物および地図画像等についての著作権および産業財産権その他の権利は、キャンバスマップルまたはその許諾者に帰属します。
2. 本契約書はお客様に対し、キャンバスマップルの商標または本ソフトウェア製品に含まれる他社の商標やその他のシンボルマークなどに関する権利を譲渡したり、その使用を許諾したりするものではありません。
3. 本契約書において許諾されていない本ソフトウェア製品の法律で規定された権利は、すべてキャンバスマップルによって留保されます。

契約の解除

1. お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、キャンバスマップルはお客様に対し何ら通知・催告を行うことなく直ちに本契約を解除することができます。この場合、お客様は本ソフトウェア製品のすべてをキャンバスマップルに返還し、インストール済のアプリケーション・ソフトウェアをアンインストールし、その複製物ならびにその構成部分、収録されている地図データおよびその他のデータのすべてを破棄または消去しなければなりません。
2. お客様の契約違反によりキャンバスマップルに損害が生じたまたは生じる可能性がある場合、その損害が直接であるか間接的であるかを問わず、キャンバスマップルはお客様に損害賠償請求を行う場合があります。

管轄裁判所

お客様とキャンバスマップルとの間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

準拠法

本契約書は、日本国法に準拠するものとします。

協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、お客様およびキャンバスマップルは、信義に従い誠意をもって協議し解決するものといたします。

以上

仕様

寸法	(W) 188×(H) 117.5 ×(D) 22 (突起物を含まず)
質量(重量)	約430 g
モニターサイズ	7V型WVGA (800×480)
操作方法	タッチパネル
メモリーカード	microSDカード(最大32GB)
電源	DC 5V / 2A
CPU	Telechips TCC9101
GPSモジュール	U-Blox 6
Operating System	Windows® CE 6.0
動作温度保証範囲	0℃～+50℃

MEMO

MEMO

Trywin

Printed in Korea

DTN7700-001-A